

ハウディ・デジタルコードレスホン

DCP-4000

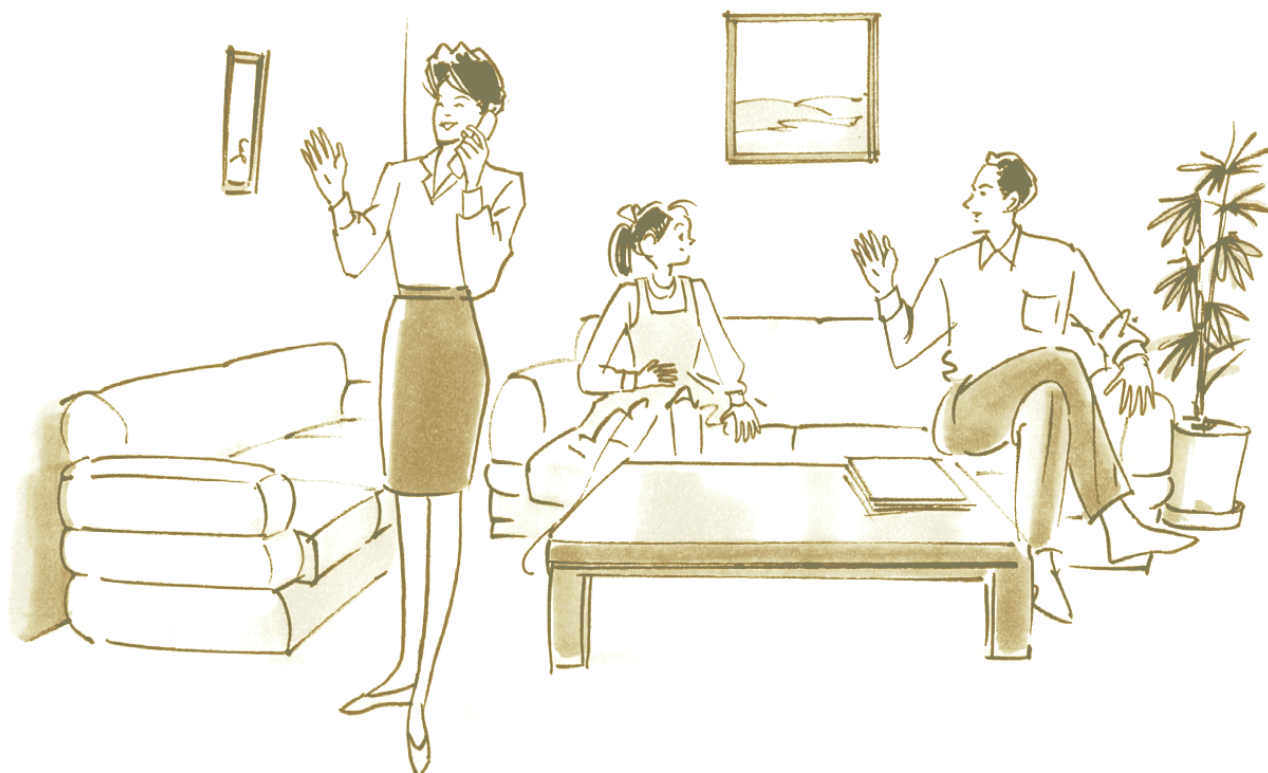


技術基準適合認定品
DCP-4000M

取扱説明書

このたびはハウディ・デジタルコードレスホン DCP-4000をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。



1
お使用に
なる前に

2
電話をかける／
受ける

3
内線電話
として使う

4
留守番電話
を使う

5
リモコン
操作する

6
用件を転送
する

7
PHSサービス
を利用する

8
より便利に
使う

9
ご参考に

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、NTT窓口等でお買い求めください。

本書中のマーク説明

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。



- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This telephone System is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通話、録音などの機会を逸したために生じた損害等の纯粹経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、法律で禁止されていますので絶対に行わないでください。
- 操作早見表を使用の際は、必ず取扱説明書をよく読み理解したうえでお使いください。



危険

- 充電は、コードレス電話機専用の充電器を使用してください。その他の充電条件で充電すると、電池パックの漏液、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックは、赤（プラス）・黒（マイナス）の向きが決められています。コードレス電話機に接続するときは、赤・黒の向きを確かめて正しく差し込んでください。電池パックの漏液、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックを単体では充電しないでください。電池パックの漏液、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- この電池パックは、DCP-4000に付属のコードレス電話機専用です。それ以外の機器には使用しないでください。電池パックの漏液、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックを使用する場合は、以下のことを必ず守ってください。電池パックの漏液、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
 - 火の中に投入したり、加熱しない。
 - 直接はんだ付けしない。
 - 赤（プラス）と黒（マイナス）を針金などの金属類で短絡しない。
 - 電池カバーを取り付けるとき、電池パックのコードをはさまない。
 - 外装チューブ（被覆）をはがしたり、傷をつけない。
 - 水や海水につけたり、ぬらさない。
- 電池パックを分解、改造しないでください。電池パックには危険防止のための保護装置が組み込まれています。これらを損なうと電池パックの漏液、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

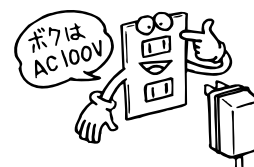
安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠ 警告

- ぬれた手で電話機を操作したり、ぬれた手で電池パックを交換しないでください。感電の原因となる場合があります。

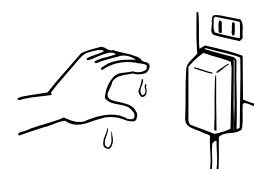


- 電源アダプタは、AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となる場合があります。



- ふる場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災・感電の原因となる場合があります。

- ぬれた手で電源アダプタと電話機コードを抜き差ししないでください。感電の原因となる場合があります。



- 電源アダプタコードおよび電話機コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりするとコード等が破損し、火災・感電の原因となる場合があります。電源アダプタコードや電話機コードが傷んだらNTT窓口等へご連絡ください。

- テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となる場合があります。

- 電話機および充電器のそばに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となる場合があります。



- 充電器および電源アダプタは、必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災・感電の原因となる場合があります。



- 電話機を分解・改造したりしないでください。火災・感電の原因となる場合があります。内部の点検・調整・清掃・修理はNTT窓口等へご連絡ください。また、改造は法律で禁じられています。





警告

- 電源アダプタコードが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタを抜いて、NTT窓口等へご連絡ください。

- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。主電話機は、電源アダプタと電話機コードをコンセントから抜いて、コードレス電話機は直ちに充電をやめ、充電器の電源アダプタをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してNTT窓口等へご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

- 万一、電話機などを落したり、キャビネットを破損した場合、または内部に異物や水などが入った場合は、主電話機は電源アダプタと電話機コードをコンセントから抜いて、コードレス電話機は直ちに充電をやめ、充電器の電源アダプタをコンセントから抜いて、NTT窓口等へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

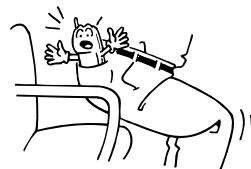
- 本商品を 構内交換機（PBX）等 に接続してお使いになる場合は、あらかじめその保守を担当している代理店等に確認してください。確認できない場合は、絶対に接続してお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- 電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、直ちにきれいな水で洗い流してください。

- 自動車などの運転中は、コードレス電話機を絶対に 操作しない・見ない でください。交通事故の原因となることがあります。

- 歩行中にコードレス電話機を絶対に 操作しない・見ない でください。転倒、交通事故などの原因となることがあります。

- コードレス電話機をねじったり、重い物をのせたり、強く押しついたりして、圧迫しないでください。破損して、火災・やけど・けがの原因となることがあります。



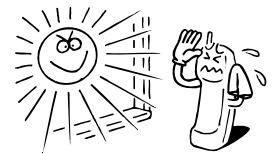
安全にお使いいただくために必ずお読みください

お使いになる前に（設置環境）

⚠ 注意

- 主電話機および充電器を壁に取り付けるときは、電話機の重みにより落下しないようしっかりと取り付け、設置してください。重みでネジが抜けて、けが・破損の原因となることがあります。

- 直射日光の当たるところや、暖房設備・ボイラーなどのため著しく温度が上昇するところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



- 調理台のそばなど油飛びや湯気の当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、電話機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



お使いのとき

⚠ 注意

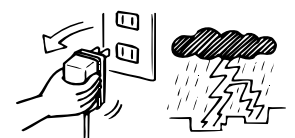
- 電話機および充電器と電源アダプタコードを熱器具に近づけないでください。キャビネットや電源アダプタコードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

- 電源アダプタをコンセントから抜くときは、必ず電源アダプタを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。

- 充電器の上に指輪などの金属類を置かないでください。金属が熱くなり、火災・やけどの原因となることがあります。



- 近くに雷が発生したときは、電源アダプタをコンセントから抜いてご使用を控えてください。落雷によって、火災・感電の原因となることがあります。



お使いのとき

⚠ 注意

- 長時間ご使用にならないときは、安全のため必ず主電話機の電源アダプタおよび充電器の電源アダプタをコンセントから抜いてください。また、コードレス電話機の電池パックも取り出してください。
- 電話機および充電器に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

取り扱いについて

STOP お願い

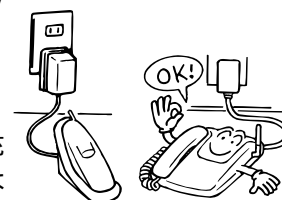
- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください（電話機等の変色や変形の原因となることがあります）。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。



- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。



- 主電話機の電源アダプタまたは充電器の電源アダプタを抜いたままにしないでください。
 - 留守番機能やコードレス電話機が使えません。
 - コードレス電話機が充電できません。
 - コードレス電話機のクイック通話が設定されている場合、充電中に充電器の電源アダプタが外れるとコードレス電話機はお話し中の状態となります。



安全にお使いいただくために必ずお読みください

STOP お願い

- 停電のときは、主電話機を使用してください。
コードレス電話機は使用できません。(●P106)
ドアホンは使えません。



- 充電器にキャッシュカード、テレホンカードなどの磁気を利用したカード類を近づけないでください。カード類が使えなくなることがあります。



置き場所について

こんな場合は、電話がつながらなかったり、雑音が入ることがあります。

STOP お願い

- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。電話機が正常に動作しないことがあります。



- 金属製家具などの近くは避けてください。電波が飛びにくくなります。

- コードレス電話機を汚れやすいところに置かないでください。

STOP

お願い

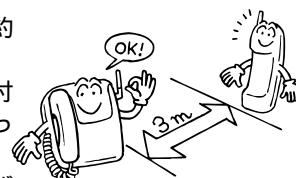
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（コンピュータ、電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、ファクシミリ、蛍光灯、ワープロ、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 放送局や無線局などが近く雑音が大きいときは、主電話機の設置場所を移動してみてください。電波が強すぎる場合はコードレス電話機が使用できないことがあります。



- 周囲の環境（壁、家具など）によって使用範囲が狭くなります。
 - 主電話機とコードレス電話機間で内線通話をして、電波の強さを確認して通話できる範囲を確かめてください。

- 電話機を設置するときは、以下の点を留意してください。

- 主電話機とコードレス電話機、コードレス電話機どうしも約3m以上離してご使用ください。
- 同じ電話回線にコードレスホンどうし、またはコードレス付きファクシミリなどを接続すると、電波が相互に干渉あって正常に動作しないことがあります。
- 電話回線2本以上に、それぞれコードレスホンを1セットずつ接続して使用する場合は、距離を十分に取って使用できる位置を確認してからお使いください。



- 主電話機のアンテナは床面に対して垂直に立ててください。

- 準備のあと、主電話機とコードレス電話機間で内線通話をして雑音の入らない場所かどうかを確かめてから設置してください。
- コードレス電話機では、操作をする前に電波の状態を確認して、なるべく電波の強い場所でかけてください。また、お話しは、なるべく電波の強い場所で行ってください。（●P28）



- トラックや車、オートバイが近くを通ったとき、雑音が入る場合があります。



- 硫化水素が発生する場所（温泉地など）では、電話機などの寿命が短くなることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

簡易生活防水について

コードレス電話機は、簡易生活防水が施されていますが、以下のような使用はできません。

STOP お願い

- 浴室で使用したり、水の中につけたりしないでください。



- 水道水などの流水に直接当てないでください。



- 水滴が付いた場合は、なるべく早く乾いた布などでふき取ってください。

- ぬれたまま、0℃以下になる場所に放置しないでください。



- 受話口や送話口の穴などに水滴が付いたときは、水滴を取り除いてからお使いください。

- コードレス電話機に水滴が付いたまま、充電器に戻さないでください。

その他

STOP お願い

- 本電話機は、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使用している関係上、通常の手段を超える方法がとられた場合には、第三者が故意に傍受するケースもまったくないとはいえません。この点に十分配慮してご使用ください。

PHSサービスを利用して警察（110）、消防（119）にかけるときには

- 立ち止まっておかけください。

警察（110）、消防（119）へかけるときは、通話中にお話が途切れることがないように、立ち止まってご利用ください。

- 通話終了後に圏外に移動しないでください。

警察（110）、消防（119）からの呼び出しができなくなります。

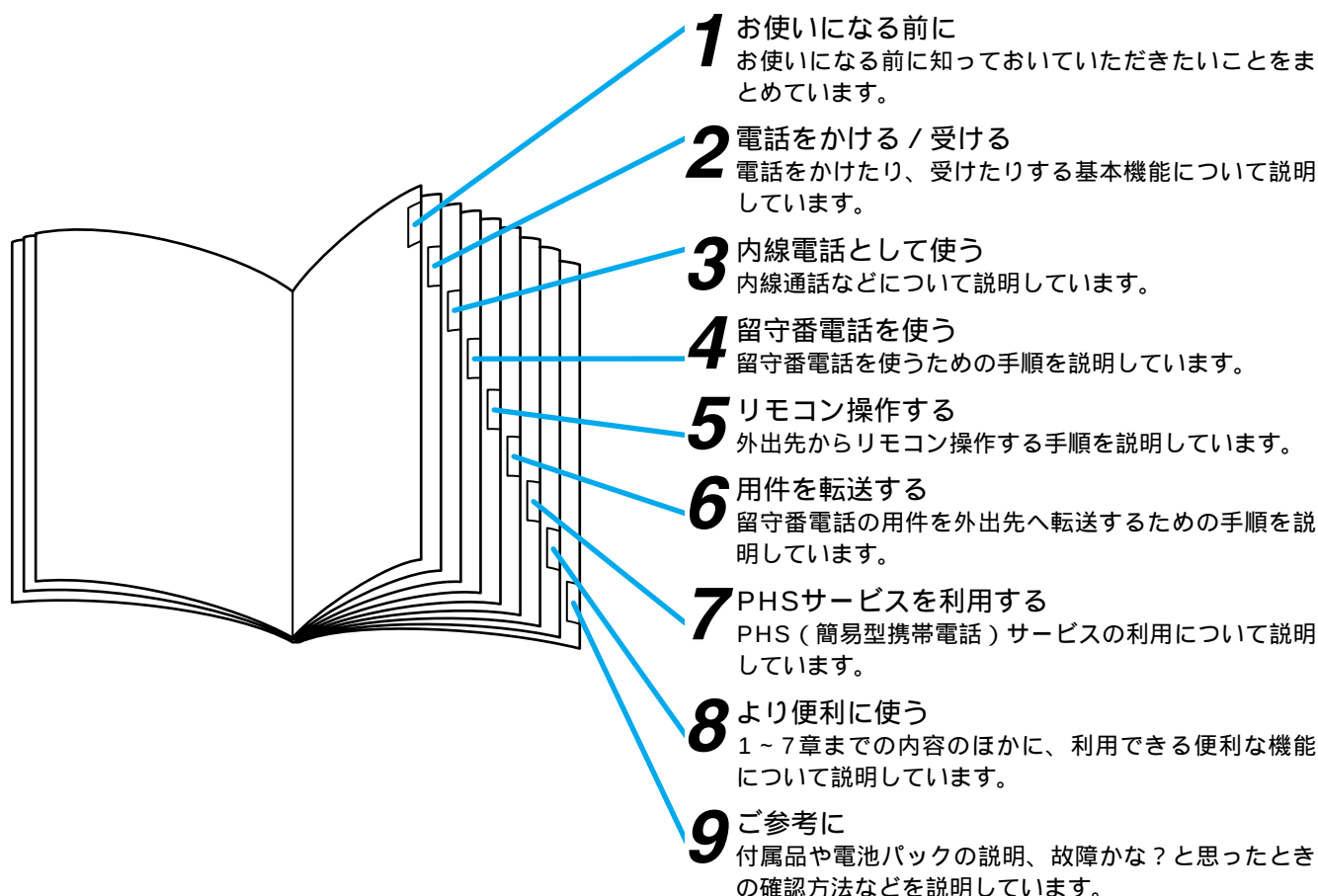
- PHSからの通話であることをお伝えください。

警察（110）、消防（119）での対応がスムーズに行えるよう、PHSからの通話であることをお伝えください。

詳細は各PHS事業者にお問い合わせください。

この取扱説明書の見方

この取扱説明書の構成



操作説明のページの構成

章タイトル

章ごとにタイトルが付けられています。

タイトル

目的ごとにタイトルが付けられています。

電話機イラスト

操作で使うボタンなどの位置を示します。

ワンポイント

知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明です。

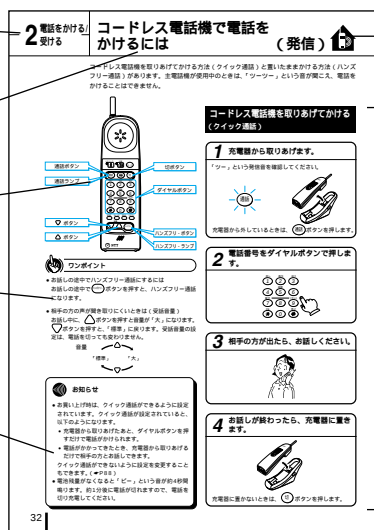
お願いまたはお知らせ

お願い

この表示を無視して、誤った取り扱いを
すると、本商品の本来の性能を発揮できなかつた
り、機能停止を招く内容を示します。

お知らせ

この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示します。



フードのマーク



屋内モードでのみ利用できる機能です。



公衆モード（PHSサービス）
でのみ利用できる機能です。



トランシーバモードでのみ
利用できる機能です。

モードのマークのないところは、屋内モードと公衆モード（PHSサービス）で利用でき、トランシーバモードでは利用できない機能です。

操作手順説明

順番に操作を説明します。

目 次

安全にお使いいただくために必ずお読みください・・・ 2
この取扱説明書の見方・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

1 お使いになる前に

特 長・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
セットを確認してください・・・・・・・・ 15
各部の名前（主電話機）・・・・・・・・ 16
各部の名前（コードレス電話機）・・・・ 20
主電話機の準備をします・・・・・・・・ 23
電話回線の設定をします・・・・・・・・ 24
コードレス電話機の準備をします・・・・ 25
曜日・時刻を合わせます・・・・・・・・ 29

2 電話をかける / 受ける

主電話機で電話をかけるには（発信）・・・・ 30
 ハンドセットを取りあげてかける・・・・ 30
 ハンドセットを置いたままかける
 （ハンズフリー通話）・・・・ 31
コードレス電話機で電話をかけるには（発信）・・・ 32
 コードレス電話機を取りあげてかける
 （クイック通話）・・・・ 32
 コードレス電話機を置いたままかける
 （ハンズフリー通話）・・・・ 33
同じ相手にかけ直すには（再ダイヤル）・・・・ 34
 主電話機で再ダイヤルする・・・・ 34
 コードレス電話機で再ダイヤルする・・・・ 35
電話がかかってきたときは（着信）・・・・ 36
 主電話機で受ける・・・・・・・・ 36
 コードレス電話機で受ける・・・・ 37
相手の方に待っていただくには（保留）・・・・ 38
 主電話機で保留にする・・・・・・・・ 38
 コードレス電話機で保留にする・・・・ 39
主電話機の短縮ダイヤルで電話をかけるには
 （短縮ダイヤル）・・・・ 40
 短縮ダイヤルを登録する・・・・ 40
 短縮ダイヤルで電話をかける・・・・ 41

コードレス電話機の短縮ダイヤルで電話を
 かけるには（短縮ダイヤル）・・・・ 42
 短縮ダイヤルを登録する・・・・ 42
 短縮ダイヤルで電話をかける・・・・ 43

3 内線電話として使う

他の電話機とお話しするには（内線通話）・・・・ 44
 主電話機から呼び出す・・・・ 44
 コードレス電話機から呼び出す・・・・ 46
電話を取りつぐには（保留転送）・・・・ 48
 主電話機から取りつぐ・・・・ 48
 コードレス電話機から取りつぐ・・・・ 50

4 留守番電話を使う

留守番電話として使うには・・・・・・・・ 52
外出するときは・・・・・・・・ 54
 主電話機で留守をセットする・・・・ 54
 コードレス電話機で留守をセットする・・・・ 55
帰宅したときは・・・・・・・・ 56
 主電話機で留守を解除する・・・・ 56
 コードレス電話機で留守を解除する・・・・ 57
自分の声で応答メッセージを録音するには
 （応答メッセージ録音）・・・・ 58
 応答メッセージを録音する・・・・ 58
 応答メッセージを消去する・・・・ 59
伝言を録音するには・・・・・・・・ 60
 主電話機で伝言を録音する・・・・ 60
 コードレス電話機で伝言を録音する・・・・ 61

5 リモコン操作する

リモコン操作するには・・・・・・・・ 62
暗証番号を登録するには・・・・・・・・ 63
外出先から用件を聞くには・・・・・・・・ 64
外出先から留守をセットするには・・・・ 65
リモコン操作でできること・・・・ 66
 応答メッセージを録音する・・・・ 67
 伝言を録音する・・・・ 67
 留守を再セットする・・・・ 67

6 用件を転送する

- 用件を外出先へ転送するには (転送) 68
- 転送とは 68
- 転送先の電話番号を登録するには 69
- 転送をセットするには 70
- 転送先で用件を受けるには 71

7 PHSサービスを利用する

- PHS (簡易型携帯電話) サービスとは 72
- PHSサービスの利用 72
- PHSサービス利用中に利用できる機能 72
- PHSサービスを利用して電話をかける / 受けるには
(発信 / 着信) 73
- 電話をかける (発信) 73
- 電話を受ける (着信) 74

8 より便利に使う

- 着信音を変えるには 75
- 主電話機の着信音量を変える 75
- 主電話機の着信音の音色を変える 76
- コードレス電話機の着信音量を変える 77
- 各種サービスを利用するには 78
- キャッチホンサービスを利用する 78
- プッシュホンサービスを利用する
(DP→PB切替) 78
- 相手を確認してから電話に出るには
(居留守応答) 79
- 外の方とのお話を録音するには (通話録音) 80
- 主電話機で通話録音する 80
- コードレス電話機で通話録音する 81
- 外からかける方が着信音の鳴る電話機を指定
するには (ダイレクトコール) 82
- 主電話機での準備 82
- 外から電話をかける操作 83
- いろいろな機能を登録、設定するには 84
- 主電話機の登録、設定 84
- コードレス電話機の登録、設定 88

9 ご参考に

- トランシーバ通話をするには
(トランシーバ通話) 90
- トランシーバ通話の内線番号を登録するには 92
- 受信側のコードレス電話機の操作 92
- 送信側のコードレス電話機の操作 93
- コードレス電話機に登録した内線番号を
消去する 94
- ドアホンを接続して使うには 95
- ドアホンを接続する 95
- 主電話機でドアホンの呼び出しに应答する 95
- コードレス電話機でドアホンの呼び出しに
应答する 96
- 付属品をご利用になるには 97
- オプションをご利用になるには 98
- 電池パックの取り扱い 99
- 電池の残量がなくなったときは 100
- コードレス電話機が通話できる範囲から外れた
ときは (圏外) 101
- 故障かな?と思ったら 102
- 停電になったときは 106
- こんな音がしたら 107
- 索引 108
- ご使用にあたってのお願い 112
- 仕様 / 保守サービスのご案内 113

1
お使用に
する前に

2
電話を
かける /
受ける

3
内線電話
として使
う

4
留守番電
話を使
う

5
リモコン
操作す
る

6
用件を
転送
する

7
PHSサー
ビスを
利用す
る

8
より便
利に
使う

9
ご参
考に

1つのコードレス電話機を屋内・公衆・トランシーバで活用



屋内では、主電話機からの電波が届く範囲（エリア）でコードレス電話機として利用できます。（☛P32、37）



PHSサービスエリア内では、公衆基地局からの電波を受けて簡易型携帯電話として利用できます。（☛P72）

PHSサービスエリアとは、公衆基地局から電波が届き、PHSサービスを利用できる範囲のことです。



主電話機を介さずコードレス電話機どうしで直接トランシーバ通話ができます。（☛P90）

高音質／盗聴防止のデジタルコードレスホン

主電話機とコードレス電話機間の信号の送受信をデジタル信号で行っているため、アナログコードレスホンと比べ高音質で、盗聴の心配が少なくなります。



音声ガイダンスで簡単な登録、設定操作

主電話機では、音声ガイダンスが案内しますので登録、設定操作が簡単にできます。（☛P84）



手放してお話できるハンズフリー通話

主電話機のハンドセットとコードレス電話機を置いたままでお話することができます。（☛P31、33）



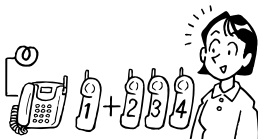
ドアホンを2台まで接続可能

オプションのドアホンボックスを利用すれば、ドアホンを2台まで接続することができます。（☛P95）



コードレス電話機を増設してシステムアップ

コードレス電話機を最大4台まで増設することができます。コードレス電話機を増設すると、コードレス電話機どうしで内線通話ができます。



トランシーバ通話

コードレス電話機を外に持ち出して、見通し距離約100m程度の範囲で直接コードレス電話機どうしでお話することができます。（☛P90）



特定の電話機を呼び出すダイレクトコール

相手の方から指定した電話機を直接呼び出すことができます。（☛P82）



ワンポイント

● PHSサービスとは

PHS事業者と契約することにより、コードレス電話機を簡易型携帯電話として屋外でも利用可能とするサービスです。PHSサービスを利用するときはPHSサービス専用の電話番号になります。（☛P72）



お知らせ

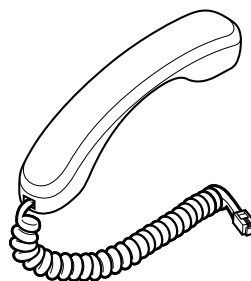
- PHSサービスのご利用には別途PHS事業者との契約が必要です。公衆基地局が設置されたサービスエリア内でのみご利用いただけます。詳しくは、PHS事業者へお問い合わせください。
- PHSサービスをご契約になるときは、電話番号などの登録が必要です。登録についてはPHS事業者にお問い合わせください。
- トランシーバ通話には、標準装備のコードレス電話機の他に増設したコードレス電話機が必要です。

セットを確認してください

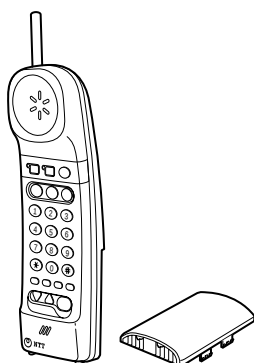
■ 本体（一式）



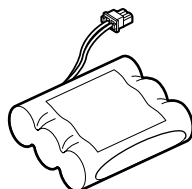
主電話機本体（1台）



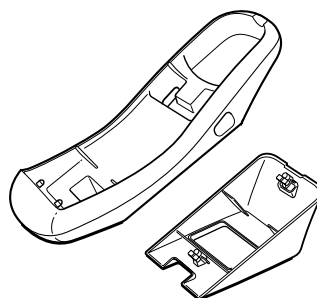
ハンドセット（1個）



コードレス電話機（1台）

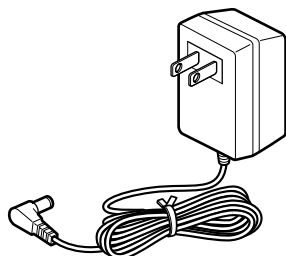


電池パック（1個）

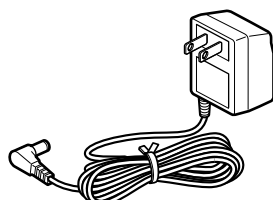


充電器（1台）
（卓上アダプタ付き）

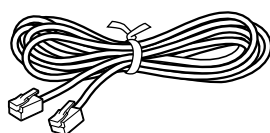
■ 付属品



主電話機用電源
アダプタ（1個）
（コード：約1.8m）



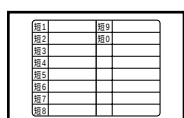
コードレス電話機用
充電器電源アダプタ
（1個）
（コード：約1.8m）



電話機コード（1本）
（約2m）



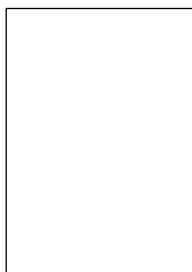
壁掛け木ネジ・ワッシャ
（2組：4本）



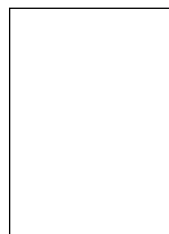
短縮ダイヤルラベル
（2枚）



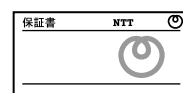
内線番号シール
（1枚）



取扱説明書（1部）



操作早見表（2枚）



保証書（1枚）

● セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁、落丁があった場合などは、NTT窓口等へご連絡ください。

1
お使いに
なる前に

2
電話をかける／
受ける

3
内線電話
として使う

4
留守番電話
を使う

5
リモコン
操作する

6
用件を転送
する

7
PHSサービス
を利用する

8
より便利に
使う

9
ご参考に

各部の名前（主電話機）

液晶ディスプレイ
(●P19)

フックスイッチ

ハンドセット受け
(●P97)

スピーカ
(●P31)

ハンドセット

受話口

送話口

ハンドセットコード

ダイヤルボタン

(*) スター(PB)ボタン

ダイヤル回線をご利用の場合、
プッシュ信号を送るときなどに
使います。(●P78)

(#) シャープボタン

伝言ダイヤルなど、通常のダ
イヤル発信以外の新しいサー
ビスを利用するときなどに使
います。(●P78)

ハンズフリーマイク

音声ガイダンス・スター
ト/セットボタン
音声ガイダンスを聞きながら、
いろいろな登録または設定をす
るときに使います。(●P84)

録音ボタン
留守番電話の用件(伝言)や
お話し中の内容を録音する
ときに使います。
(●P58、60、80)

音量(▼/▲)ボタン
受話音量、着信音量、スピー
カ音量を切り替えるときに使
います。(●P30、31、75)

再生ボタン
留守番電話の用件やお話し中
の内容を再生するときに使
います。(●P56)

留守ボタン
留守をセットまたは解除する
ときに使います。(●P54、56)

アンテナ

ダイレクトボタン
ダイレクトコールを設定する
ときに使います。(●P82)

呼出音ボタン
着信音をメロディなどに切り
替えるときに使います。
(●P76)

キャッチボタン
キャッチホンサービスを利用
するときなどに使います。
(●P78)

短縮ボタン
短縮ダイヤルで電話をかける
ときや、登録に使います。
(●P40、41)

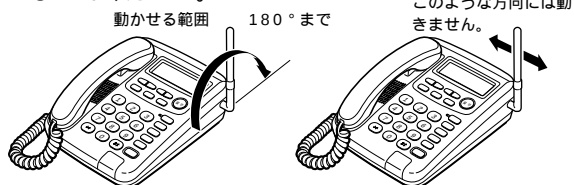
再送ボタン
再ダイヤルするときやポーズ
を入れるときに使います。
(●P34、69)

保留/内線ボタン
外の方とのお話しを保留する
ときや内線通話をするとき
などに使います。(●P38、44)

ハンズフリーボタン
ハンドセットを置いたまま電
話をかけるときなどに使
います。(●P31、36)

STOP お願い

アンテナを無理にひっぱったり動かない方向に曲げたりしないでください。



1
お使用に
なる前に

2
電話をかける/
受ける

3
内線電話
として使う

4
留守番電話
を使う

5
リモコン
操作する

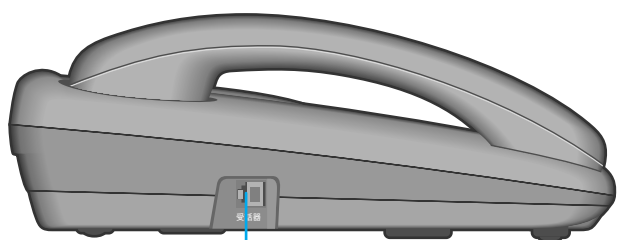
6
用件を転送
する

7
PHSサービス
を利用する

8
より便利に
使う

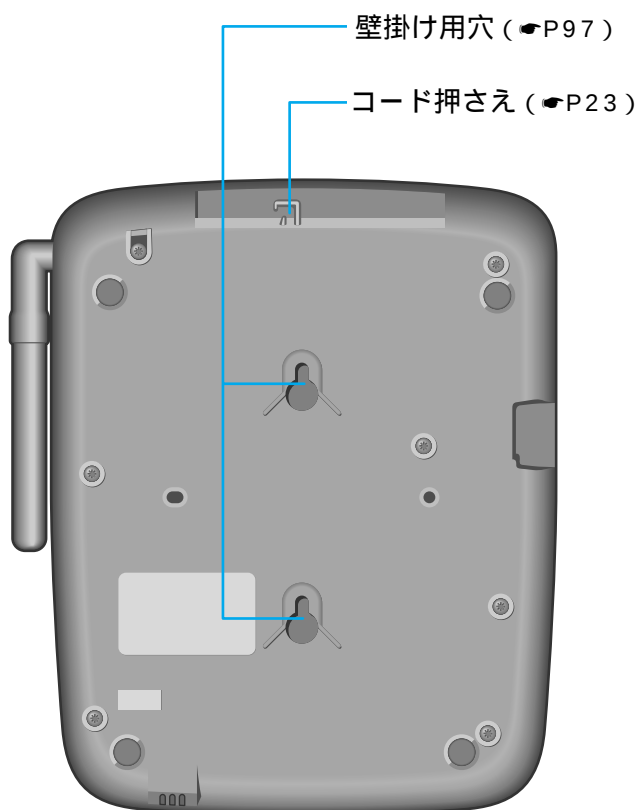
9
ご参考に

【左側面】



ハンドセットコード差込口
ハンドセットコードを差し込み
ます。(●P23)

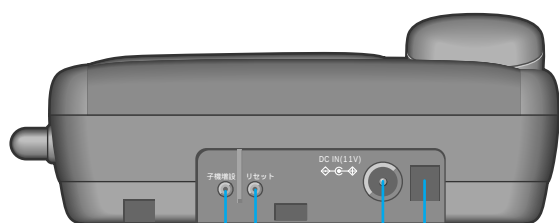
【底 面】



壁掛け用穴 (●P97)

コード押さえ (●P23)

【背 面】



電話機コード差込口
回線からの電話機コードを差し込みます。(●P23)

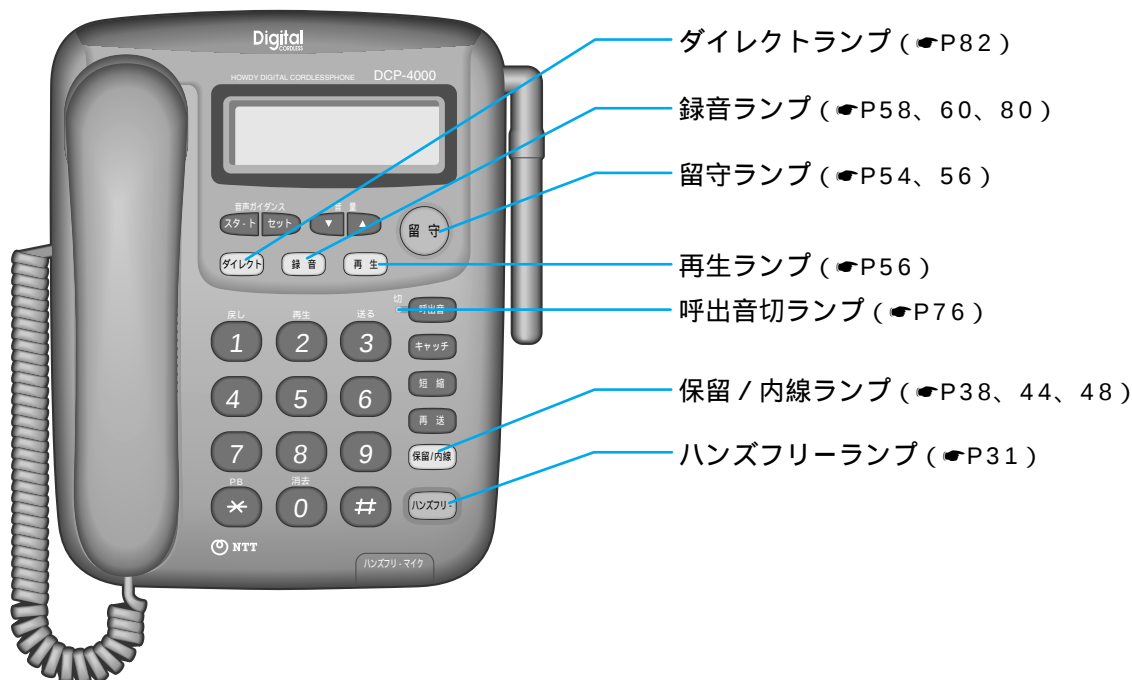
電源アダプタコード差込口
主電話機用電源アダプタコードを差し込みます。(●P23)

リセットスイッチ
登録、設定されている内容をリセットするときに使います。(●P24)

コードレス電話機増設スイッチ
コードレス電話機を増設するときに使います。

各部の名前（主電話機）

【ランプ表示】



■ランプの表記について

この取扱説明書では、ランプについて以下のように表します。

ランプの点灯

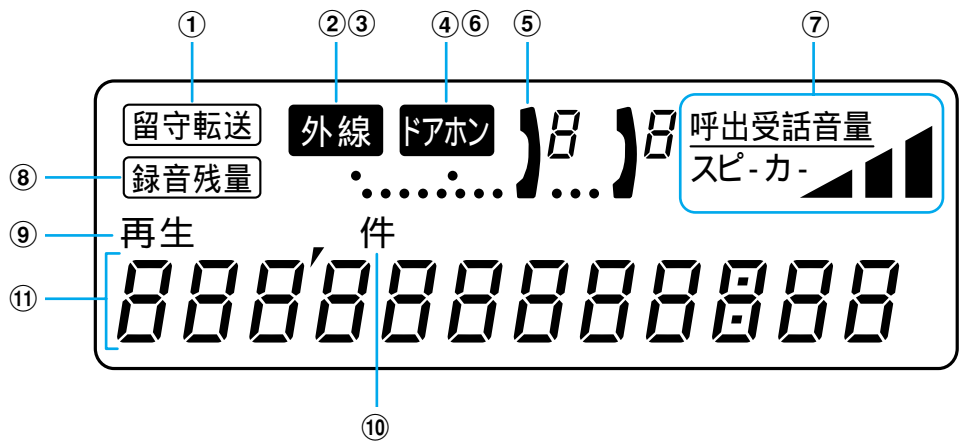


ランプの点滅



ランプの種類	ランプのつき方（色）	電話機の状態
留守ランプ	点灯（赤）	留守がセットされているとき
	点滅（赤）	留守番電話の用件が録音されているとき
ダイレクトランプ	点灯（赤）	ダイレクトコールが設定されているとき
録音ランプ	点灯（赤）	留守番電話の用件やお話し中の内容を録音しているとき
再生ランプ	点灯（緑）	留守番電話の用件やお話し中の内容を再生しているとき
呼出音切ランプ	点灯（赤）	着信音が「切」に設定されているとき
保留/内線ランプ	点灯（緑）	外の方とのお話しを主電話機が保留中のとき 内線でお話し中のとき ドアホンとお話し中のとき
	点滅（緑）	内線で呼び出されているとき ドアホンから呼び出されているとき
ハンズフリーランプ	点灯（オレンジ）	外の方とハンドセットを置いたままお話ししているとき

【液晶ディスプレイの見方】



■ こんなときに表示されます

① 留守転送	転送がセットされているとき
② 外線	外の方とお話し中のとき
③ 外線... }B (コードレス電話機)	コードレス電話機が外の方とお話し中のとき
④ ドアホン	主電話機がドアホンとお話し中のとき
⑤ }B (コードレス電話機)	コードレス電話機と内線でお話し中のとき
⑥ ドアホン... }B (コードレス電話機)	コードレス電話機がドアホンとお話し中のとき
⑦ 呼出 / 受話 / スピーカ音量	着信音量、受話音量、スピーカ音量の大きさ
⑧ 録音残量	用件の録音残量が約1分以下になったとき
⑨ 再生	留守番電話の用件やお話し中の内容を再生しているとき
⑩ (数字) 件	留守番電話の用件の件数
⑪ 数字や記号	時刻表示、ダイヤルしている電話番号、登録または設定の内容など

■ ボタンと表示の対応

ボタン	* (PB)	#	再送 (ポーズ)
表示			

1
お
使
い
に
な
る
前
に

2
電
話
を
か
け
る
受
け
る

3
内
線
電
話
と
し
て
使
う

4
留
守
番
電
話
を
使
う

5
リ
モ
コ
ン
操
作
す
る

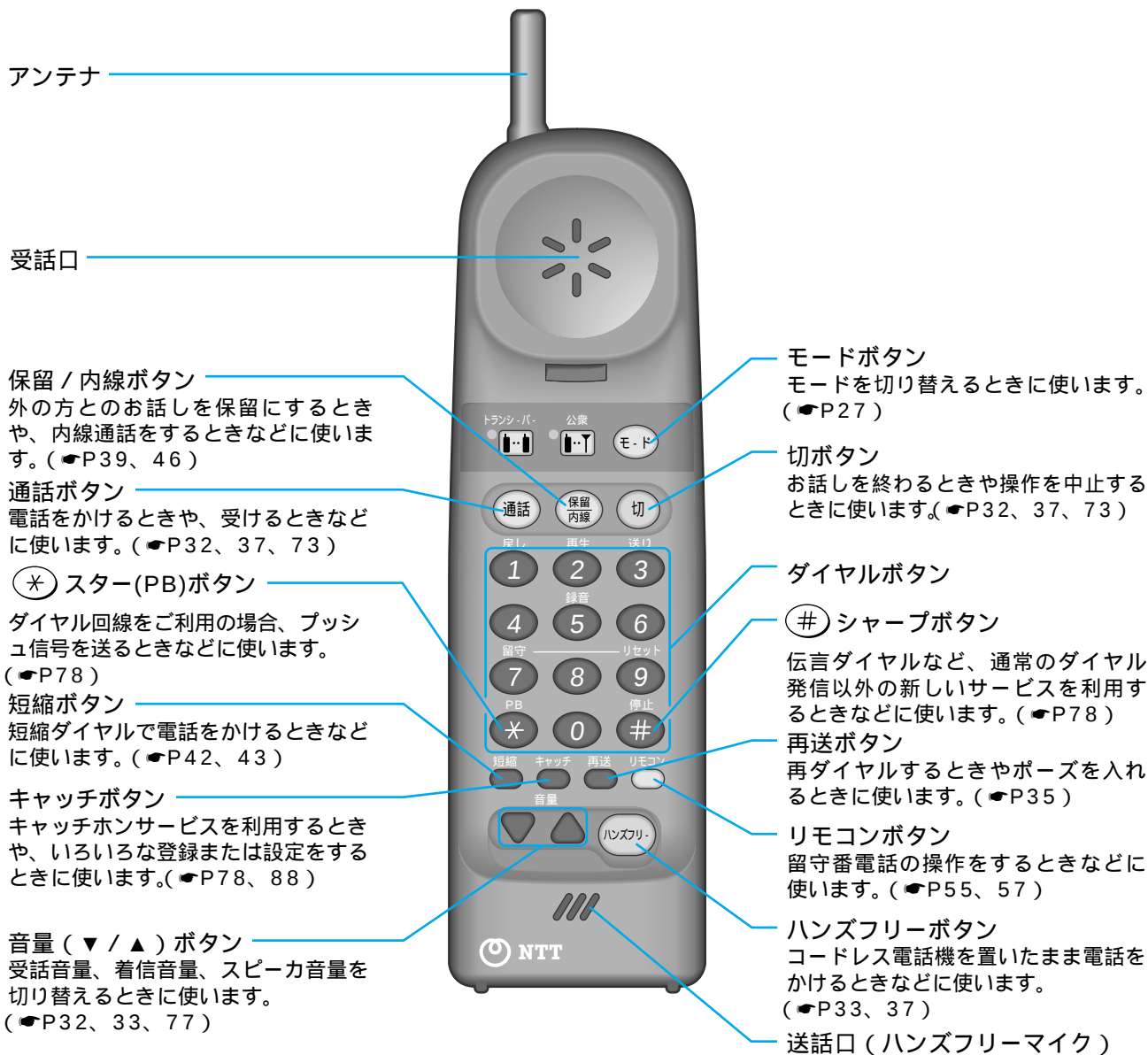
6
用
件
を
転
送
す
る

7
P
H
S
サ
ー
ビ
ス
を
利
用
す
る

8
よ
り
利
便
に
使
う

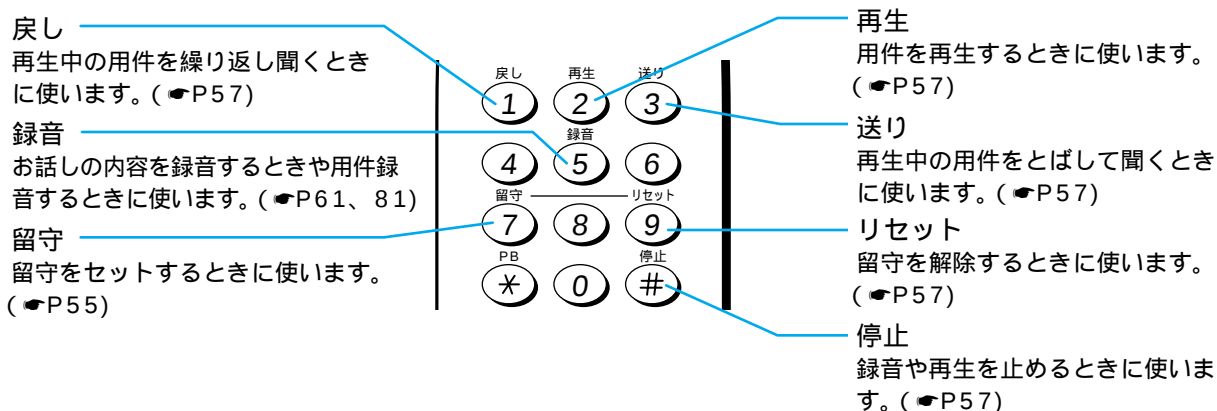
9
ご
参
考
に

各部の名前（コードレス電話機）

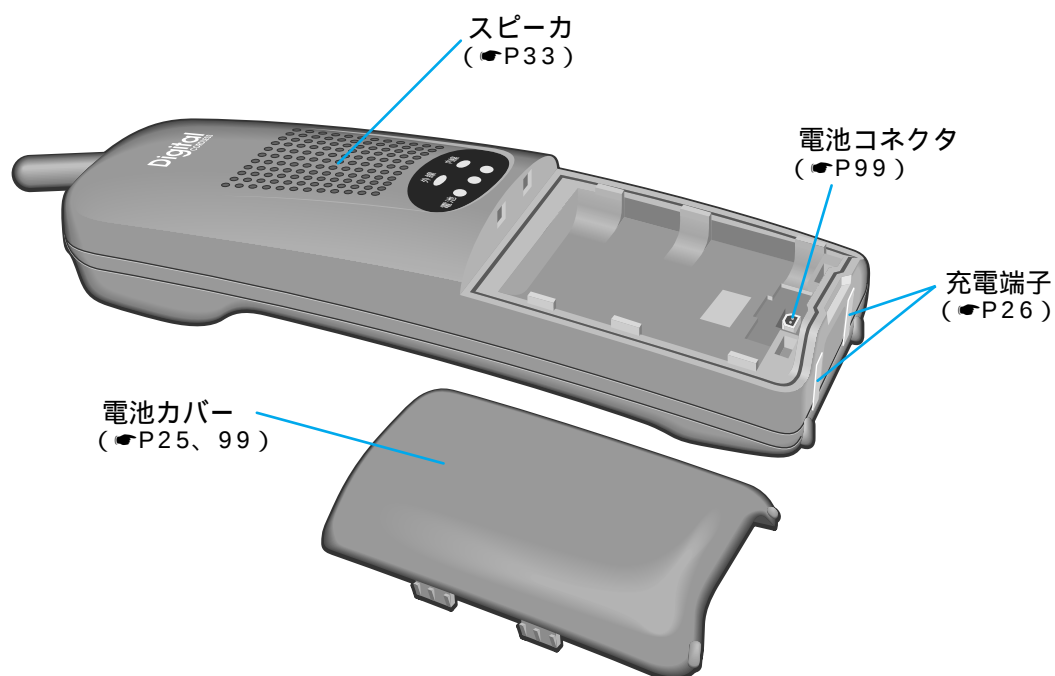


【留守番電話を操作するとき（内線リモコン）】

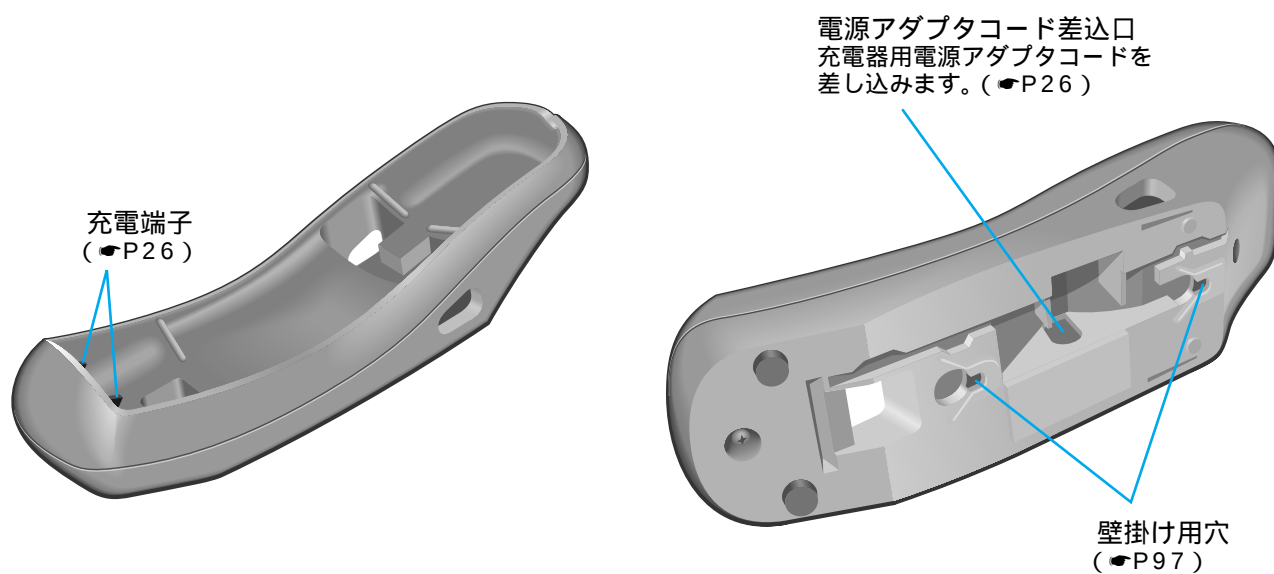
リモコンボタンによりダイヤルボタンの用途を切り替えます。



【電池カバー内部】



【充電器】



1
お使用に
なる前に

2
電話をかける/
受ける

3
内線電話
として使う

4
留守番電話
を使う

5
リモコン
操作する

6
用件を転送
する

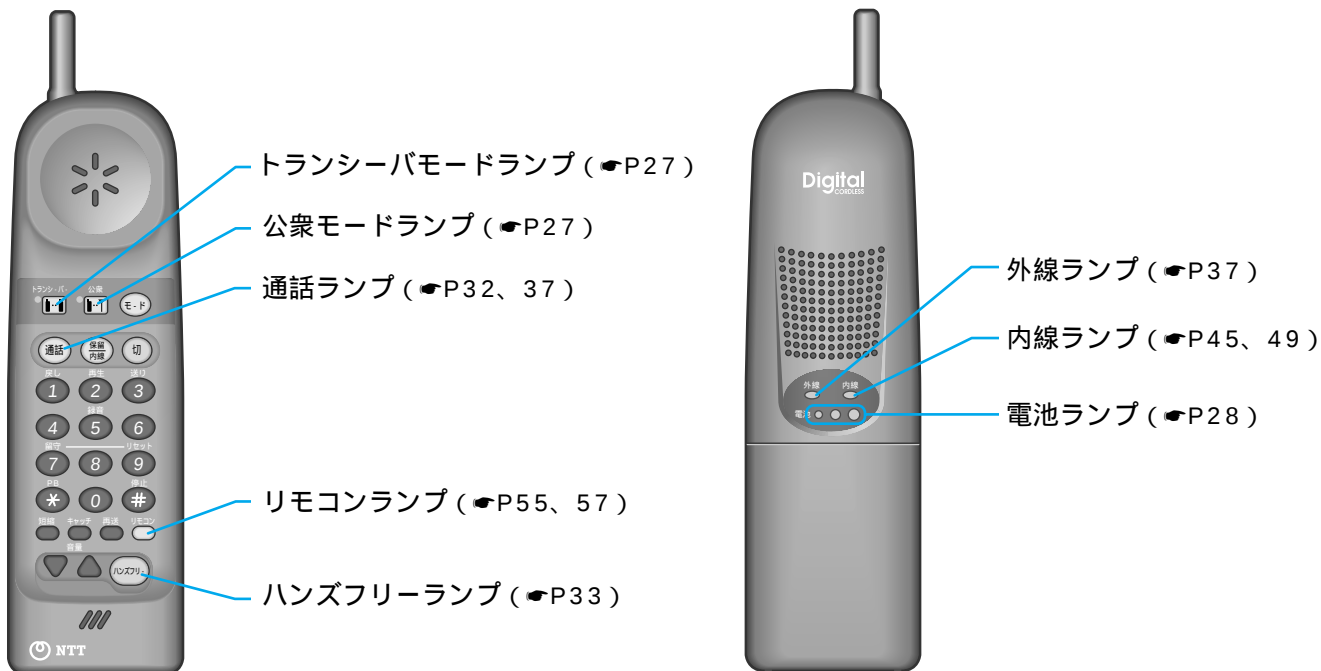
7
PHSサービス
を利用する

8
より便利に
使う

9
ご参考に

各部の名前（コードレス電話機）

【ランプ表示】



■ランプの表記について

この取扱説明書では、ランプについて以下のように表します。

ランプの点灯



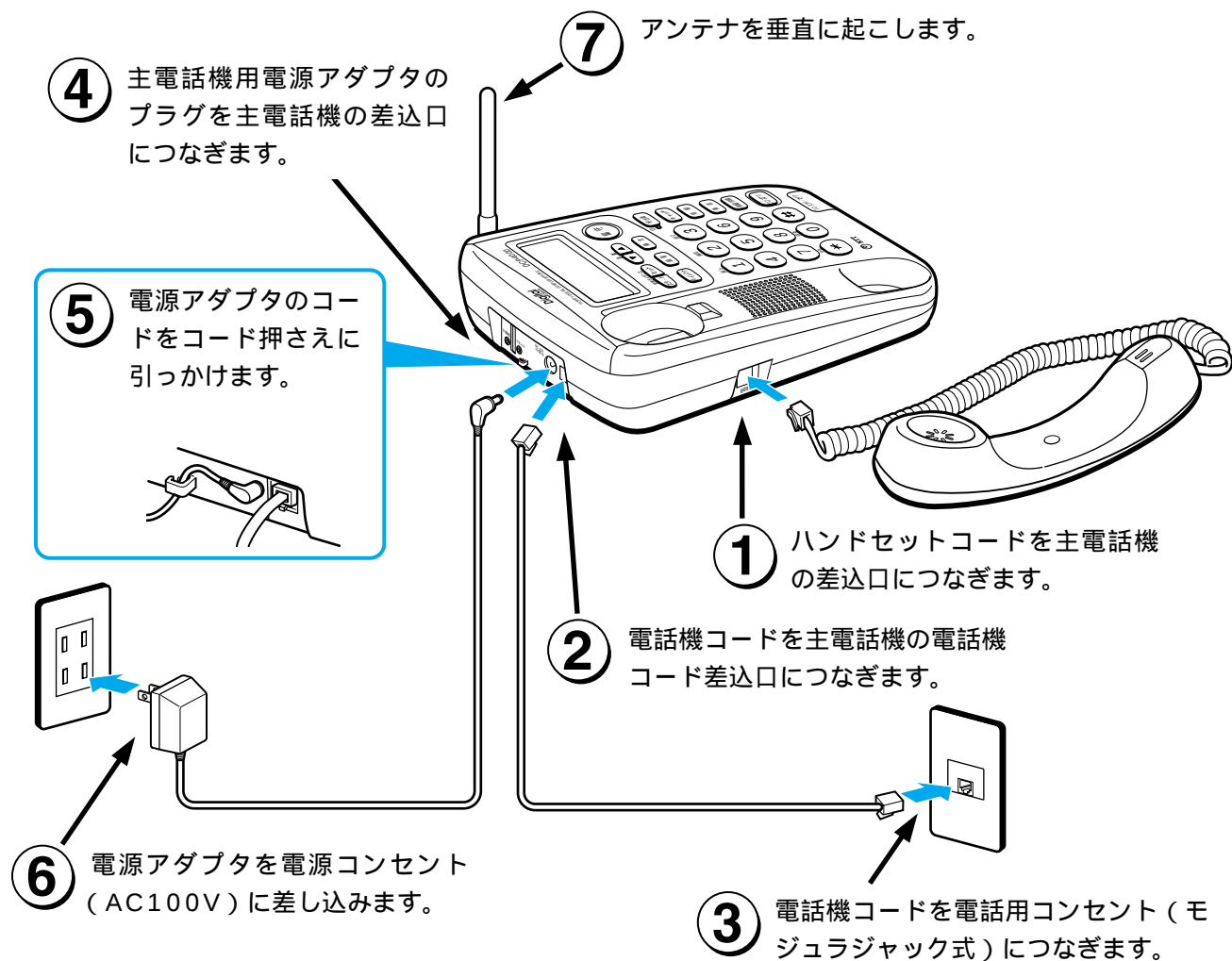
ランプの点滅



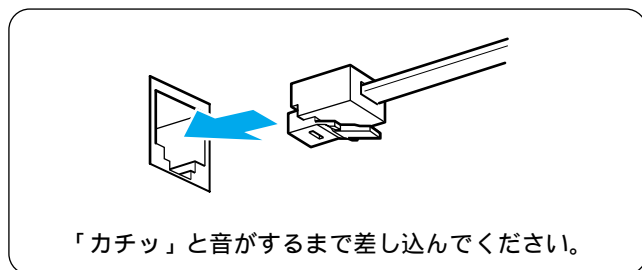
ランプの種類	ランプのつき方（色）	電話機の状態
トランシーバモードランプ	点灯 / 点滅 （緑）	トランシーバモードのとき
公衆モードランプ	点灯 （赤）	公衆モードで圏外のとき、または操作中のとき
	点滅 （赤）	公衆モードで圏内のとき
通話ランプ	点灯 （緑）	外の方とお話し中のとき 内線でお話し中のとき トランシーバモードでお話し中のとき ドアホンとお話し中のとき
	速い点滅 （緑）	外から電話がかかってきたとき 内線で呼び出されているとき
	遅い点滅 （緑）	お話しを保留にしているとき
リモコンランプ	点灯 / 点滅 （赤）	留守番電話を操作中のとき
ハンズフリーランプ	点灯 （オレンジ）	ハンズフリー通話でお話し中のとき
外線ランプ	点灯 （赤）	主電話機が外の方とお話し中のとき 他のコードレス電話機が外の方とお話し中のとき（コードレス電話機増設時）
	速い点滅 （赤）	外から電話がかかってきたとき
	遅い点滅 （赤）	外の方とのお話しを保留中のとき
内線ランプ	速い点滅 （赤）	内線で呼び出されているとき トランシーバで呼び出されているとき ドアホンから呼び出されているとき
電池ランプ	大中小...点灯 （緑）	電池の残量
	小...点滅 （赤）	電池の残量がなくなったとき

主電話機の準備をします

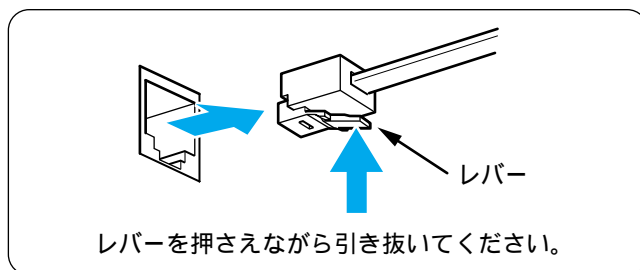
電話回線のコンセントがモジュラジャック式でないときは工事が必要です。局番なしの116番（無料）またはNTT窓口等へご相談ください。



● ハンドセットコードや電話機コードを差し込むとき



● ハンドセットコードや電話機コードを引き抜くとき



警告

電源アダプタは必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災の原因となることがあります。



お知らせ

電源アダプタを電源コンセントに差し込むと、すべてのランプが点滅し、ディスプレイに「12:00」が点滅表示されます。

1 お使いになる前に

2 電話をかける／受ける

3 内線電話として使う

4 留守番電話を使う

5 リモコン操作する

6 用件を転送する

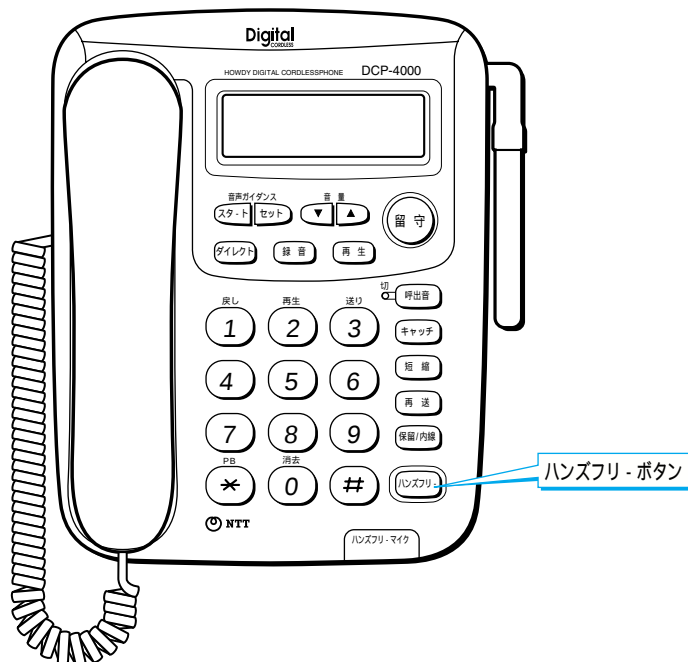
7 PHSサービスを利用する

8 より便利に使う

9 ご参考に

電話回線の設定をします

ご利用になっている電話回線の種別、ダイヤル速度を設定します。自動選択機能を利用して自動的に設定することができます。



1 主電話機を電源に接続すると、すべてのランプが点滅します。



2 **ハンズフリー** ボタンを押します。



3 設定が終了すると、すべてのランプが消えます。



ワンポイント

- 電話回線、ダイヤル速度を手動で設定するには登録、設定操作で設定することができます。(●P86)
ハンズフリー ボタンを押しても正しく設定されないときは、登録、設定操作でもう一度自動設定を行うか、ダイヤル回線(10PPS/20PPS)、プッシュ回線のいずれかを選んで設定してください。



お知らせ

- 構内交換機やホームテレホンに接続しているときは、自動的に設定できないことがありますので登録、設定操作で設定してください。(●P86)
- ファクシミリや他の電話機を同じ回線に追加接続したときは、リセットスイッチ(●P17)を押してから再度電話回線の設定を行ってください。

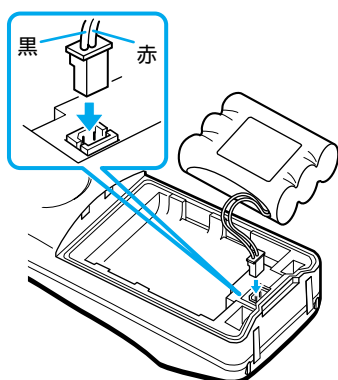
STOP お願い

- 主電話機の電源を接続したあと、ご使用になる前に必ず **ハンズフリー** ボタンを押して、電話回線を設定してください。電話回線が設定されていないと、電話をかけることはできません。
- 電話回線の種別、ダイヤル速度は正しく設定してください。正しく設定しないと、電話がかからなかったり、違う相手にかかったりします。

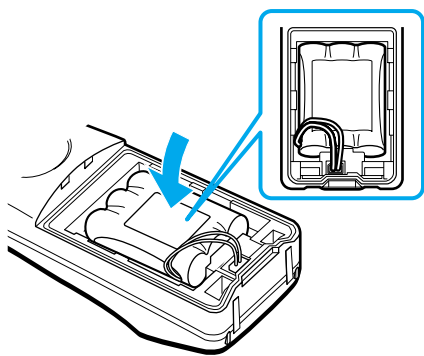
- 詳しくは、局番なしの116番(無料)またはNTT窓口等へお問い合わせください。
- PBX(構内交換機)等に接続したときは、その保守を担当している代理店等にお問い合わせください。
- 電話回線の種別、ダイヤル速度を間違えて設定していても、電話を受けることはできます。

■ コードレス電話機の電源を入れる

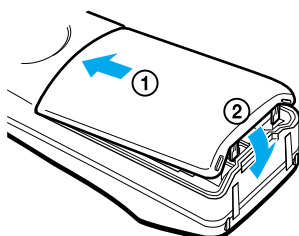
- ① 電池パックのコネクタを差込口に差し込みます。
コネクタは赤いコードが右になるようにして最後まで確実に差し込みます。



- ② 電池パックを入れます。
電池カバーを取り付けたとき、コードが電池カバーにあたらないように、コードをケース内へしっかり押し込んでください。

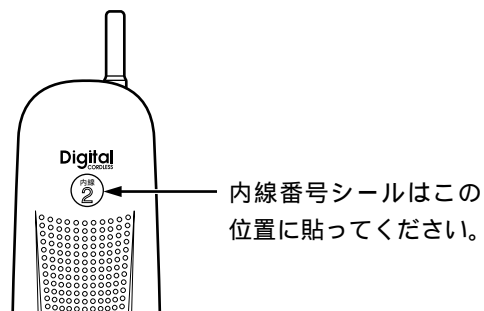


- ③ 電池カバーを取り付けます。
コードをはさまないように注意して、「パチッ」と音がするまでしっかりと押してください。



電池カバーの開け方 (P99)

- ④ 内線番号シールを貼ります。



内線番号シールはこの位置に貼ってください。

STOP お願い

- 電池カバーはしっかりと閉めてください。不十分だとカバーが外れ、電池パックが落下するおそれがあります。また、防水効果も悪くなり、故障の原因となることがあります。
- 送話口（マイク）、受話口、スピーカの上には、内線番号シールを貼らないでください。(P20、21)

1 お使いになる前に

2 電話を受ける

3 内線電話として使う

4 留守番電話を使う

5 リモコン操作する

6 用件を転送する

7 PHSサービスを利用する

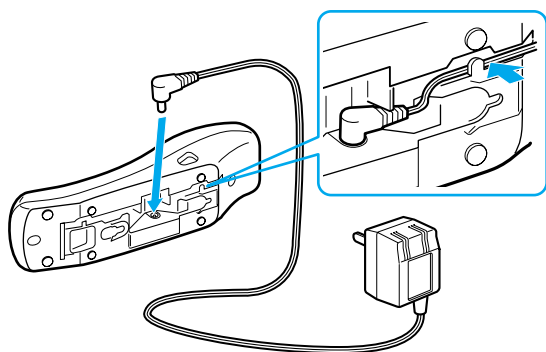
8 より便利に使う

9 ご参考に

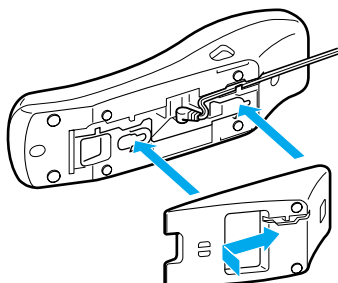
コードレス電話機の準備をします

■コードレス電話機を充電する

- ① 充電器用電源アダプタのプラグを充電器の電源アダプタコード差込口につなぎます。
コードは充電器の溝に埋め込みます。

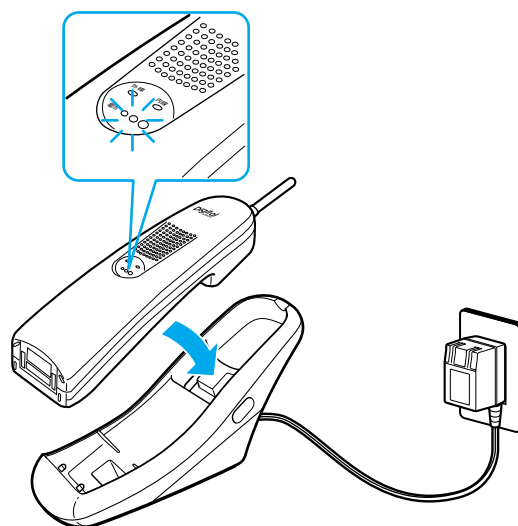


- ② 充電器の底面に卓上アダプタを取り付けます。



- ③ 電源アダプタを電源コンセント（AC100V）に差し込みます。

- ④ コードレス電話機を充電器に置き、5時間以上充電します。
充電が開始されると電池ランプが点灯します。
表裏どちらの向きで置いて充電できます。
ただし、ダイヤルボタン側を上にしたとき電池ランプで電池残量を確認することはできません。



お知らせ

- 充電中は、充電器やコードレス電話機底面があたかくなることがありますが故障ではありません。
- コードレス電話機、充電器がぬれているときは、必ず乾いた布でふき取ってから充電してください。

STOP

お願い

- はじめてお使いのときや、電池パックを交換したときは必ず5時間以上充電してください。
- コードレス電話機をご使用にならないときは、常に充電器に置いて充電するようにしてください。
- 充電端子が汚れていたり、異物がついていると、コードレス電話機を充電器に置いて充電されないことがあります。いつもきれいにしておいてください。

⚠ 注意

充電器の上に指輪などの金属類を置かないでください。金属が熱くなり、火災・やけどの原因となることがあります。

■モードを設定する

コードレス電話機は、使い方によってモードを切り替えます。PHSサービスに加入すると公衆モードが利用できるようになります。また、オプションのコードレス電話機を増設するとトランシーバモードが利用できるようになります。

屋内モード

- 屋内で利用する場合
主電話機に接続されている電話回線を通じて電話をかけたり、受けたりすることができます。



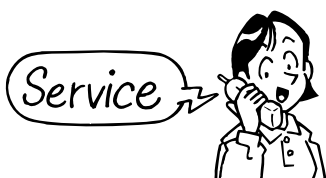
トランシーバモード (コードレス電話機を増設が必要)

- トランシーバ通話を利用する場合
オプションのコードレス電話機を増設すると、コードレス電話機どうしで主電話機を介さず直接お話しできます (通話料金はかかりません)。



公衆モード (PHSサービスのご加入が必要)

- PHSサービスを利用する場合
PHSサービスエリア内であれば、電話をかけたり受けたりすることができます。



お知らせ

操作の途中で約30秒間ボタンを押さないと、設定は無効になります。もう一度最初から設定操作をやり直してください。

1 充電器から取りあげて、**切** ボタンを押します。

充電器から外しているときは、通話ランプが点灯していないことを確認します。

2 **モ-ド** ボタンを2秒以上押します。

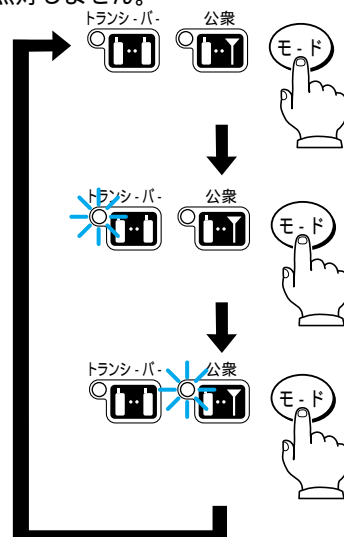
現在のモードが表示され、モードの切り替えが可能になります。

例 屋内モード



3 ご利用になるモードのランプが点灯するまで、**モ-ド** ボタンを繰り返し押します。

PHSサービスに加入されていない場合は、公衆モードランプは点灯しません。



4 キャッチボタンを押します。

「ピー」という音が鳴って、モードが設定されます。

1 お使いになる前に

2 電話をかける／受ける

3 内線電話として使う

4 留守番電話を使う

5 リモコン操作する

6 用件を転送する

7 PHSサービスを利用する

8 より便利に使う

9 ご参考に

コードレス電話機の準備をします

■ 電池残量を確認する

電池残量は、電池ランプで確認します。電池ランプはコードレス電話機を充電器に置くと点灯します。電池残量は通話可能な目安の表示です。

通話できる時間



約3.5時間以上



約3.5時間未満



約1.5時間未満



電池残量なし
(●P100)

通話中に電池残量がなくなったときは、電池ランプ（小）が赤く点滅します。

電池パックを交換したときは、必ず5時間以上充電してください。

【電池の使用可能時間の目安】

条 件		使用可能時間
屋内モード	待ち受け	約175時間
	連続通話	約 7時間
トランシーバモード	待ち受け	約100時間
	連続通話	約 6.5時間
公衆モード	待ち受け	約130時間
	連続通話	約 7時間

■ お話しできる範囲を確認する

お話しできる範囲（電波の届く範囲）は、モードにより次のようになります。

屋内モード

主電話機から見通し距離で約100m以内

公衆モード

PHSサービスエリア内

PHSサービスエリア内にいるときは、公衆モードランプが点滅し、PHSサービスエリアを外れると（圏外）、公衆モードランプが点灯になります。

トランシーバモード

コードレス電話機どうしが見通し距離で約100m以内

コードレス電話機がお話しできる範囲から外れたときは（圏外）（●P101）

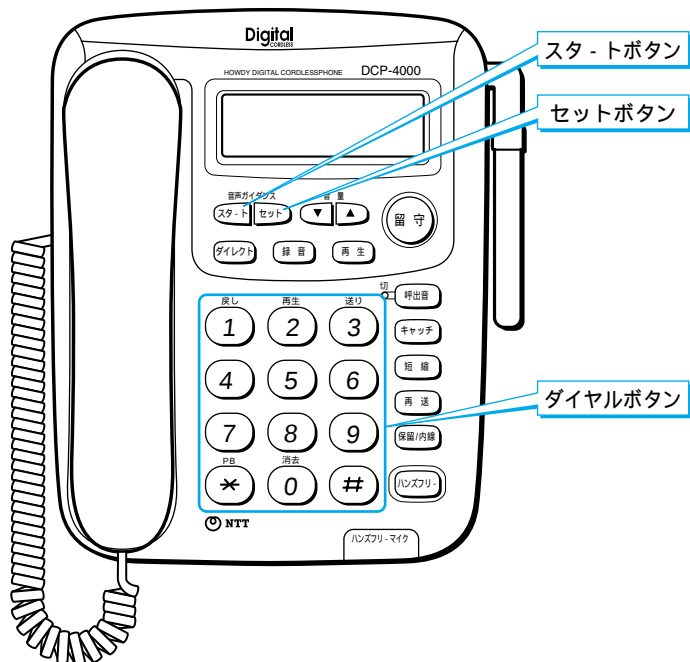


お知らせ

屋内モードでお使いのときは、主電話機から100m以内の場所でも、周囲の環境によりお話しできないことがありますので、あらかじめ内線通話などにより主電話機からの電波が弱い場所を確認しておくことをおすすめします。（●P44）

曜日・時刻を合わせます

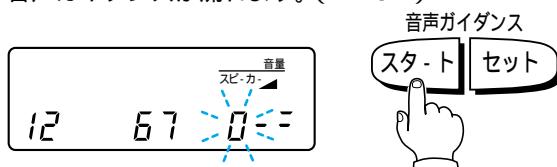
留守番電話では録音された曜日と時刻を自動的に記録します（タイムスタンプ）。ご使用になる前に、主電話機で曜日と時刻を合わせてください。



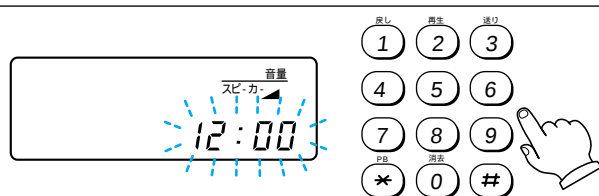
例 土曜日午後3時30分に合わせる

1 ハンドセットを置いたまま、スタートボタンを押します。

音声ガイダンスが流れます。（P84）

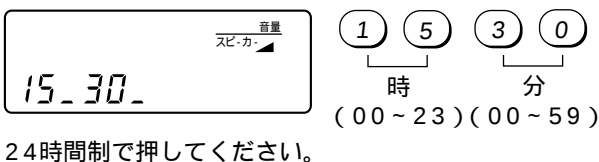


2 ①を押します。



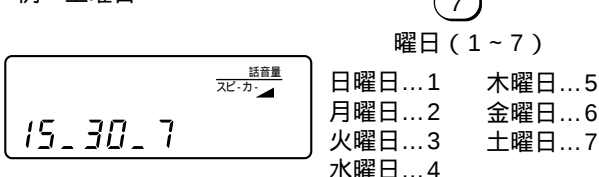
3 時刻（0000～2359）をダイヤルボタンで押します。

例 午後3時30分



4 曜日（1～7）をダイヤルボタンで押します。

例 土曜日



5 セットボタンを押します。

設定した時刻と曜日を確認する音声が聞こえます。



確認する音声が聞こえないときは、設定方法を間違ったときです。最初からやり直してください。



お知らせ

- 曜日・時刻を設定しないと、留守番電話のタイムスタンプは録音されません。
- 操作を間違えたときは、セットボタンを押す前にスタートボタンを押して、もう一度最初からやり直してください。
- 約72時間以上にわたって、停電したり電源アダプタを抜いていたときは、内蔵の時計が止まり主電話機のディスプレイには「12:00」の表示が点滅します。もう一度時刻を合わせ直してください。
- 設定中に外から電話がかかってきたときは、設定は無効になります。電話を切ったあと、最初からやり直してください。
- 操作の途中で約30秒間ボタンを押さないと、設定は無効になります。もう一度最初からやり直してください。
- 時刻の表示は目安です。誤差が生じたときは、時刻を合わせ直してください。

1 お使いになる前に

2 電話をかける／受ける

3 内線電話として使う

4 留守番電話を使う

5 リモコン操作する

6 用件を転送する

7 PHSSサービスを利用する

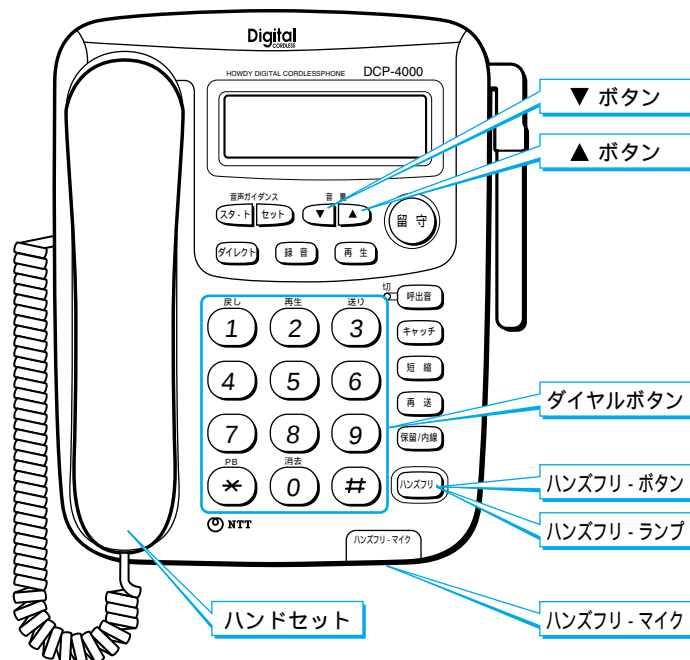
8 より便利に使う

9 ご参考に

主電話機で電話をかけるには (発信)

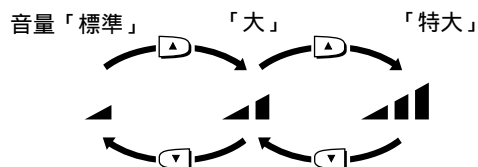
ハンドセットを取りあげてかける方法と、ハンドセットを置いたままかける方法（ハンズフリー通話）があります。

コードレス電話機が使用中のときは、ディスプレイに表示されます。(P19) このとき、電話をかけることはできません。



ワンポイント

- お話しの途中でハンズフリー通話にするには
お話しの途中で「ハンズフリー」ボタンを押すと、ハンズフリー通話になります。そのままハンドセットを置いてても電話は切れません。お話しが終わったら「ハンズフリー」ボタンを押します。
- 相手の方の声が聞き取りにくいときは（受話音量）
お話し中に、「▲」ボタンを押すと音量が大きくなります。小さくするときは、「▼」ボタンを押します。音量は3段階で切り替えることができます。お買い上げ時は、「標準」に設定されています。受話音量の設定は、電話を切ると「標準」に戻ります。



お知らせ

- 通話時間は最大999分59秒「999'59」まで表示されます。1000分になると「0'00」から表示されます。
- 通話時間は目安の表示です。通話料金の請求と一致しないことがあります。

ハンドセットを取りあげてかける

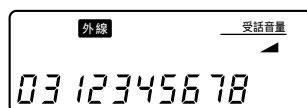
1 ハンドセットを取りあげます。

「ツー」という発信音を確認してください。



2 電話番号をダイヤルボタンで押します。

電話番号が表示されます。



3 相手の方が出たらお話しください。

通話時間が表示されます。



4 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

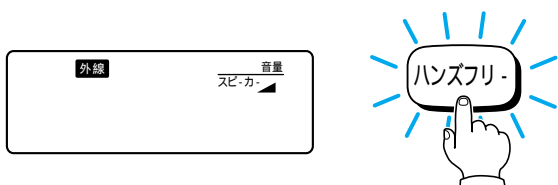
通話時間の表示が約5秒後に消えます。



ハンドセットを置いたままかける (ハンズフリー通話)

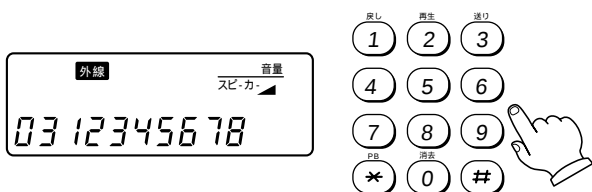
1 ハンドセットを置いたまま、**ハンズフリー** ボタンを押します。

「ツー」という発信音を確認してください。



2 電話番号をダイヤルボタンで押します。

電話番号が表示されます。



3 相手の方の声がスピーカから聞こえたら、マイクに向かってお話しください。



通話時間が表示されます。



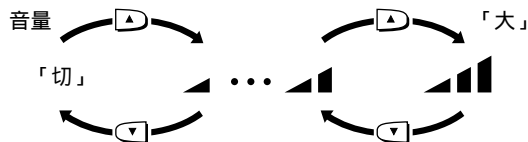
4 お話しが終わったら、**ハンズフリー** ボタンを押します。

通話時間の表示が約5秒後に消えます。



ワンポイント

- お話しの途中でハンドセットでのお話しに変えるには
お話しの途中でハンドセットを取りあげると、ハンドセ
ットでお話できるようになります。
- スピーカの音量を調節するには(スピーカ音量)
▲ ボタンを押すと音量が大きくなります。小さくす
るときは、▼ ボタンを押します。音量は8段階で切り
替えることができます。お買い上げ時は中間の音量に設
定されています。スピーカ音量の設定は、電話を切っ
ても変わりません。



お知らせ

- マイクのの前には、ものなどを置かないでください。
また、マイクとの距離は50cm以内を目安としてお
話してください。
- ディスプレイに表示される電話番号は、12桁まで
です。13桁目以降は右から左へ順次表示されます。

1
お使用に
する前に

2
電話をかける
受ける

3
内線電話
として使う

4
留守番電話
を使う

5
リモコン
操作する

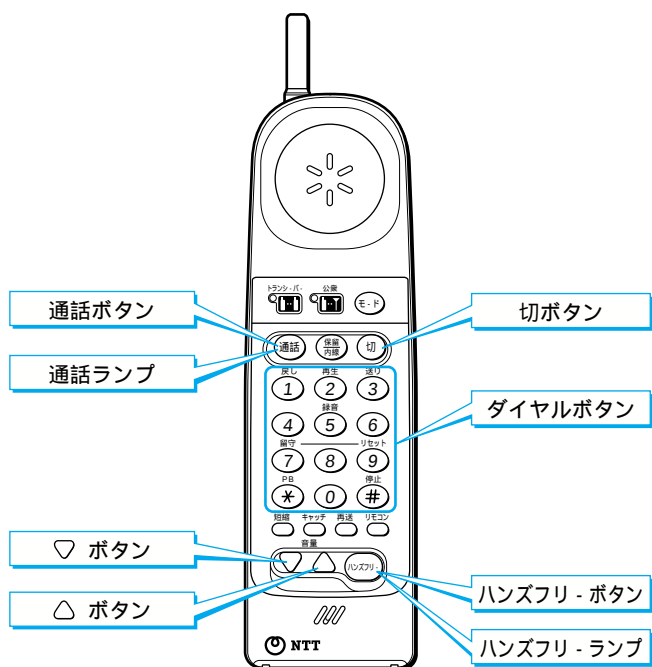
6
着信を転送
する

7
PHSサービス
を利用する

8
より便利に
使う

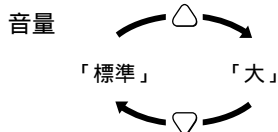
9
ご参考に

コードレス電話機を取りあげてかける方法（クイック通話）と置いたままかける方法（ハンズフリー通話）があります。主電話機が使用中のときは、「ツー」という音が聞こえ、電話をかけることはできません。



ワンポイント

- お話しの途中でハンズフリー通話にするには
お話しの途中で **ハンズフリー** ボタンを押すと、ハンズフリー通話になります。
- 相手の方が聞き取りにくいときは（受話音量）
お話し中に、**△** ボタンを押すと音量が「大」になります。
▽ ボタンを押すと、「標準」に戻ります。受話音量の設定は、電話を切っても変わりません。



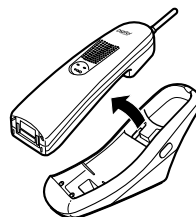
お知らせ

- お買い上げ時は、クイック通話ができるように設定されています。クイック通話が設定されていると、以下になります。
 - 充電器から取りあげたあと、ダイヤルボタンを押すだけで電話がかけられます。
 - 電話がかかってきたとき、充電器から取りあげるだけで相手の方とお話できます。
 クイック通話ができないように設定を変更することもできます。（P88）
- 電池残量がなくなると「ピー」という音が約4秒間鳴ります。約1分後に電話が切れますので、電話を切り充電してください。

コードレス電話機を取りあげてかける （クイック通話）

1 充電器から取りあげます。

「ツー」という発信音を確認してください。



充電器から外しているときは、**通話** ボタンを押します。

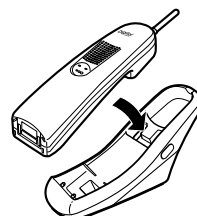
2 電話番号をダイヤルボタンで押します。



3 相手の方が出たら、お話しください。



4 お話が終わったら、充電器に置きます。

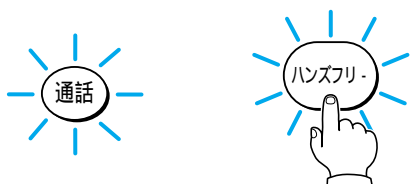


充電器に置かないときは、**切** ボタンを押します。

コードレス電話機を置いたままかける (ハンズフリー通話)

1 ダイヤルボタン側を上にして充電器に置いたまま、**ハンズフリー** ボタンを押します。

「ツー」という発信音がスピーカから聞こえます。

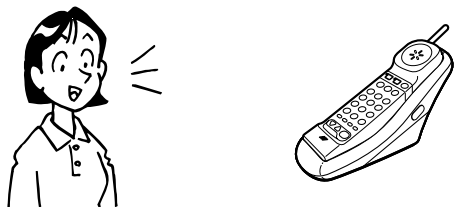


充電器から外しているときも、**ハンズフリー** ボタンを押します。

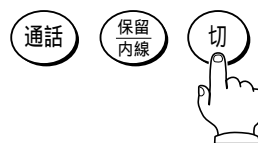
2 電話番号をダイヤルボタンで押します。



3 相手の方が声がスピーカから聞こえたら、マイクに向かってお話しください。



4 お話しが終わったら、**切** ボタンを押します



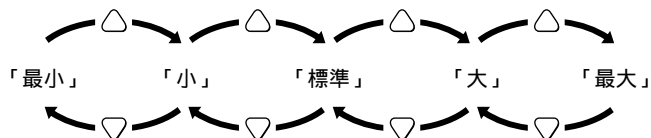
充電器から外しているときは、充電器に置くか **切** ボタンを押します。



ワンポイント

- ハンズフリー通話の途中でコードレス電話機を持ったお話しに変えるには
お話しの途中で、充電器に置いているときは充電器から取りあげると、充電器から外しているときは **通話** ボタンを押すと、コードレス電話機を持ってお話しできるようになります。
- スピーカの音量を調節するには (スピーカ音量)
△ ボタンを押すと音量が大きくなります。小さくするときは、▽ ボタンを押します。音量は5段階で切り替えることができます。お買い上げ時は「標準」の音量に設定されています。スピーカ音量の設定は、電話を切っても変わりません。

音量



お知らせ

- 手順4で **ハンズフリー** ボタンを押しても電話は切れません。
- マイクのの前には、ものなどを置かないでください。
また、マイクとの距離は50cm以内を目安としてお話しください。

1 お使いになる前に

2 電話をかける／受ける

3 内線電話として使う

4 留守番電話を使う

5 リモコン操作する

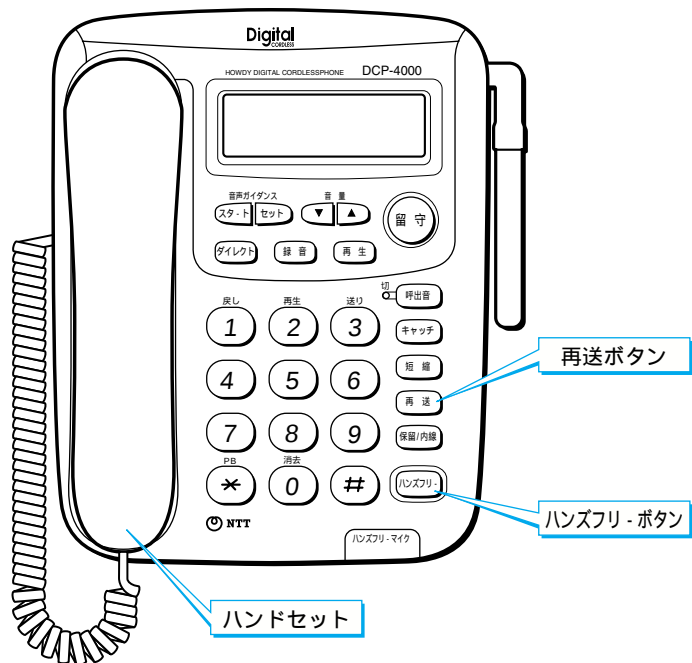
6 用件を転送する

7 PHSサービスを利用する

8 より便利に使う

9 ご参考に

最後にかけた電話番号は、**再送** ボタンで簡単にかけることができます。相手の方がお話し中などでかけ直すときなどに便利です。再ダイヤルは、最大40桁まで記憶されます。また、主電話機、コードレス電話機ごとに記憶されます。



主電話機で再ダイヤルする

1 ハンドセットを取りあげます。

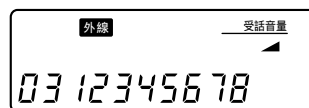
「ツー」という発信音を確認してください。



ハンズフリー通話でお話しするときは、**ハンズフリー** ボタンを押します。

2 **再送** ボタンを押します。

最後にかけた電話番号が表示され、自動的にダイヤルされます。



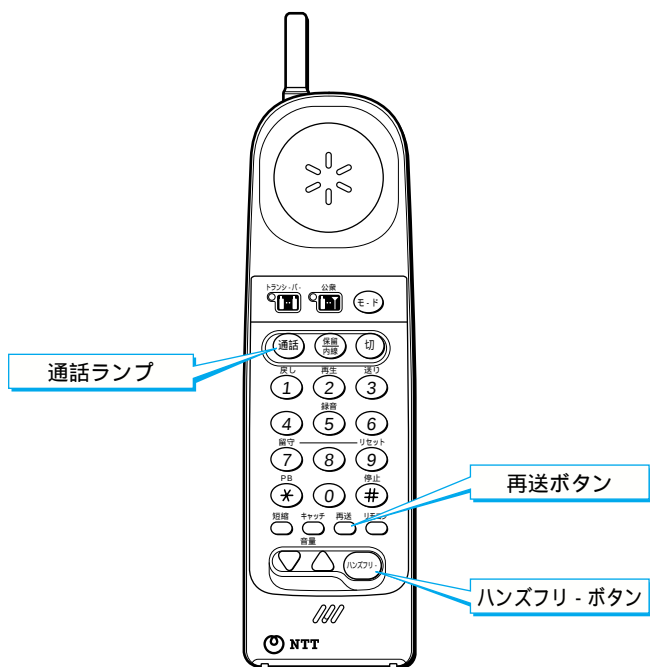
3 相手の方が出たら、お話しください。

通話時間が表示されます。



お知らせ

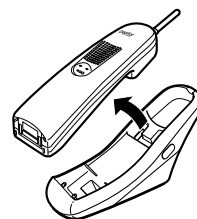
- コードレス電話機でかけた電話番号を主電話機で再ダイヤルすることはできません。
- ダイヤルボタンを押したあとに **再送** ボタンを押すとポーズになります。
- ＊、＃、ポーズも1桁として数えます。



コードレス電話機で再ダイヤルする

1 充電器から取りあげます。

「ツー」という発信音を確認してください。



ハンズフリー通話でお話するときは、**ハンズフリー** ボタンを押します。

2 再送ボタンを押します。

最後にかけた電話番号が自動的にダイヤルされます。



3 相手の方が出たら、お話しください。



お知らせ

- 主電話機でかけた電話番号をコードレス電話機で再ダイヤルすることはできません。
- PHSサービスを利用する場合、市外局番から記憶されていないと再ダイヤルしても相手の方につながりません。

1
お使用に
なる前に

2
電話をかける
受ける

3
内線電話
として使う

4
留守番電話
を使う

5
リモコン
操作する

6
用件を転送
する

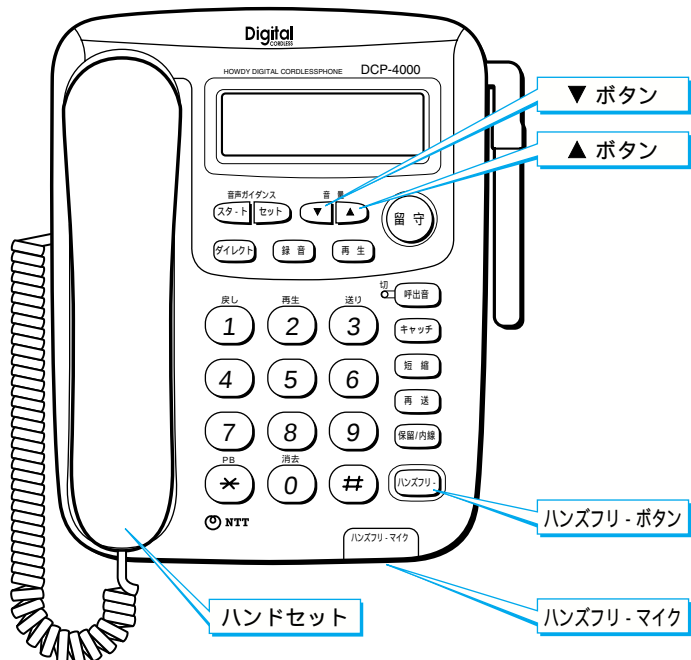
7
PHSサービス
を利用する

8
より便利に
使う

9
ご参考に



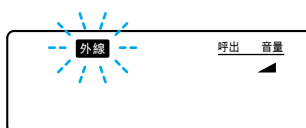
外から電話がかかってくると、主電話機とコードレス電話機の両方で着信音が鳴ります。主電話機では、ディスプレイに外からの電話であることが表示され、コードレス電話機では、外線ランプと通話ランプが点滅します。どちらの電話機からも受けることができます。



主電話機で受ける

1 着信音が鳴ります。

外からの電話であることが表示されます。



2 ハンドセットを取りあげて、相手の方とお話してください。

通話時間が表示されます。



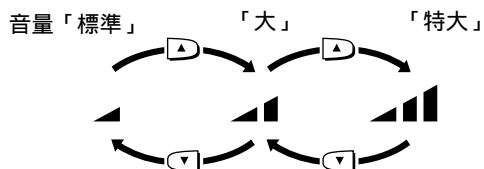
3 お話が終わったら、ハンドセットを置きます。

通話時間の表示が約5秒後に消えます。

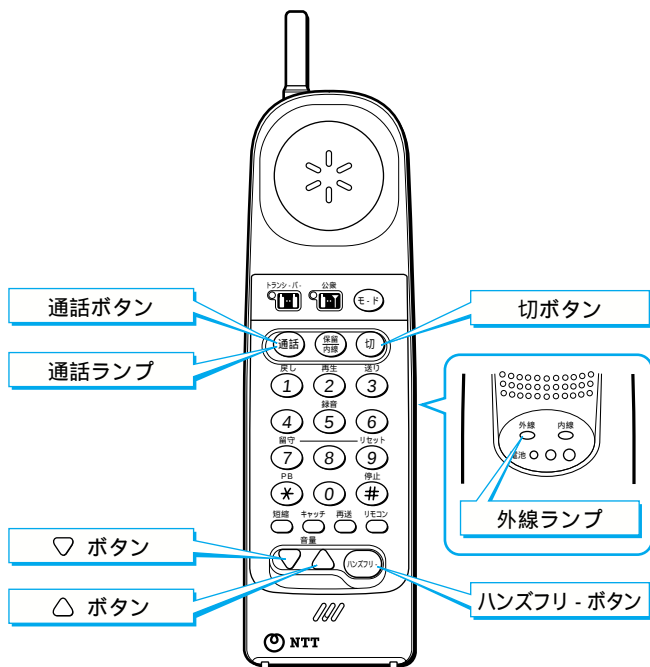


ワンポイント

- ハンズフリー通話で受けるには
ハンドセットを置いたまま、**ハンズフリー** ボタンを押します。
そのままマイクに向かってお話しください。お話しが終わったら、**ハンズフリー** ボタンを押します。
- 相手の方の声が聞き取りにくいときは（受話音量）
お話し中に、**▲** ボタンを押すと音量が大きくなります。
小さくするときは、**▼** ボタンを押します。音量は3段階で切り替えることができます。お買い上げ時は、「標準」に設定されています。受話音量の設定は、電話を切ると「標準」に戻ります。

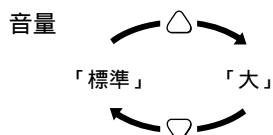


- 着信音を変えるには
主電話機の着信音量は、「大」「中」「小」の3段階で切り替えることができます。（☛P75）また、着信音を「切」に設定したり、着信音以外の2種類のメロディから選ぶことができます。（☛P76）



ワンポイント

- ハンズフリー通話で受けるには
ダイヤルボタン側を上にして充電器に置いているとき、または充電器から外しているときは、コードレス電話機を置いたまま、**ハンズフリー** ボタンを押して電話に出ることができます。そのままお話しください。
- 相手の方の声が聞き取りにくいときは（受話音量）
お話し中に、**音量** ボタンを押すと音量が「大」になります。
標準 ボタンを押すと、「標準」に戻ります。受話音量の設定は、電話を切っても変わりません。



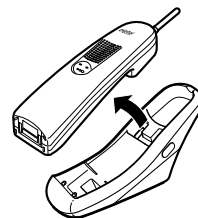
- 着信音を変えるには
コードレス電話機の着信音量は、「標準」「小」「切」の3段階で切り替えることができます。（●P77）また、音色をメロディにすることもできます。（●P88）

コードレス電話機で受ける

1 着信音が鳴り、外線ランプと通話ランプが点滅します。

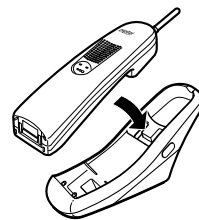


2 充電器から取りあげて、相手の方とお話してください。



充電器から外しているときは、**通話** ボタンを押します。

3 お話しが終わったら、充電器に置きます。



充電器に置かないときは、**切** ボタンを押します。



お知らせ

- コードレス電話機の着信音は、主電話機より少し遅れて鳴ります。コードレス電話機で受けるときは、必ずコードレス電話機の着信音が鳴り始めてから電話を受けてください。
- コードレス電話機のモードが異なっていると、電話がかかってきても受けられません。

1
お使用に
なる前に

2
電話をかける
受ける

3
内線電話
として使う

4
留守番電話
を使う

5
リモコン
操作する

6
用件を転送
する

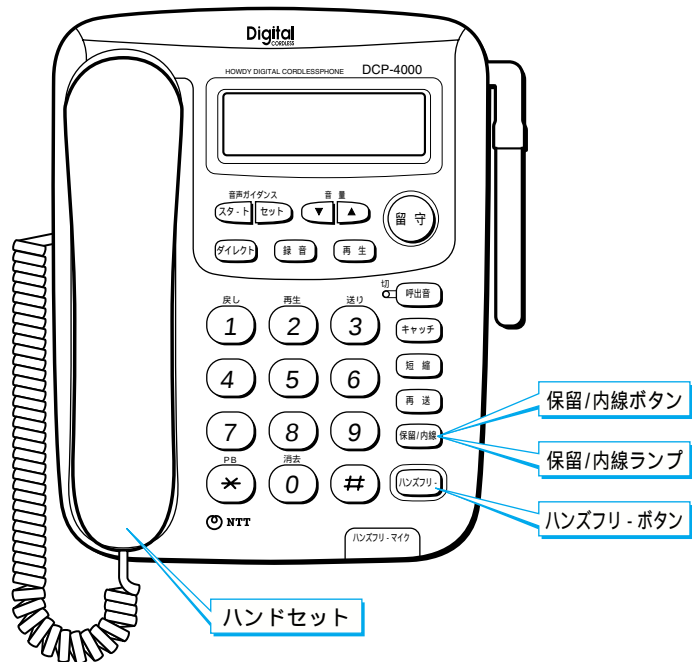
7
PHSサービス
を利用する

8
より便利に
使う

9
ご参考に

相手の方に待っていただくには（保留）

お話しを一時中断して、相手の方に待っていただくときは保留にします。相手の方へは保留メロディが流れます。保留にしたあと、他の電話機でも電話に出ることができます。

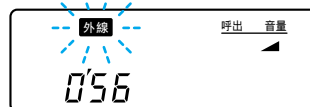
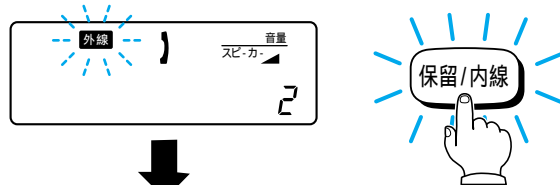


主電話機で保留にする

1 お話し中に、相手の方に待っていただくように伝えます。

2 保留/内線 ボタンを押して、ハンドセットを置きます。

相手の方には、保留メロディが流れます。



保留メロディ...「カノン」

再び主電話機で出るときは、ハンドセットをそのままにしてください。

3 コードレス電話機で電話に出るときは、充電器から取りあげてお話しください。

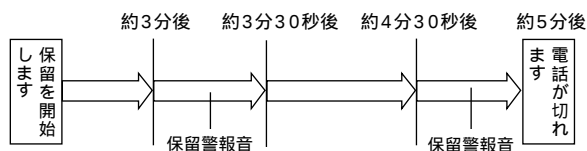
コードレス電話機を充電器から外しているときは、**通話** ボタンを押してお話しください。

3 主電話機で出るときは、ハンドセットを取りあげてお話しください。

主電話機のハンドセットを置かなかったときは、**保留/内線** ボタンを押してお話しください。
ハンズフリー通話でお話しするときは、**ハンズフリー** ボタンを押してお話しください。

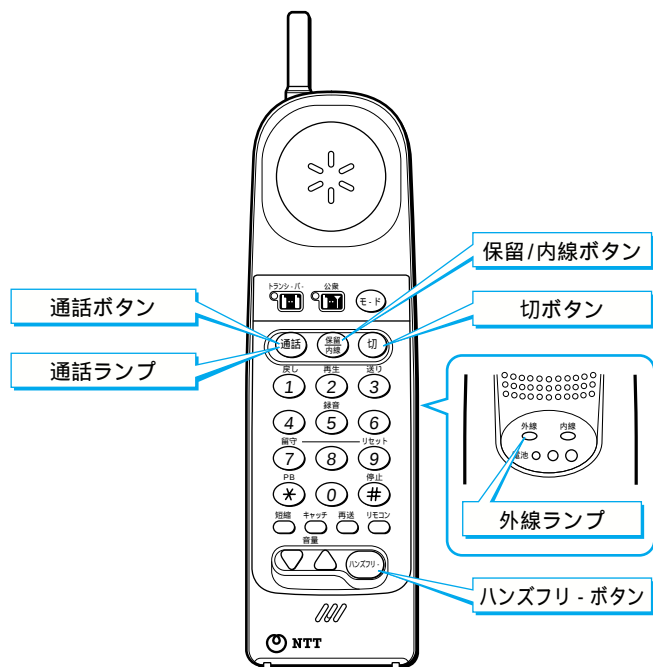
お知らせ

- 主電話機で保留にしてハンドセットを置くか、またはコードレス電話機で保留にして充電器に置くと、保留開始から約3分後と約4分30秒後に「ピーピー...」という警報音がすべての電話機で鳴り、保留中であることをお知らせします（保留警報）。さらに保留を続けると、約5分後に電話は自動的に切れます。



- 主電話機で保留にしてコードレス電話機で出るときは、必ず主電話機のハンドセットを置いてください。ハンドセットを置いていないと、コードレス電話機で出ようとしても、「ツーツー...」という音がしてお話しすることはできません。
- 保留にした主電話機でハンドセットを置かなかったときは、約3分後にスピーカから「ピーピー...」という警報音が鳴り、約30秒後に自動的にコードレス電話機でも出られるようになります。
- 主電話機で保留にしたとき、保留を解除する前にドアホンからの呼び出しにコードレス電話機で応答すると、コードレス電話機とドアホンの通話が終了するまで主電話機で保留を解除することはできません。

PHSサービスをご利用のときは、保留にしたあと充電器に置いたり（切）ボタンを押すと、通話が切れてしまいますのでご注意ください。

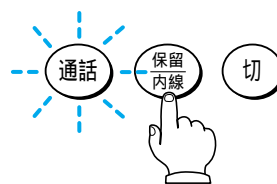


コードレス電話機で保留にする

1 お話し中に相手の方に待っていただくように伝えます。

2 **保留/内線** ボタンを押して、充電器に置きます。

外線ランプと通話ランプが点滅し、相手の方には保留メロディが流れます。



充電器に置かないときは、（切）ボタンを押します。

3 主電話機で出るときは、ハンドセットを取りあげてお話しください。

ハンズフリー通話でお話しするときは、（ハンズフリー）ボタンを押してお話しください。



お知らせ

- コードレス電話機で保留にして主電話機で出るときは、必ずコードレス電話機を充電器に置くか（切）ボタンを押してください。充電器に置くか（切）ボタンを押さないと、主電話機で出ようとしても、お話しすることができません。
- 保留にしたあと、コードレス電話機を充電器に置かなかったとき、または（切）ボタンを押さなかったときは、約3分後にスピーカから「ピーピー...」という警報音が鳴り、約30秒後に自動的に主電話機でも出られるようになります。
- PHSサービスをご利用のときは、保留メロディは流れません。相手の方には「ピッピッ...」という音が聞こえ、こちらの声は聞こえなくなります。
- ピエットコードレス電話機を増設した場合、ピエットコードレス電話機に付属の取扱説明書をご覧ください。

3 コードレス電話機で電話に出るときは、充電器から取りあげてお話しください。

コードレス電話機を充電器から外しているときは、（通話）ボタンを押してお話しください。ハンズフリー通話でお話しするときは、（ハンズフリー）ボタンを押してお話しください。



ワンポイント

- 保留にしたコードレス電話機でまたすぐにお話しするときは（保留/内線）ボタンを押したあと充電器に置かずに、もう一度（保留/内線）ボタンまたは（通話）ボタンを押せば外の方とお話しすることができます。

1 お使いになる前に

2 電話を受ける

3 内線電話として使う

4 留守番電話を使う

5 リモコン操作する

6 用件を転送する

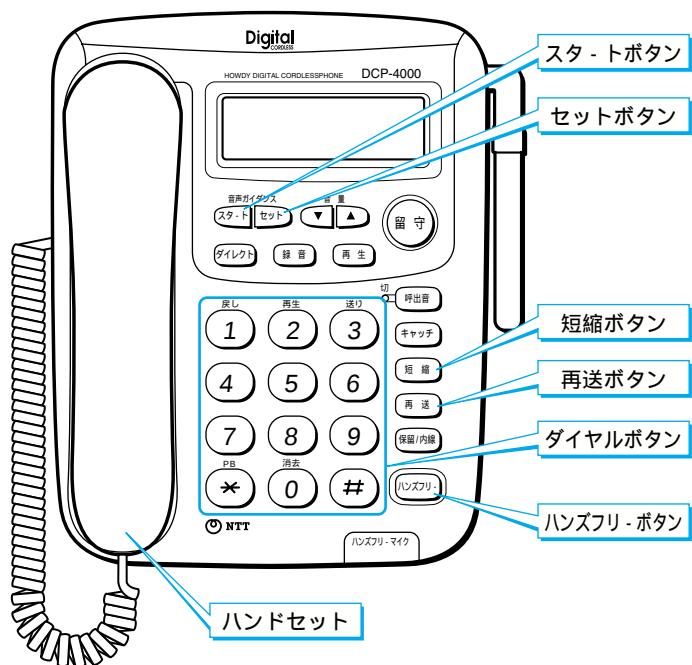
7 PHSサービスを利用する

8 より便利に使う

9 ご参考に

主電話機の短縮ダイヤルで 電話をかけるには (短縮ダイヤル)

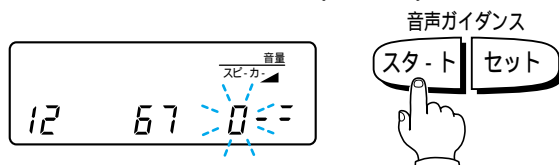
短縮ダイヤルは、主電話機、コードレス電話機ごとに短縮番号0～9の10か所に登録することができます。主電話機の短縮番号0には40桁までの電話番号を登録することができ、短縮番号1～9には20桁まで登録することができます。



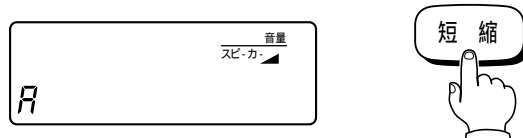
短縮ダイヤルを登録する

1 ハンドセットを置いたまま、**スタート** ボタンを押します。

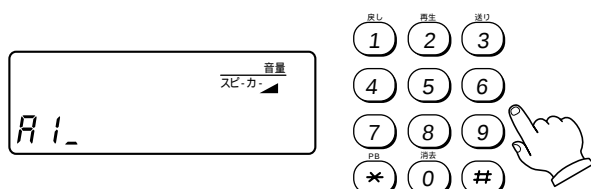
音声ガイダンスが流れます。(P84)



2 **短縮** ボタンを押します。



3 短縮番号 (0～9) の1桁の数字) を押します。



4 登録する電話番号をダイヤルボタンで押します。



＊、＃も1桁として数えます。
間違えて入力したときは、**スタート** ボタンを押して登録を中止し、最初からやり直してください。

5 **セット** ボタンを押します。

設定した電話番号を確認する音声がかかります。



ワンポイント

- 電話番号にポーズ(待ち時間)を入れて登録するには、ポーズを入れたいところで、**再送** ボタンを押します。
再送 ボタンを1回押すごとに約3.8秒のポーズが入ります。ポーズも1桁と数えます。
ポーズを入れる例 (P69)

- 短縮ダイヤルを消去するには、登録の操作を行い、手順4で電話番号を押すかわりに **ハンズフリー** ボタンを押します。

お知らせ

- 主電話機の短縮番号0の短縮ダイヤルは留守番電話の用件を転送するときの転送先としてご利用ください。(P68、69)
- 操作中に電話がかかってきたときは、操作は無効となります。電話を切ったあと、最初からやり直してください。
- 操作の途中で約30秒間ボタンを押さないと、設定は無効になります。もう一度最初からやり直してください。

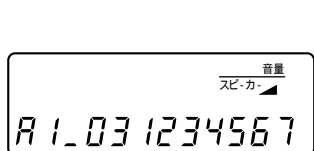
短縮ダイヤルで電話をかける

1 ハンドセットを置いたまま、**短縮** ボタンを押します。



2 短縮番号（**0** ~ **9**）の1桁の数字）を押します。

「短縮...は、...です。」という音声がかえ、登録されている電話番号が表示されます。



3 約5秒以内にハンドセットを取りあげます。

表示されている電話番号がダイヤルされます。



ハンズフリー通話でお話するときには、ハンドセットを取りあげるかわりに**ハンズフリー** ボタンを押します。

4 相手の方が出たら、お話しください。



ワンポイント

- ハンドセットを取りあげてからかけるには
ハンドセットを取りあげてから、**短縮** ボタンを押す
短縮番号（**0** ~ **9**）を押す
- 長い電話番号をかけるときは（ミックスダイヤル）
ダイヤルボタンで押すマニュアルダイヤルと再ダイヤル、
短縮ダイヤルを組み合わせることができます。か
けることができる組み合わせは以下の表のとおりです。

後に押す 先に押す	マニュアル ダイヤル	短縮ダイヤル	再ダイヤル
マニュアルダイ ヤル	-	○*1	×*2
短縮ダイヤル	○	○	×
再ダイヤル	○	○	×

表の見方

*1 マニュアルダイヤル→短縮ダイヤルの順でかけること
ができる

*2 マニュアルダイヤル→再ダイヤルの順でかけることは
できない

ミックスダイヤルでかけたあとの再ダイヤルには、1件
にミックスダイヤルのすべての番号が記憶されます。

短縮ダイヤル→マニュアルダイヤルの順でかける例

ハンドセットを取りあげる

短縮 ボタンを押す

短縮番号（0～9）を押す

続きの番号をダイヤルボタンで押す

ミックスダイヤルのときは、ハンドセットを置いたまま
かけることはできません。

1
お使用に
前に

2
電話を
かける
受ける

3
内線電話
として使う

4
留守番電話
を使う

5
リモコン
操作する

6
用件を転送
する

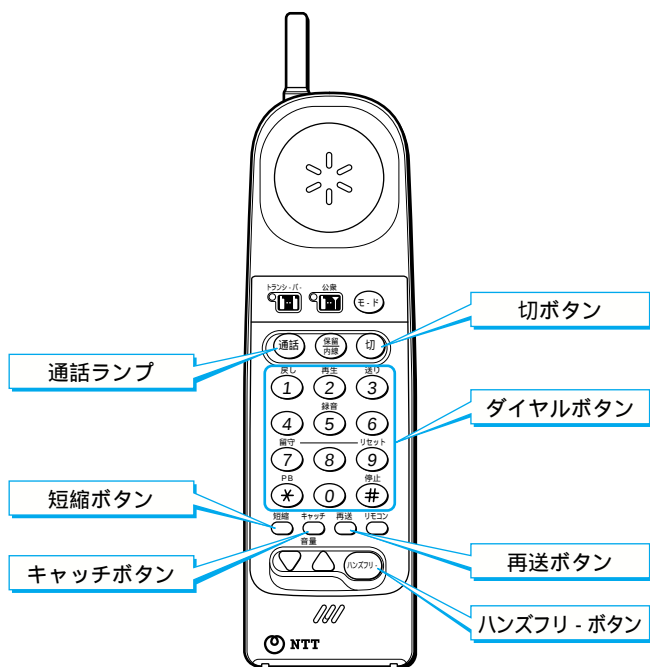
7
PHSサービス
を利用する

8
より便利に
使う

9
ご参考に

コードレス電話機の短縮ダイヤルで電話をかけるには (短縮ダイヤル)

コードレス電話機の短縮ダイヤルには、短縮番号0～9の10か所にそれぞれ20桁までの電話番号を登録することができます。



ワンポイント

- 登録を中止するには
(切) ボタンを押します。
- 電話番号にポーズ(待ち時間)を入れて登録するには
ポーズを入れたところで、再送ボタンを押します。
再送ボタンを1回押すごとに約3.8秒のポーズが入ります。
ポーズも1桁と数えます。
ポーズを入れる例(●P69)
- 短縮ダイヤルを消去するには
短縮ダイヤルを登録する操作の手順5で電話番号のかわりにキャッチボタンを押します。



お知らせ

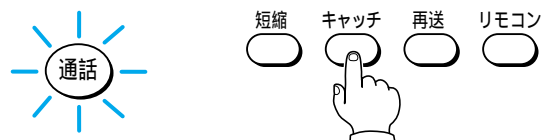
- PHSサービスで短縮ダイヤルを利用するときは、必ず市外局番から登録してください。
- 充電器から外して操作しているとき、充電器にコードレス電話機を置くと操作は無効となります。最初からやり直してください。
- 操作中に電話がかかってきたときは、操作は無効となります。電話を切ったあと、最初からやり直してください。
- 操作の途中で約30秒間ボタンを押さないと、設定は無効になります。もう一度最初からやり直してください。

短縮ダイヤルを登録する

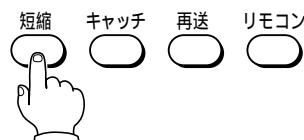
1 充電器から取りあげて、(切) ボタンを押します。

充電器から外しているときは、通話ランプが点灯していないことを確認します。

2 キャッチボタンを押します。



3 短縮ボタンを押します。



4 短縮番号(0～9の1桁の数字)を押します。



5 登録する電話番号をダイヤルボタンで押します。

＊、＃も1桁として数えます。

間違えて入力したときは、(切) ボタンを押して登録を取り消し、もう一度最初からやり直してください。

6 キャッチボタンを押します。

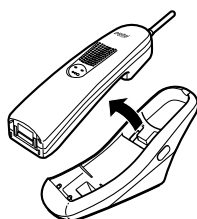
「ピー」という音が鳴って、電話番号が登録されます。



短縮ダイヤルで電話をかける

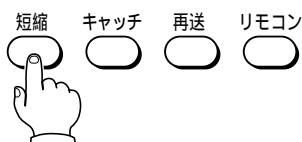
1 充電器から取りあげます。

「ツー」という発信音を確認してください。



ハンズフリー通話でお話するときは、**（ハンズフリー）** ボタンを押します。

2 短縮ボタンを押します。



3 短縮番号（①～⑨の1桁の数字）を押します。

登録されている電話番号が自動的にダイヤルされます。



4 相手の方が出たら、お話しください。



ワンポイント

- 長い電話番号をかけるときは（ミックスダイヤル）ダイヤルボタンで押すマニュアルダイヤルと再ダイヤル、短縮ダイヤルを組み合わせることができます。かけることができる組み合わせは以下の表のとおりです。

	後に押す	マニュアルダイヤル	短縮ダイヤル	再ダイヤル
先に押す				
マニュアルダイヤル		-	○*1	×*2
短縮ダイヤル		○	○	×
再ダイヤル		○	○	×

表の見方

*1 マニュアルダイヤル→短縮ダイヤルの順でかけることができる

*2 マニュアルダイヤル→再ダイヤルの順でかけることはできない

ミックスダイヤルでかけたあとの再ダイヤルには、1件にミックスダイヤルのすべての番号が記憶されます。

短縮ダイヤル→マニュアルダイヤルの順でかける例

コードレス電話機を充電器から取りあげる

短縮ボタンを押す

短縮番号（0～9）を押す

続きの番号をダイヤルボタンで押す

1
お使用に
なる前に

2
電話を
受ける
かけるノ

3
内線電話
として使う

4
留守番電話
を使う

5
リモコン
操作する

6
用件を転送
する

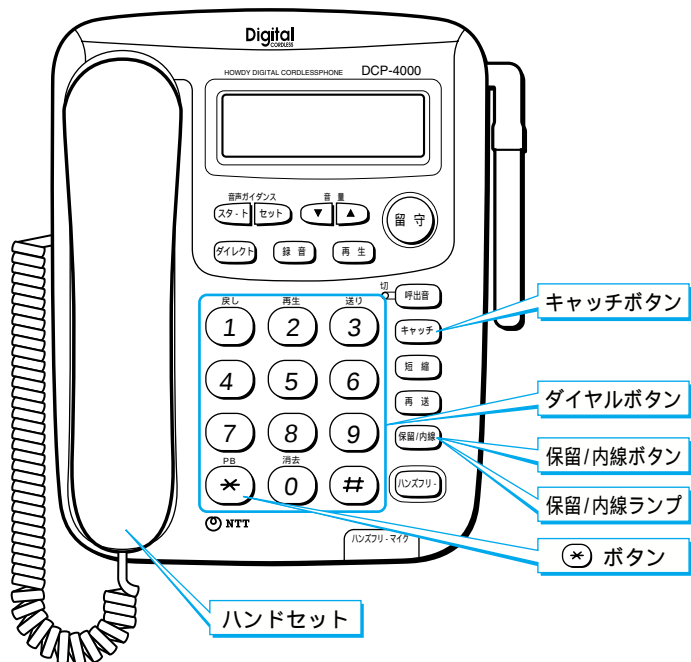
7
PHSサービス
を利用する

8
より便利に
使う

9
ご参考に

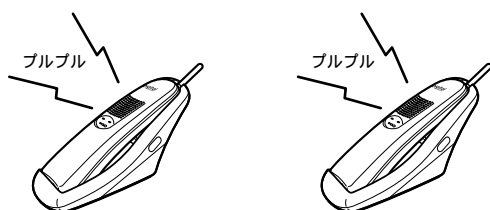


主電話機からコードレス電話機、コードレス電話機から主電話機を内線番号で呼び出してお話することができます。



ワンポイント

- 呼び出しを中止するには
手順2のあと、**保留/内線** ボタンを押します。
- **保留/内線** ボタンを押したあとに、外の方へ電話をかけるには
手順2の操作で **0** を押すと、「ツー」という発信音が聞こえ、外の方へ電話をかけられるようになります。
- すべてのコードレス電話機を一斉に呼び出すには（一斉呼び出し：コードレス電話機を増設しているとき）
手順2の操作で内線番号のかわりに ***** ボタンを押すと、すべてのコードレス電話機で一斉に呼出音が鳴ります。
一斉呼び出しのときは呼びかけることはできません。



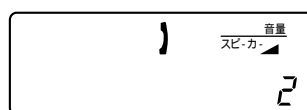
呼び出された方は、どのコードレス電話機からも応答することができます。応答があると、応答したコードレス電話機の内線番号が表示されます。

主電話機から呼び出す

呼び出す方

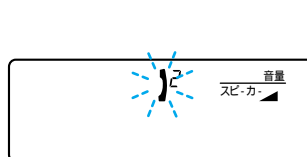
1 ハンドセットを置いたまま、**保留/内線** ボタンを押します。

「ブー」という音を確認してください。



2 呼び出すコードレス電話機の内線番号（**2** ~ **5**）を押します。

呼出音が聞こえます。



内線番号3～5は増設したコードレス電話機です。

3 呼出音が終わったら、ハンドセットを取りあげて呼びかけます。



ハンドセットを取りあげずにお話することもできます。

4 呼び出された方が応答したら、お話しください。

5 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

ハンドセットを取りあげずにお話ししていたときは、**保留/内線** ボタンを押します。

呼び出される方

1 呼び出されると呼出音が鳴り、続いて呼びかける声が聞こえます。充電器から取りあげてお話しください。



充電器から外しているときは、**通話** ボタンを押してお話してください。

2 お話が終わったら、充電器に置きます。

充電器に置かないときは、**切** ボタンを押します。



ワンポイント

- 呼びかけずに呼出音だけにするには
お買い上げ時は、呼出音のあとに呼びかける設定になっています。呼出音だけの設定にすることもできます。
(▶P86)
呼出音だけの設定にすると、呼び出し中は、呼出音が鳴り続けます。
- 内線通話中に電話がかかってきたら
主電話機とコードレス電話機で、お話しに重なって着信音が聞こえます。
電話に出る方がキャッチボタンを押して、外の方とお話してください。このとき、内線通話は切れます。



お知らせ

- コードレス電話機を増設している場合、内線通話中に外の方から電話がかかってきたときは、内線通話中の電話機のみ電話に出ることができます。内線通話をしていない電話機で電話に出ることはできません。
- ピエットコードレス電話機を呼び出したときは、内線呼び出しの設定が音声で呼びかける設定になっていても、呼びかけることはできません。このときは、呼び出した方も呼び出された方も呼出音が鳴り続けます。
ピエットコードレス電話機を増設した場合、ピエットコードレス電話機に付属の取扱説明書をご覧ください。

1
お使用に
する前に

2
電話を
かける／
受ける

3
内線電話
として使
う

4
留守番電
話を使う

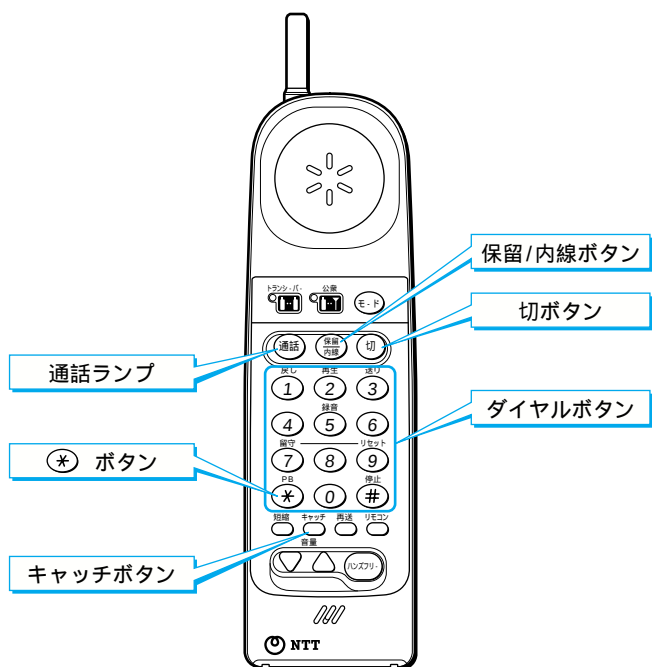
5
リモコン
操作する

6
用件を転
送する

7
PHSサー
ビスを利
用する

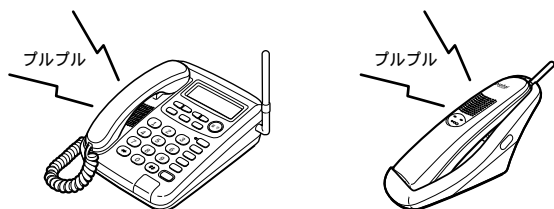
8
より便利
に使う

9
ご参考に



ワンポイント

- 呼び出しを中止するには (切) ボタンを押します。
- 主電話機とすべてのコードレス電話機を一齐に呼び出すには (一齐呼び出し: コードレス電話機を増設しているとき)
手順3の操作で内線番号のかわりに (*) ボタンを押すと、すべての電話機で一齐に呼出音が鳴ります。一齐呼び出しのときは呼びかけることはできません。



呼び出された方は、どの電話機からも応答することができます。

- (保留内線) ボタンを押したあとに、外の方へ電話をかけるには手順3の操作で (0) を押すと、「ツー」という発信音が聞こえ、外の方へ電話をかけられるようになります。このとき、コードレス電話機に外線発信規制が設定されていると外の方へ電話をかけることはできません。(P86)

コードレス電話機から呼び出す

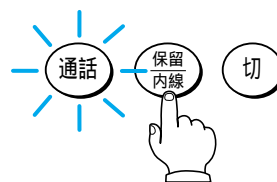
呼び出す方

- 1 充電器から取りあげて、(切) ボタンを押します。

充電器から外しているときは、通話ランプが点灯していないことを確認します。

- 2 (保留内線) ボタンを押します。

「プー」という音を確認してください。



- 3 呼び出す電話機の内線番号 (1 ~ 5) を押します。

呼出音が聞こえます。



内線番号

1...主電話機

3 ~ 5...増設したコードレス電話機

- 4 呼出音が終わったら、呼びかけます。



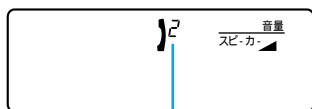
- 5 呼び出された方が応答したら、お話しください。

- 6 お話が終わったら、充電器に置きます。

充電器に置かないときは、(切) ボタンを押します。

呼び出される方

1 呼び出されると呼出音が鳴り、続いて呼びかける声が聞こえます。ハンドセットを取りあげてお話しください。



呼び出しているコードレス
電話機の内線番号



2 お話が終わったら、ハンドセットを置きます。



ワンポイント

- 呼びかけずに呼出音だけにするには
お買い上げ時は、呼出音のあとに呼びかける設定になっています。呼出音だけの設定にすることもできます。
(●P86)
呼出音だけの設定にすると、呼び出し中は、呼出音が鳴り続けます。
- 内線通話中に電話がかかってきたら
主電話機とコードレス電話機で、お話しに重なって着信音が聞こえます。
電話に出る方がキャッチボタンを押して、外の方とお話しください。このとき、内線通話は切れます。



お知らせ

- コードレス電話機を増設している場合、内線通話中に外の方から電話がかかってきたときは、内線通話中の電話機のみ電話に出ることができます。内線通話をしていない電話機で電話に出ることはできません。
- ピエットコードレス電話機を呼び出したときは、内線呼び出しの設定が音声で呼びかける設定になっていても、呼びかけることはできません。このときは、呼び出した方も呼び出された方も呼出音が鳴り続けます。
ピエットコードレス電話機を増設した場合、ピエットコードレス電話機に付属の取扱説明書をご覧ください。

1
お使用に
なる前に

2
電話をかける
受ける

3
内線電話
として使う

4
留守番電話
を使う

5
リモコン
操作する

6
着信を転送
する

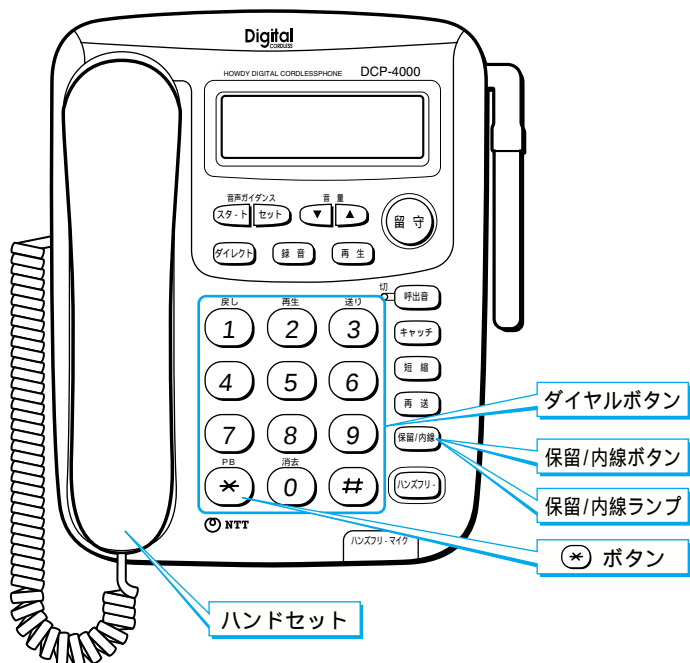
7
PHSサービス
を利用する

8
より便利に
使う

9
ご参考に

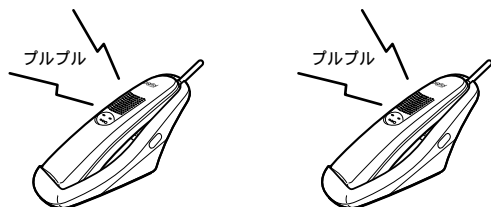


主電話機で受けた電話をコードレス電話機へ、またはコードレス電話機で受けた電話を主電話機へ取りつぎます。



ワンポイント

- 外の方とのお話しに戻るには
手順3の操作で呼び出された方が応答しなかったときは、**保留/内線** ボタンを押して呼び出しをやめ、もう一度 **保留/内線** ボタンを押すと外の方とのお話しに戻ることができます。
- 呼び出す相手を変えるには (コードレス電話機を増設しているとき)
手順3で呼び出された方が応答しなかったときは、**保留/内線** ボタンを押して呼び出しをやめ、別の内線番号を押し直します。
- すべてのコードレス電話機を一斉に呼び出すには (一斉呼び出し: コードレス電話機を増設しているとき)
手順2の操作で内線番号のかわりに ***** ボタンを押すと、すべての電話機で一斉に呼出音が鳴ります。一斉呼び出しのときは呼びかけることはできません。



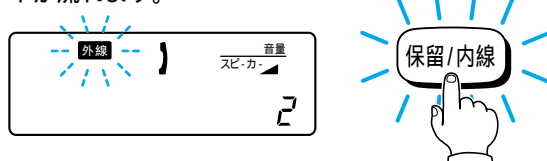
呼び出された方は、どのコードレス電話機からも応答することができます。応答があると、応答したコードレス電話機の内線番号が表示されます。

主電話機から取りつぐ

呼び出す方

1 お話し中に相手の方に待っていただくように伝え、**保留/内線** ボタンを押します。

「プー」という音が聞こえ、スピーカからは保留メロディが流れます。



ハンズフリー通話でお話ししているときは、ハンドセットを取りあげてから **保留/内線** ボタンを押します。

2 呼び出すコードレス電話機の内線番号 (② ~ ⑤) を押します。

呼出音が聞こえます。



内線番号3~5は増設したコードレス電話機です。

3 呼出音が終わったら、呼びかけます。

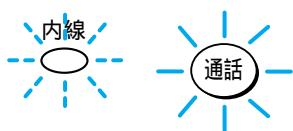


4 呼び出された方が応答したら、電話を取りつぐことを伝え、ハンドセットを置きます。

ハンドセットを置くと電話を取りつぐことができます。

呼び出される方

1 呼び出されると呼出音が鳴り、続いて呼びかける声が聞こえます。充電器から取りあげてお話しください。



充電器から外しているときは、**通話** ボタンを押してお話してください。

2 主電話機のハンドセットを置くと、外からの電話がつながりますから、相手の方とお話してください。



ワンポイント

- 呼びかけずに呼出音だけにするには
お買い上げ時は、呼出音のあとに呼びかける設定になっています。呼出音だけの設定にすることもできます。
(●P86)
呼出音だけの設定にすると、呼び出し中は、呼出音が鳴り続けます。



お知らせ

- 保留後、内線通話の状態です約3分たつと、警報音が約3秒間内線通話に重なって聞こえます。その後は約1分たつごとに警報音が約3秒間、内線通話に重なって聞こえます。
- ピエットコードレス電話機を呼び出したときは、内線呼び出しの設定が音声で呼びかける設定になっていても、呼びかけることはできません。このときは、呼び出した方も呼び出された方も呼出音が鳴り続けます。
ピエットコードレス電話機を増設した場合、ピエットコードレス電話機に付属の取扱説明書をご覧ください。

1
お使用に
なる前に

2
電話をかける／
受ける

3
内線電話
として使う

4
留守番電話
を使う

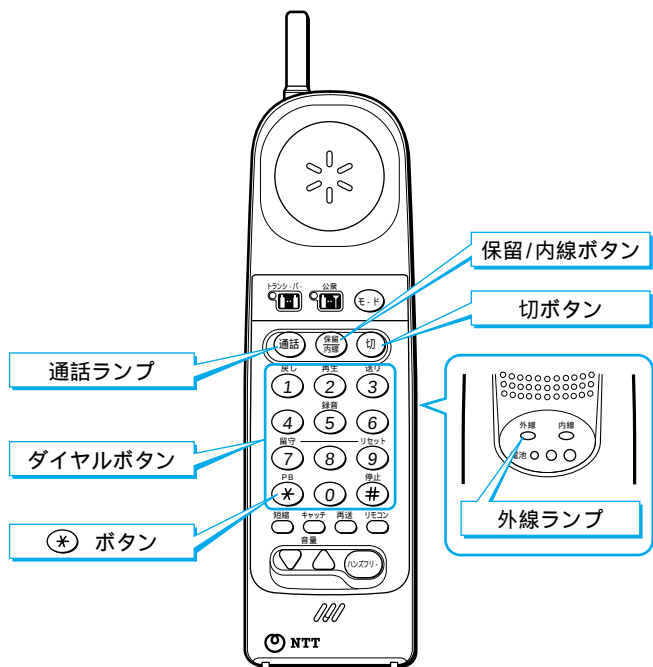
5
リモコン
操作する

6
用件を転送
する

7
PHSサービス
を利用する

8
より便利に
使う

9
ご参考に



ワンポイント

- 外の方とのお話しに戻るには
手順3の操作で呼び出された方が応答しなかったときは、**保留内線** ボタンを押して呼び出しをやめ、もう一度 **保留内線** ボタンを押すと外の方とのお話しに戻ることができます。
- 呼び出す相手を変えるには (コードレス電話機を増設しているとき)
手順3で呼び出された方が応答しなかったときは、**保留内線** ボタンを押して呼び出しをやめ、別の内線番号を押します。
- 主電話機と増設したすべてのコードレス電話機を一斉に呼び出すには (一斉呼び出し: コードレス電話機を増設しているとき)
手順2の操作で内線番号のかわりに ***** ボタンを押すと、すべての電話機で一斉に呼出音が鳴ります。一斉呼び出しのときは呼びかけることはできません。



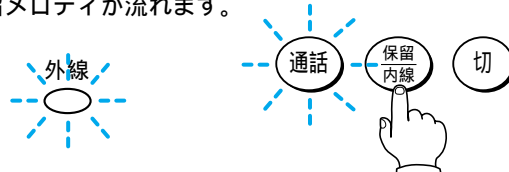
呼び出された方は、どの電話機からも応答することができます。

コードレス電話機から取りつぐ

呼び出す方

1 お話し中に、相手の方に待っていただくように伝え、**保留内線** ボタンを押します。

保留メロディが流れます。



ハンズフリー通話でお話ししているときは、コードレス電話機を充電器から取りあげて **保留内線** ボタンを押します。

2 呼び出す電話機の内線番号 (**①** ~ **⑤**) を押します。

呼出音が聞こえます。



内線番号

1...主電話機

3 ~ 5...増設したコードレス電話機

3 呼出音が終わったら、呼びかけます。



4 呼び出された方が応答したら、電話を取りつぐことを伝え、充電器に置きます。

充電器に置かないときは、**切** ボタンを押します。
コードレス電話機を充電器に置か **切** ボタンを押すと、電話を取りつぐことができます。

呼び出される方

1

呼び出されると呼出音が鳴り、続いて呼びかける声が聞こえます。ハンドセットを取りあげてお話しください。



呼び出しているコードレス電話機の内線番号



2

コードレス電話機を充電器に置くと、外からの電話がつながりますから、相手の方とお話してください。



ワンポイント

- 呼びかけずに呼出音だけにするには
お買い上げ時は、呼出音のあとに呼びかける設定になっています。呼出音だけの設定にすることもできます。
(●P86)
呼出音だけの設定にすると、呼び出し中は、呼出音が鳴り続けます。



お知らせ

- 保留後、内線通話の状態です約3分たつと、警報音が約3秒間内線通話に重なって聞こえます。その後は約1分たつごとに警報音が約3秒間、内線通話に重なって聞こえます。
- ピエットコードレス電話機を呼び出したときは、内線呼び出しの設定が音声で呼びかける設定になっていても、呼びかけることはできません。このときは、呼び出した方も呼び出された方も呼出音が鳴り続けます。
ピエットコードレス電話機を増設した場合、ピエットコードレス電話機に付属の取扱説明書をご覧ください。

1
お使用に
なる前に

2
電話をかける/
受ける

3
内線電話
として使う

4
留守番電話
を使う

5
リモコン
操作する

6
用件を転送
する

7
PHSサービス
を利用する

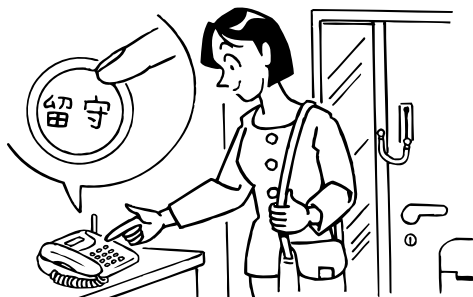
8
より便利に
使う

9
ご参考に

留守番電話として使うには

留守番電話にすると、外出中に電話をかけてきた方に対して外出の旨を伝え（応答メッセージ）用件を録音していただくことができます。電話機に内蔵されている応答メッセージ（内蔵メッセージ）を利用すれば、すぐに留守番電話として使えます。また、自作の応答メッセージを利用することもできます。

外出するとき



留守をセットします

主電話機の **留守** ボタンを押して、留守をセットします。また、コードレス電話機から留守をセットすることもできます。

■ 利用できる応答メッセージ

● 内蔵メッセージ

応答メッセージを録音しなくてもすぐに利用できます。
内蔵の応答メッセージ

「ただいま留守にしています。おそれ入りますが、ピーと鳴ったらお名前とご用件をお話してください。」

留守セット中に用件の録音時間の残量がなくなると応答専用メッセージになります。また、応答専用メッセージに設定することもできます。（●P84）

● 応答専用メッセージ

「ただいま留守にしています。おそれ入りますが、のほどおかけ直してください。」

● 自作のメッセージ

自分の声で応答メッセージを録音することができます。
自作のメッセージを録音する方法（●P58）

応答メッセージの例

「はい、○○です。ただいま留守にしておりますので、ピーという音のあとにお名前とご用件をお話してください。」

「はい、○○です。ただいま外出中です。おしかえしお電話いたしますので、お名前と電話番号をお願いします。」



外出中



用件が録音されます

留守中でも自動的に電話がつながり、用件が録音されます。

外出先へ用件を転送することもできます。

■ 相手の方の用件録音

着信音（ブルブル音など）が聞こえます。

自動的に電話がつながり、「ただいま留守にしています。…」などの応答メッセージが流れます。

「ピーッ」という音のあとに話した用件が録音されます。

電話を切ると、録音された時刻と曜日が自動的に録音されます。

■ 用件の録音時間を変更する（●P84）

1
お使用に
なる前に

2
電話をかける
受ける

3
内線電話
として使う

4
留守番電話
を使う

5
リモコン
操作する

6
用件を転送
する

7
PHSサービス
を利用する

8
より便利に
使う

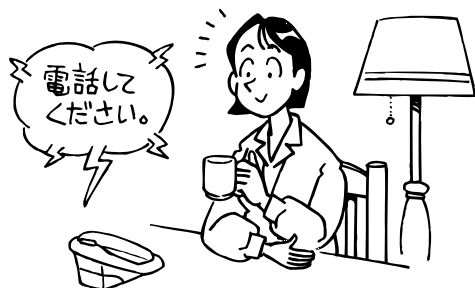
9
ご参考に

帰宅したら



用件を聞きます

外出中に用件が録音されていると、留守ランプが点滅しディスプレイに録音された用件の件数が表示されます。留守を解除して録音された用件を聞きます。用件は、主電話機とコードレス電話機のどちらでも聞くことができます。



主電話機で用件を聞く方法 (●P56)

コードレス電話機で用件を聞く方法 (●P57)

外出先からのリモコン操作



リモコン操作ができます

外出先から用件を聞くことができます。また、留守セットを忘れて外出したときは、リモコン操作で留守をセットすることができます。

■ リモコン操作 (●P62)

外出先から録音された用件を聞く方法 (●P64)

外出先から留守をセットする方法 (●P65)

録音された用件を外出先に転送

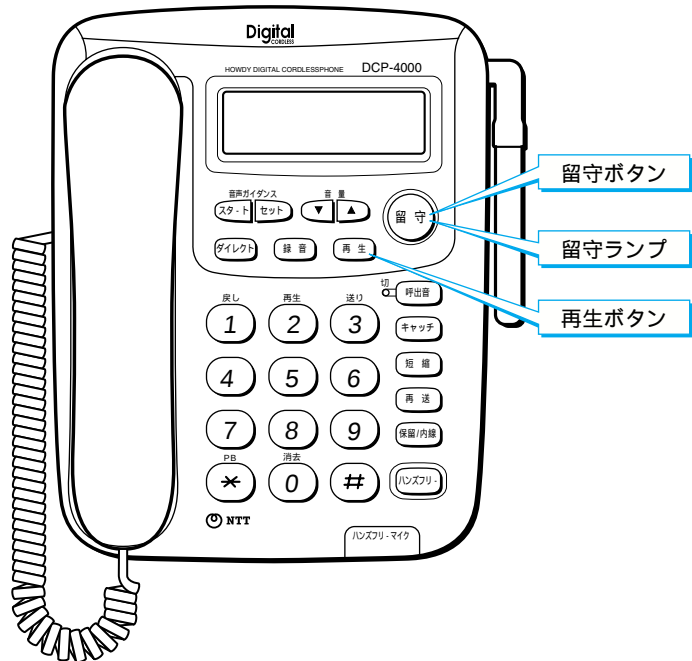


用件が録音されると自動的に転送されます

用件が録音されると、自動的に転送先に電話をかけます。また、転送先で用件を聞くことができます。(●P68)



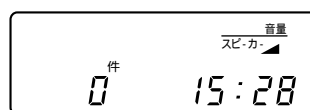
留守番電話は、主電話機の留守ボタンを押すだけでセットすることができます。また、コードレス電話機からもセットすることができます。



主電話機で留守をセットする

1 ハンドセットを置いたまま、留守ボタンを押します。

応答メッセージが聞こえ、留守がセットされます。

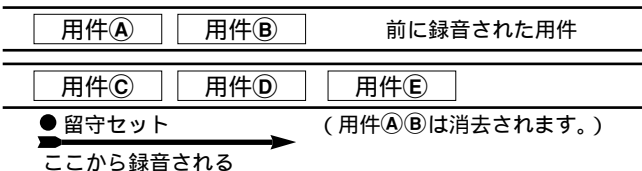


ワンポイント

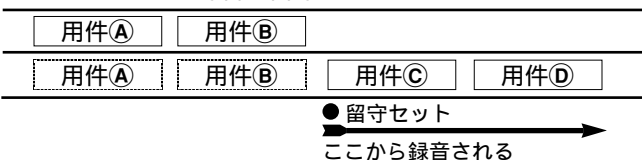
- 応答メッセージは
自作の応答メッセージが録音されているときは、自動的にそのメッセージが流れます。録音されていないときは、内蔵メッセージが流れます。(●P52)
- 前の用件を消去しないで留守をセットするには(アキュムレート録音)
再生ボタンを押しながら、留守ボタンを押す
再生 → 留守
押しながら

アキュムレート録音にすると、前に録音された用件を消去しないでセットすることができます。

<通常の留守セット>



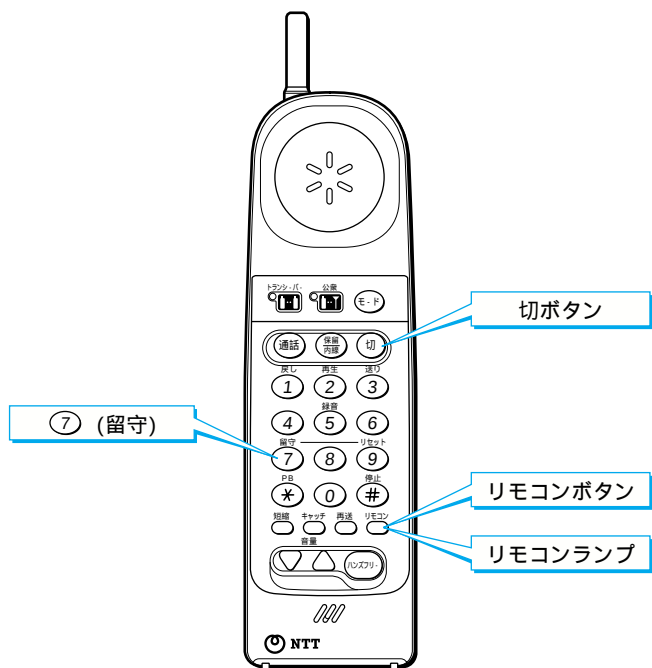
<アキュムレート録音で留守セット>



アキュムレート録音で留守をセットするときは、ディスプレイの「録音残量」が表示されていないことを確認してください。

「録音残量」が点滅...録音残量が1分以下

- 録音できる時間は
約13分で、最大59件まで録音することができます。音楽など1件の用件録音時間が長いときは、録音できる時間が約9分くらいになります。
- 1件の録音時間を変更するには
1件の録音時間は、お買い上げ時1分に設定されています。1分～5分の間で変更することができます。また、用件を録音しない応答専用にすることもできます。(●P84)
- 留守がセットされているときに録音残量がなくなると
応答メッセージが「ただいま留守にしています。おそれ入りますが、のちほどおかけ直してください。」という応答専用メッセージに変わり、用件は録音しません。
- 留守番電話が応答するまでの着信音の回数を変えるには
留守番電話が応答するまでの着信音の回数を、1～9回の範囲で変更することができます。お買い上げ時は、用件がすでに録音されているかどうかを着信音の回数で確認することができるエコノミー確認(トールセイバ)に設定されています。
- エコノミー確認では、用件が録音されていると約2回着信音が聞こえたあとに電話がつながります。録音されていないときは、約5回着信音が聞こえたあとに電話がつながります。
着信音の回数を設定する(●P84)

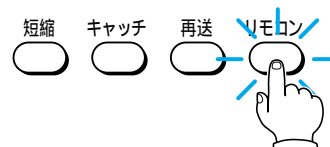


コードレス電話機で留守をセットする

1 充電器から取りあげて、**切** ボタンを押します。

充電器から外しているときは、通話ランプが点灯していないことを確認します。

2 リモコンボタンを押します。



3 **7 (留守)** を押します。

応答メッセージが聞こえ、留守がセットされます。



4 充電器に置きます。

充電器に置かないときは、**切** ボタンを押します。



お知らせ

- コードレス電話機では、アキュムレート録音による留守セットはできません。(●P54)
- 主電話機が使用中のときは、充電器を取りあげるか、リモコンボタンを押すと「ツーツー...」という音が聞こえ、留守をセットすることはできません。
- 手順2の操作のあと、約30秒間ボタンを押さないと、操作は無効になります。もう一度最初からやり直してください。

1 お使いになる前に

2 電話をかける／受ける

3 内線電話として使う

4 留守番電話を使う

5 リモコン操作する

6 用件を転送する

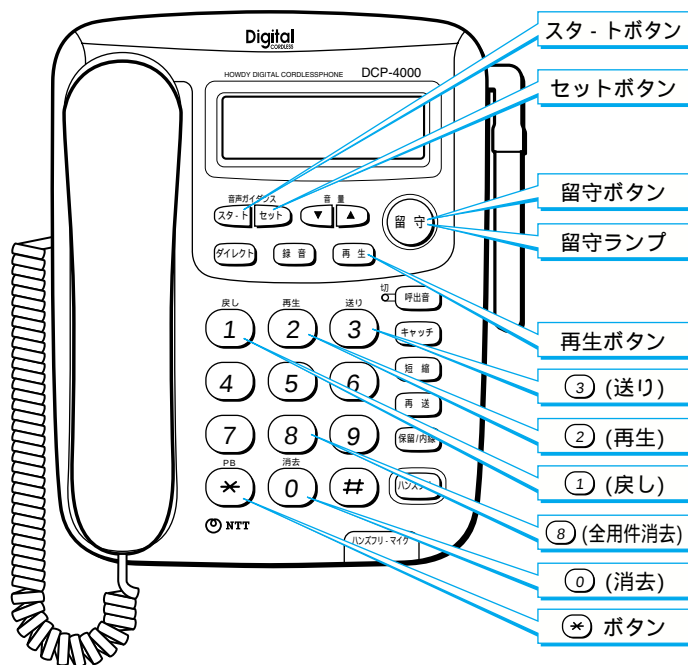
7 PHSサービスを利用する

8 より便利に使う

9 ご参考に



外出中に用件が録音されていると、主電話機の留守ランプが点滅しています。また、主電話機のディスプレイには録音された用件の件数が表示されます。留守を解除して用件を聞く操作は主電話機とコードレス電話機のどちらでもできます。



ワンポイント

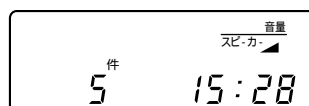
● 用件再生中にできる操作は

操 作	押すボタン
再生中の用件を消去する	⑦ (消去) (消去確認の音声) セット ボタン
再生中の用件を聞き直す	① (戻し)
1つ前の用件をもう一度聞く	① (戻し) (0.5秒以内に) ① (戻し)
用件を遅聞き、早聞きする	② (再生) を押すたびに再生の速さが切り替わる (普通→遅聞き→早聞き→普通→...)
再生中の用件をとばして次の用件を聞く (最後の用件のときは、再生を終了する)	③ (送り)
再生を途中で止める	再生 ボタン

- 留守が解除されているときに用件を聞くには
ハンドセットを置いたまま 再生 ボタンを押します。
- 用件再生中にできる操作も行うことができます。
- アキュムレート録音をしているときは、前に録音された用件の先頭から聞くことができます。
- 用件をすべて消去するには
スタート ボタンを押す
* ボタンを押す
⑧ (全用件消去) を押す
セット ボタンを押す
途中で消去を中止するときは、もう一度 ⑧ を押してから セット ボタンを押します。
- スピーカ音量を調節するには (スピーカ音量) (P31)

主電話機で留守を解除する

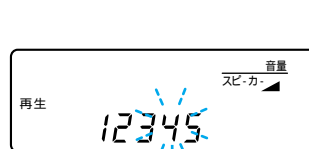
1 留守 ボタンを押します。



用件が録音されていないときは、留守ランプは点灯のままです。

2 用件を聞きます。

留守ランプが点灯し「用件...件再生します。」という用件の件数を案内する音声が入り、再生が始まります。用件がすべて再生されると「ピーピーピー」という音が聞こえ、留守ランプが消灯し留守は解除されます。



お電話
ください。



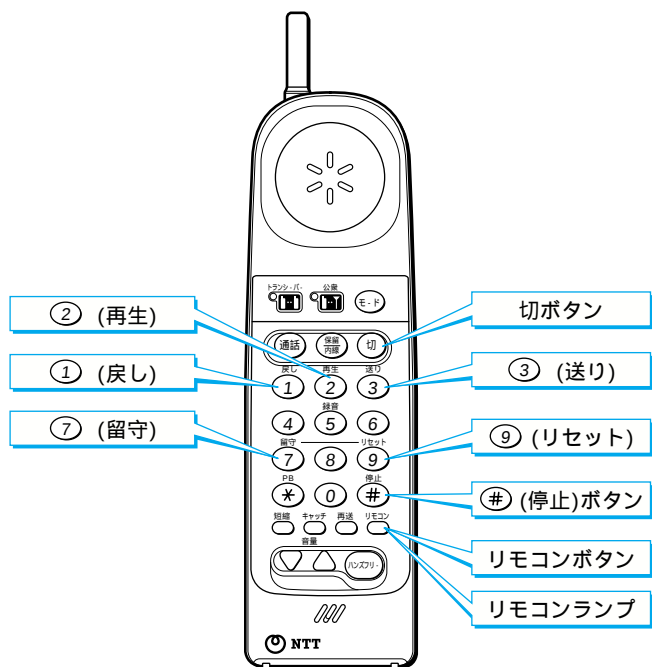
再生中の用件

用件が録音されていないときは、「用件、入っていません。」という音声が入り留守が解除されます。



お知らせ

- アキュムレート録音をしているときも、留守を解除するときは新たに録音された用件のみ再生されます。
- 用件の再生中に外から電話がかかってくると、再生は停止します。用件の再生中は他の電話機で外へ電話をかけることはできません。
- 相手の方が約10秒間何も話さなかったり、声が小さすぎると、自動的に電話は切れます。このときも用件の1件として数えられます。また、相手の方が応答メッセージの途中で電話を切ってしまったときも、1件として数えられることがあります。



ワンポイント

- 用件再生中にできる操作は

操 作	押すボタン
再生中の用件を聞き直す	① (戻し)
1つ前の用件をもう一度聞く	① (戻し) (0.5秒以内に) ① (戻し)
用件を遅聞き早聞きする	② (再生)を押すたびに再生の速さが切り替わる (普通→遅聞き→早聞き→普通→...)
再生中の用件をとばして次の用件を聞く (最後の用件のときは、再生を終了する)	③ (送り)
再生を途中で止める	# (停止) ボタン

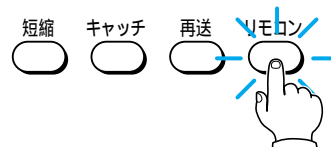
- 留守が解除されているときに用件を聞くには
通話ランプが点灯していない状態でリモコンボタンを押す
② (再生) を押す
 - 用件再生中にできる操作も行うことができます。
 - アキュムレート録音にしているときは、前に録音された用件の先頭から聞くことができます。
- スピーカ音量を調節するには (スピーカ音量) (●P33)

コードレス電話機で留守を解除する

1 充電器から取りあげて、切 ボタンを押します。

充電器から外しているときは、通話ランプが点灯していないことを確認します。

2 リモコンボタンを押します。



3 ⑨ (リセット) を押します。

「用件...件再生します。」という用件の件数を案内する音声が入聞こえ、再生が始まります。用件がすべて再生されると、「ピーピーピーピー」という音が聞こえ留守が解除されます。



用件が録音されていないときは、「用件、入っていません。」という音声が入聞こえ留守が解除されます。

4 続けて用件を聞き直したり、留守をセットしたりすることができます。

用件をはじめてから聞く ... ② (再生)
留守をセットする ⑦ (留守)

5 充電器に置きます。

充電器に置かないときは、切 ボタンを押します。

1 お使いになる前に

2 電話をかける／受ける

3 内線電話として使う

4 留守番電話を使う

5 リモコン操作する

6 用件を転送する

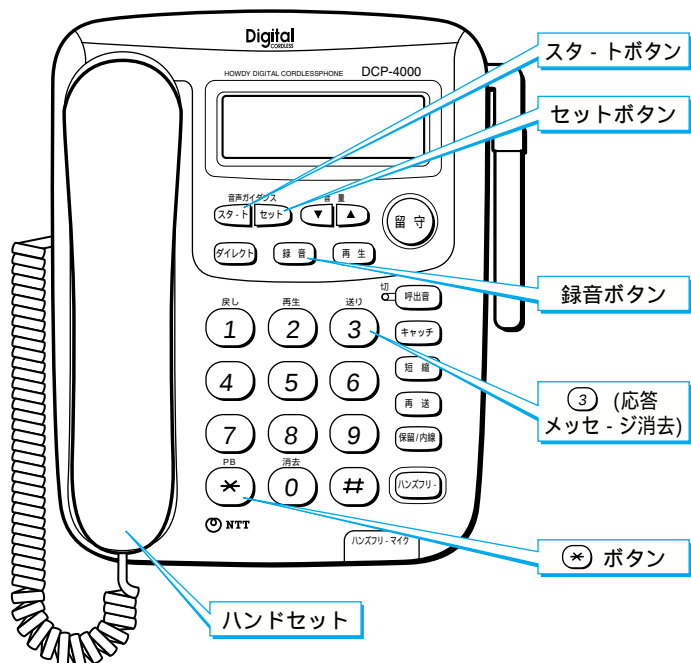
7 PHSサービスを利用する

8 より便利に使う

9 ご参考に

自分の声で応答メッセージを録音するには (応答メッセージ録音)

あらかじめ用意されている応答メッセージのかわりに、自分の声で録音した応答メッセージを利用することができます。録音できる時間は約20秒です。応答メッセージの録音は主電話機で行います。



応答メッセージを録音する

1 ハンドセットを置いたまま、スタートボタンを押します。

音声ガイダンスが聞こえます。(P84)



2 録音ボタンを押します。



3 ハンドセットを取りあげ、応答メッセージを録音します。

「ピー」という音が聞こえ、録音が始まります。



4 録音し終わったら、ハンドセットを置きます。

録音が終了し、録音された応答メッセージがスピーカから聞こえます。



録音時間(約20秒)を超えると、「ピー」という音が鳴って自動的に録音は終了します。ハンドセットを置くかわりに「セット」ボタンを押しても録音が終了します。

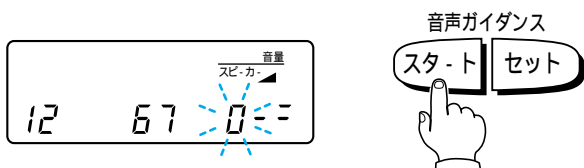
お知らせ

- ディスプレイの「録音残量」が点滅表示されているときは、応答メッセージの録音はできません。
- 応答メッセージの録音中に外から電話がかかってくると、録音は自動的に終了します。前に録音されていた応答メッセージは消去され、中断されるまでに録音した内容が応答メッセージとして登録されますので、電話を切ったあともう一度録音し直してください。
- 新たに応答メッセージを録音すると、前の応答メッセージは消去されます。

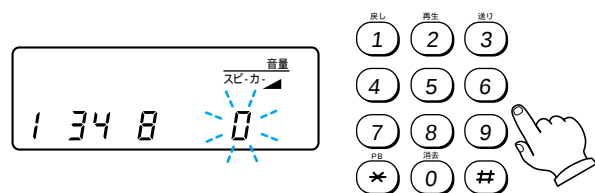
応答メッセージを消去する

1 ハンドセットを置いたまま、**スタート** ボタンを押します。

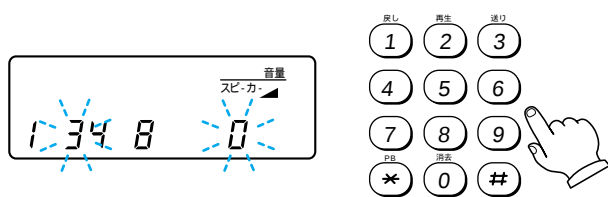
音声ガイダンスが聞こえます。(P86)



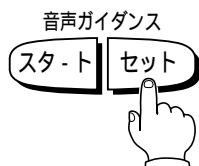
2 ***** ボタンを押します。



3 **(3)** (応答メッセージ消去) を押します。



4 **セット** ボタンを押します。



ワンポイント

- 消去を中止するときは
手順3でもう一度 **(3)** を押してから **セット** ボタンを押します。

1
お使用に
なる前に

2
電話をかける
受ける

3
内線電話
として使う

4
留守番電話
を使う

5
リモコン
操作する

6
用件を転送
する

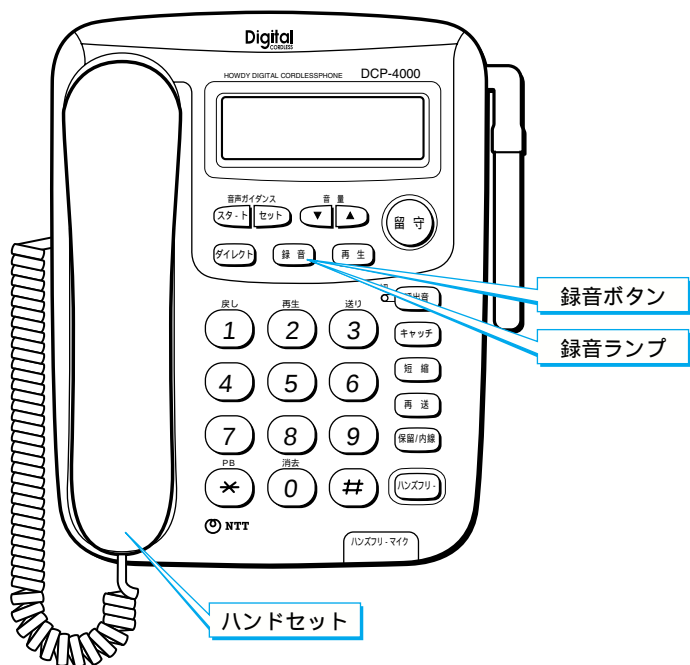
7
PHSサービス
を利用する

8
より便利に
使う

9
ご参考に



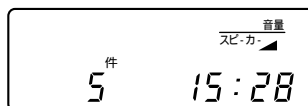
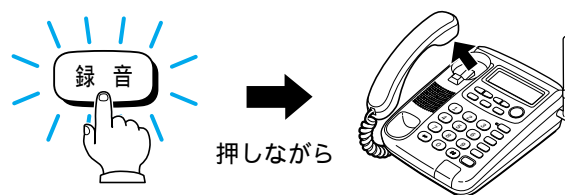
留守をセットしているとき、主電話機またはコードレス電話機から伝言を録音することができます。録音できる時間は最大約4分です。録音した伝言は1件の用件となり、他の用件と同じように再生することができます。



主電話機で伝言を録音する

1 録音 ボタンを押しながら、ハンドセットを取りあげます。

「ピー」という音が聞こえ、録音が始まります。



2 伝言を録音します。



3 録音し終わったら、ハンドセットを置きます。

「...時...分...曜日です。」という音声が入聞こえ、録音が終了します。



録音残量がなくなるか録音時間（約4分）を超えると、「ピー」という音が鳴って自動的に録音は終了します。ハンドセットを置くかわりに「録音」ボタンを押しても録音を終了することができます。



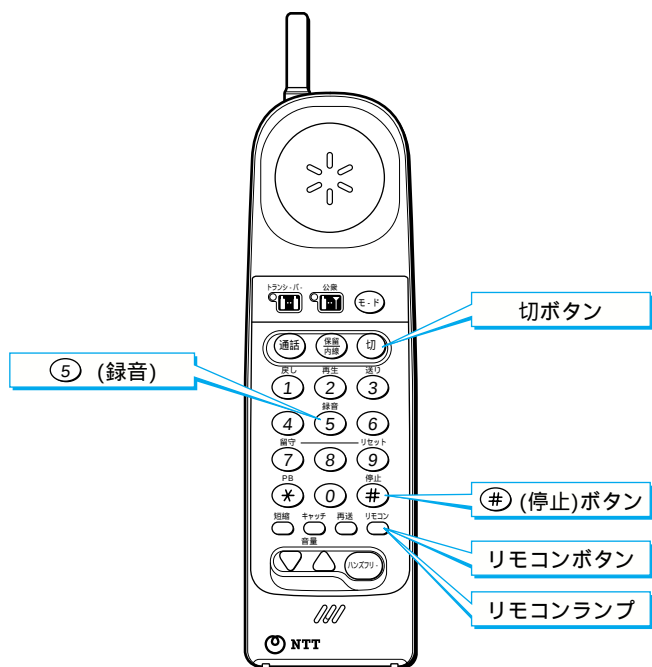
ワンポイント

- 伝言を再生するには
留守番電話の用件の1つとして再生されます。
(P56、57)



お知らせ

- 留守をセットしていないときや録音残量がないときは、伝言を録音しようとすると「ピピピピピピ」という音が聞こえ録音することはできません。
- 伝言として録音できる時間は、用件録音時間を何分に設定していても約4分です。
- 転送がセットされているとき、伝言を録音しても転送はされません。

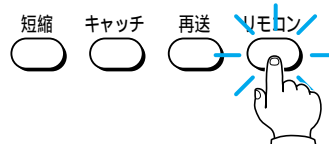


コードレス電話機で伝言を録音する

1 充電器から取りあげて、**切** ボタンを押します。

充電器から外しているときは、通話ランプが点灯していないことを確認します。

2 リモコンボタンを押します。



3 **⑤ (録音)** を押します。

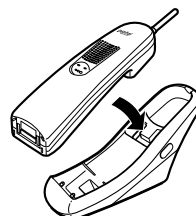
「伝言録音どうぞ。」という音声に続いて「ピー」という音が聞こえ、録音が始まります。



4 伝言を録音します。



5 録音し終わったら、充電器に置きます。



録音残量がなくなるか録音時間（約4分）を超えると、「ピー」という音が鳴って自動的に録音は終了します。充電器に置くかわりに**＃**（停止）ボタンを押しても録音を終了することができます。終了すると「...時...分...曜日です。」という音声がかかります。

1 お使いになる前に

2 電話をかける／受ける

3 内線電話として使う

4 留守番電話を使う

5 リモコン操作する

6 用件を転送する

7 PHSサービスを利用する

8 より便利に使う

9 ご参考に

リモコン操作するには

リモコン操作とは、外からDCP-4000に電話をかけてダイヤルボタンで用件を聞くなどの操作をすることです。リモコン操作をするためには、あらかじめ暗証番号の登録が必要です。

暗証番号を登録します

リモコン操作するための暗証番号をあらかじめ登録しておきます。
暗証番号を登録する (●P63)

留守をセットします

外出するときは、主電話機またはコードレス電話機で留守をセットします。
主電話機で留守をセットする (●P54)
コードレス電話機で留守をセットする (●P55)

外出先から電話をかけます

リモコン操作のできる電話機からDCP-4000に電話をかけます。応答メッセージが聞こえたら、**[#]** [暗証番号] **[#]** の順にダイヤルボタンを押します。



用件を聞きます

外出先から用件を聞くには (●P64)

続けているいろいろな操作ができます

リモコン操作でできること (●P66、67)



ワンポイント

● リモコン操作のできる電話機

外からのリモコン操作は、必ずプッシュ信号を送ることができる電話機またはプッシュホンをご利用ください。ダイヤル回線に接続されている電話機でもプッシュ信号を送る機能があればリモコン操作ができます。

プッシュ式公衆電話機



プッシュ信号を送ることができる電話機またはプッシュホン



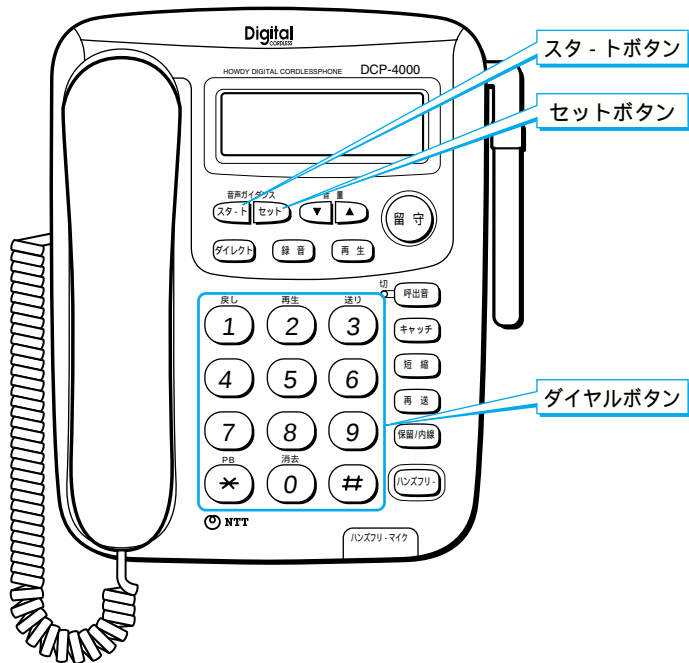
STOP

お願い

携帯電話でリモコン操作をする場合、正常に動作しないことがあります。

暗証番号を登録するには

リモコン操作を行うための暗証番号（4桁の数字）を登録します。

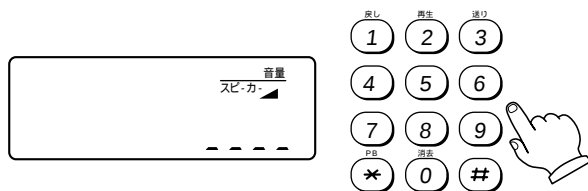


1 ハンドセットを置いたまま、スタートボタンを押します。

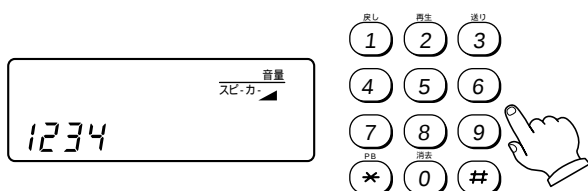
音声ガイダンスが聞こえます。（P84）



2 ② を押します。



3 4桁の数字（暗証番号）をダイヤルボタンで押します。



4 セットボタンを押します。

登録した暗証番号を確認する音声聞こえます。



ワンポイント

- 暗証番号を変更するには
新たに暗証番号を登録します。もとの番号は消去され新しく登録した番号が暗証番号になります。
- 暗証番号を消去するには
登録の操作を行い、手順3でダイヤルボタンを押すかわりに「セット」ボタンを押します。



お知らせ

登録した暗証番号を確認することはできません。

1 お使いになる前に

2 電話をかける／受ける

3 内線電話として使う

4 留守番電話を使う

5 リモコン操作する

6 用件を転送する

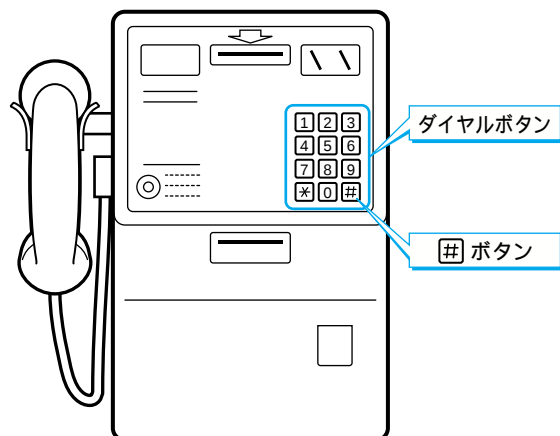
7 PHSサービスを利用する

8 より便利に使う

9 ご参考に

外出先から用件を聞くには

外出先から暗証番号を使って、留守中に録音されている用件を聞きます。続けて伝言を録音したり、応答メッセージを録音するなどのリモコン操作ができます。



ワンポイント

● 用件再生中にできる操作は

操 作	押すボタン
再生中の用件を聞き直す	1
1つ前の用件をもう一度聞く	1 (0.5秒以内に) 1
用件を遅聞き、早聞きする	2 を押すたびに再生の速さが切り替わる (普通→遅聞き→早聞き→普通→...)
再生中の用件をとばして次の用件を聞く(最後の用件ときは、再生を終了する)	3
再生を途中で止める	#



お知らせ

- 応答メッセージが聞こえている間に **#** ボタンを押すときは、応答メッセージが確実に止まるように、少し長めに(目安として約2～3秒)押しください(電話機によってはできない場合があります)。
- 「番号を押してください。」という音声のあとに、約8秒間何も押さないと、「ピーピーピーピー」という音が聞こえ自動的に電話が切れます。
- アキュムレート録音にしている場合、外出先からのリモコン操作では前の用件から再生することはできません。

1 DCP-4000に電話をかけます。

電話がつながると留守番電話の応答メッセージが聞こえます。

2 応答メッセージが聞こえている間に、**#** ボタンを長めに押します。

応答メッセージが止まります。

用件の録音に入ってから **#** ボタンを押すと、用件の1件として数えられます。

3 暗証番号(4桁の数字)をダイヤルボタンで押します。

暗証番号を押し間違えたときは、**#** ボタンを2回押して、もう一度暗証番号を押してください。
暗証番号を入れるときに、用件の1件となることがあります。

4 **#** ボタンを押します。

「用件...件再生します。...」という音声聞こえ、用件が再生されます。

音声聞こえないときは、暗証番号が間違っています。もう一度手順2からやり直してください。暗証番号を3回間違えると、自動的に電話は切れます。

5 用件を聞きます。

用件の再生が終わると「ピーピーピーピー」という音に続き「番号を押してください。」という音声聞こえます。

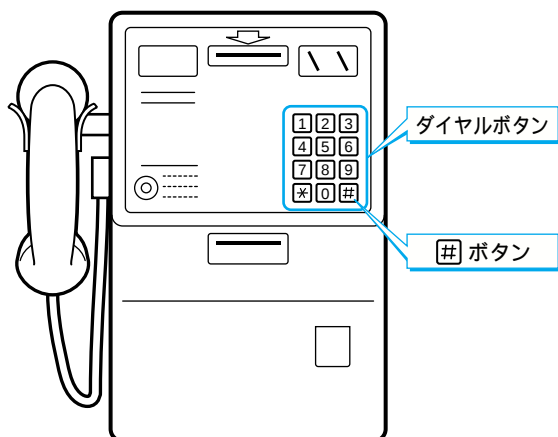
続けてリモコン操作を行うことができます。(●P66)

6 リモコン操作が終わったら電話を切ります。

用件をすべて聞いても留守はセットされたままです。

外出先から留守をセットするには

留守セットを忘れたときは、外出先の公衆電話などから、DCP-4000に電話をかけて留守をセットすることができます。



1 DCP-4000に電話をかけます。

「トゥルルル」という着信音が約30回聞こえたあと、「ただいま留守にしています。おそれいりますが、のちほどおかけ直してください。」という応答専用メッセージが聞こえます。



2 応答メッセージが聞こえている間に、# ボタンを長めに押します。

応答メッセージが止まります。

3 暗証番号（4桁の数字）をダイヤルボタンで押します。

暗証番号を押し間違えたときは、# ボタンを2回押して、もう一度暗証番号を押してください。

4 # ボタンを押します。

留守番電話の応答メッセージが聞こえ、留守がセットされます。

応答メッセージが聞こえないときは、暗証番号が間違っています。もう一度手順2からやり直してください。

5 「番号を押してください。」という音声がかえ、続けて伝言録音などのリモコン操作を行うことができます。（●P66）

6 電話を切ります。



ワンポイント

- 外出先から留守をセットできないようにするには着信音が30回以上鳴っても応答メッセージが流れないように設定することもできます。（●P84）



お知らせ

- 暗証番号を押さないで電話を切ったときは、留守はセットされません。
- 暗証番号が登録されていないと、着信音が30回以上鳴っても応答メッセージは流れません。外出先から留守をセットするためには、必ず暗証番号を登録してください。

1 お使いになる前に

2 電話を受ける

3 内線電話として使う

4 留守番電話を使う

5 リモコン操作する

6 用件を転送する

7 PHSSサービスを利用する

8 より便利に使う

9 ご参考に

リモコン操作でできること

「番号を押してください。」という音声聞こえたあと、ダイヤルボタンを押すと次のリモコン操作が行えます。

1

(用件再生中に押す)
用件戻し

再生中の用件を聞き直します。2回続けて押すと、1つ前の用件が再生されます。

2

用件再生

用件が先頭から再生されます。

(用件再生中に押す)

再生速度変更

押すたびに再生の速さが切り替わります。(普通→遅聞き→早聞き→普通)

3

(用件再生中に押す)
用件送り

再生中の用件をとばして次の用件を聞きます。(最後の用件ときは、再生を終了します)

4 #

応答メッセージ録音
応答メッセージを録音します。

5

伝言録音

伝言を録音します。
(用件の1件として数えられます)

8

用件再セット

録音されている用件をすべて消去して、再セットします。



ワンポイント

- 音声ガイダンスを聞きながらリモコン操作するには(対話式リモコン操作)
「番号を押してください。」という音声聞こえたあと、約4秒間ボタンを押さないと、リモコン操作を案内する音声の流れます。
音声ガイダンス
「用件再生は2です。応答メッセージ吹き替えは4シャープです。伝言録音は5です。用件再セットは8です。番号を押してください。」
音声ガイダンスの案内に従ってリモコン操作ができます。

#

停止

(用件再生中に押す)
再生を途中で止めます。
(伝言録音中に押す)
伝言録音を止めます。
(応答メッセージ録音中に押す)
応答メッセージ録音を止めます。

応答メッセージを録音する

「番号を押してください。」という音声聞こえたあと、**[4]** **[#]** を押します。

「ピー。応答メッセージ録音どうぞ。ピー」という音声聞こえます。

応答メッセージを録音します。
録音できる時間は約20秒です。

応答メッセージを録音し終わったら、**[#]** ボタンを押します。

「ピー」という音に続いて録音した応答メッセージが再生されます。再生が終了すると「ピー」という音が聞こえ、応答メッセージが録音したものに切り替わります。

「ピーピーピーピー。番号を押してください。」という音声聞こえます。

伝言を録音する

「番号を押してください。」という音声聞こえたあと、**[5]** を押します。

「ピー。伝言、録音どうぞ。ピー」という音声聞こえます。

伝言を録音します。
録音できる時間は、約4分です。

伝言を録音し終わったら、**[#]** ボタンを押します。
「...時...分...曜日です。ピー」という音声聞こえます。

「ピーピーピーピー。番号を押してください。」という音声聞こえます。

留守を再セットする

「番号を押してください。」という音声聞こえたあと、**[8]** を押します。

「ピー。用件再セットします。」という音声聞こえます。

「ピーピーピーピー。番号を押してください。」という音声聞こえます。

用件再セットをしたあと、電話を切る前に**[2]** を押して用件再生を行うと用件再セットは取り消され、用件を聞くことができます。



お知らせ

- 録音残量がないときは、伝言は録音できません。「伝言録音は5です。」という音声ガイダンスも流れません。
- 用件を再生していないときは、留守再セットはできません。「用件再セットは8です。」という音声ガイダンスも流れません。

1
お使用に
なる前に

2
電話を
受ける
かける／

3
内線電話
として使う

4
留守番電話
を使う

5
リモコン
操作する

6
用件を
転送する

7
PHSサービス
を利用する

8
より便利に
使う

9
ご参考に

用件を外出先へ転送するには (転送)

転送とは、留守番電話に用件が録音されたことを自動的に外出先へ電話をかけて知らせる機能です。ポケットベルや携帯電話に知らせることもできます。転送を行うときには、あらかじめ暗証番号と、主電話機の短縮ダイヤルの0番に転送先の電話番号を登録しておく必要があります。

転送とは

転送の準備 (主電話機)

暗証番号を登録します。(☎P63)

短縮ダイヤルの0番に転送先の電話番号を登録します。(☎P69)

転送をセットします。(☎P70)

留守をセットします。(☎P54、55)

外出します。

外出中

用件が録音されると転送先へ自動的に電話をかけます。

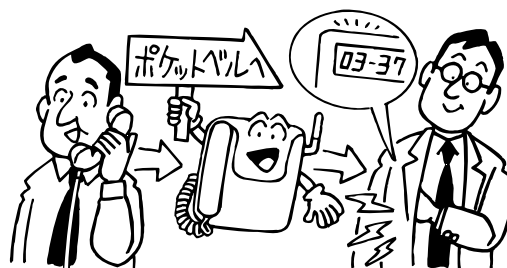
転送先で電話を受けます。(☎P71)

暗証番号を使って用件を聞きます。(☎P71)

転送の利用例

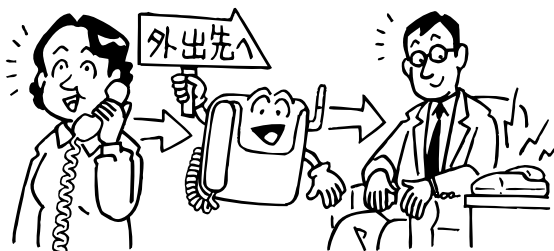
ディスプレイポケットベルに転送

留守中に用件が録音されると、ディスプレイポケットベルを呼び出します。



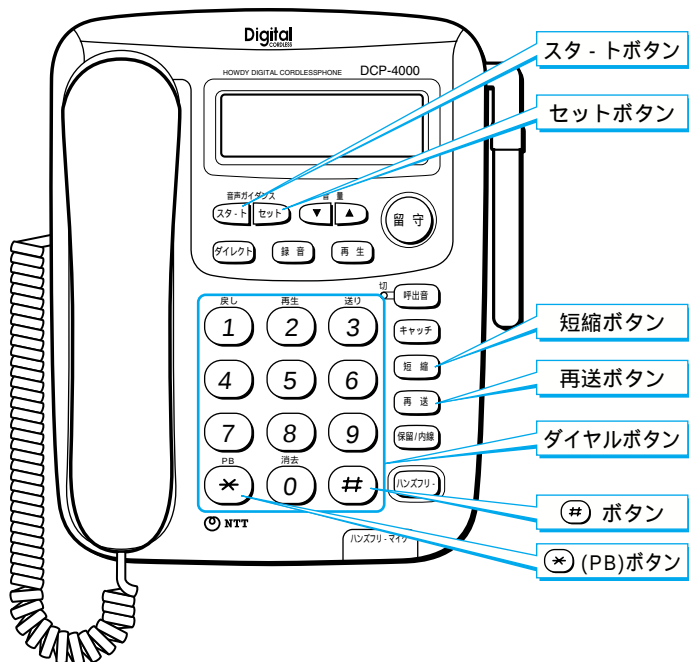
外出先の電話機に転送

用件が録音されると、自動的に転送先へ電話をかけます。また、転送先で用件を聞くことができます。



転送先の電話番号を登録するには

転送をセットする前に、あらかじめ転送先の電話番号を主電話機の短縮ダイヤルの0番に登録しておきます。短縮ダイヤルの0番には40桁の番号を登録することができます。



ワンポイント

- ディスプレイポケットベルを転送先として登録するには
例 NTTDoCoMoディスプレイポケットベルを呼び出して、自宅の電話番号を表示させる
手順4の操作でディスプレイポケットベルの電話番号をダイヤルボタンで押す
再送ボタンを数回押す
(*) (PB) ボタンを押す (プッシュ回線をご利用のときは押す必要はありません)
自宅の電話番号をダイヤルボタンで押す
(#) ボタンを2回押す

再送ボタンは、ディスプレイポケットベル局のメッセージが流れている間の待ち時間を入れるために押します。ポケットベル局のメッセージの長さに合わせて、(再送) ボタンを押す回数を決めてください。

(再送) ボタンを1回...ポーズ(待ち時間)約3.8秒(1桁) また、メッセージが流れている間に(*) ボタンを押すと、メッセージを止めることができます。

ディスプレイに表示させる電話番号などのメッセージについては、ポケットベルの取扱説明書をご覧ください。

- ディスプレイポケットベルに電話番号が表示されるか確認するには
短縮ダイヤルの0番で電話をかけてみてください。その際、通話料金がかかります。

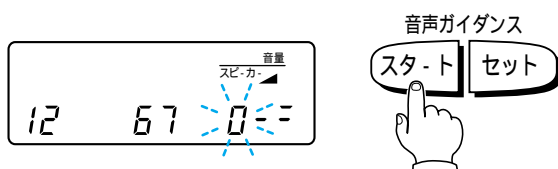


お知らせ

転送先の電話番号を間違えて登録すると、用件が録音されるたび、誤った相手に繰り返し電話がかかりますので、ご注意ください。

1 ハンドセットを置いたまま、スタートボタンを押します。

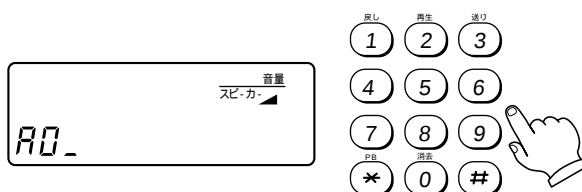
音声ガイダンスが聞こえます。(●P84)



2 (短縮) ボタンを押します。



3 0 (短縮番号) を押します。



4 転送先の電話番号をダイヤルボタンで押します。



ディスプレイに表示される電話番号は12桁までです。13桁目以降からは右から左へ順次表示されます。

※、# も1桁として数えます。

5 (セット) ボタンを押します。

設定した電話番号を確認する音声が入ります。



1 お使いになる前に

2 電話をかける／受ける

3 内線電話として使う

4 留守番電話を使う

5 リモコン操作する

6 用件を転送する

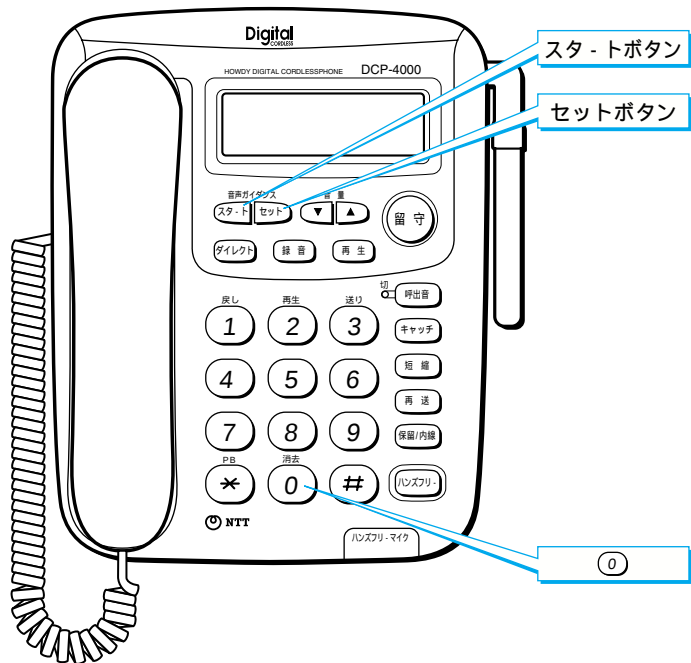
7 PHSSサービスを利用する

8 より便利に使う

9 ご参考に

転送をセットするには

転送をセットすると、用件が録音されたあと、転送先に自動的に電話をかけます。また、転送先で用件を聞くこともできます。



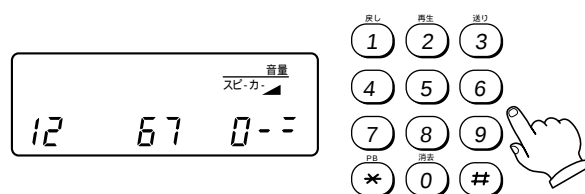
1 ハンドセットを置いたまま、ボタンを押します。

音声ガイダンスが聞こえます。(P84)



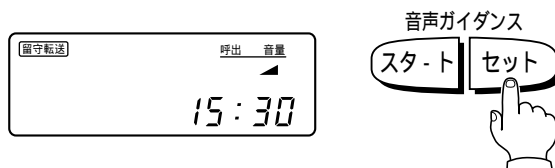
2 0を押します。

ディスプレイの0が点滅から点灯に変わります。



3 セット ボタンを押します。

転送がセットされます。



「転送先電話番号を短縮0に登録してください。」という音声聞こえるときは、転送先の電話番号が登録されていません。

「リモコン暗証番号を登録してください。」という音声聞こえるときは、暗証番号が登録されていません。これらの場合には転送されません。



ワンポイント

- 転送を解除するには
転送をセットするときと同じ操作を行います。手順2でディスプレイの0の点灯を点滅に変えます。

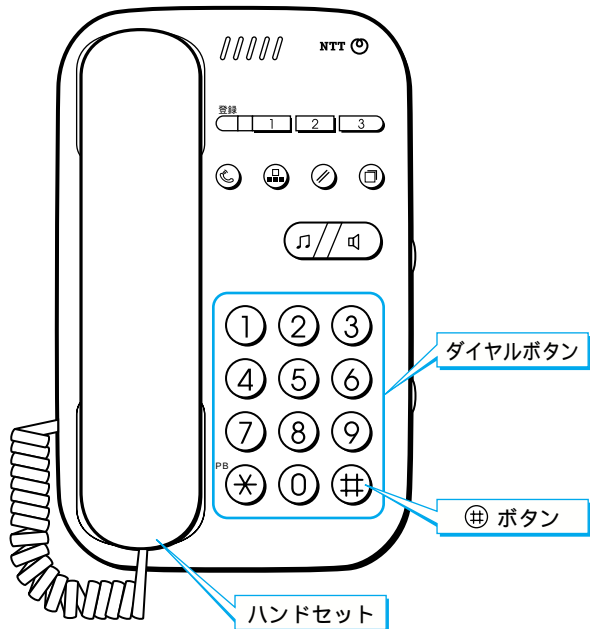


お知らせ

- 転送をセットして外出するときは、必ず留守をセットしてください。
- 用件の録音時間が応答専用設定されているときは、転送されません。
- 操作中に外から電話がかかってきたときは、設定は無効になります。電話を切ったあと、最初からやり直してください。
- 操作の途中で約30秒間ボタンを押さないと、設定は無効になります。もう一度最初からやり直してください。

転送先で用件を受けるには

転送により転送先に電話がかかってくると、暗証番号を使って録音されている用件を聞くことができます。



ワンポイント

- 用件を受けることができる電話機
必ずプッシュ信号を送ることができる電話機またはプッシュホンをご利用ください。ダイヤル回線に接続されている電話機でも、プッシュ信号を送る機能があれば用件を聞くことができます。



お知らせ

- 転送先がお話し中のときは、約1分後に自動的にかけ直します（3回までかけ直します）。
- 転送できなかったときは、次の用件が録音されるまで転送されません。
- 転送先に電話をかけ始めてから約1分たっても転送先が電話に出ないときや、出ても暗証番号を押さないときは、自動的に電話は切れます（この場合かけ直しはありません）。
- 次の場合は、転送されません。
 - 相手の方が応答メッセージの途中で電話を切ったとき
 - 相手の方が約10秒間何も話さなかったとき
 - 伝言を録音したとき
- 用件の録音中に録音残量がなくなったときは、途中まで録音された用件を聞くことができます。

1 転送先に電話がかかります。

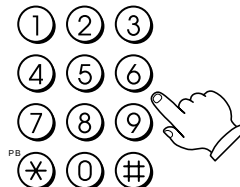


2 ハンドセットを取りあげます。

「この電話は留守転送です。リモコン暗証番号をどうぞ。」という音声がかかります。

3 ㊦ ボタンを長めに押します。

音声が始まります。



4 暗証番号（4桁の数字）をダイヤルボタンで押します。

暗証番号を押し間違えたときは、㊦ ボタンを2回押して、もう一度暗証番号を押してください。

5 ㊦ ボタンを押します。

「用件...件再生します。...」という音声がかえ、用件が再生されます。
音声が聞こえないときは、暗証番号が間違っています。もう一度手順3からやり直してください。暗証番号を3回間違えると、自動的に電話は切れます。

6 用件を聞きます。

用件がすべて再生されると「ピーピーピーピー」という音が聞こえます。
続けてリモコン操作を行うことができます。（▶P66）

7 リモコン操作が終わったら、電話を切ります。

1 お使いになる前に

2 電話をかける／受ける

3 内線電話として使う

4 留守番電話を使う

5 リモコン操作する

6 用件を転送する

7 PHSSサービスを利用する

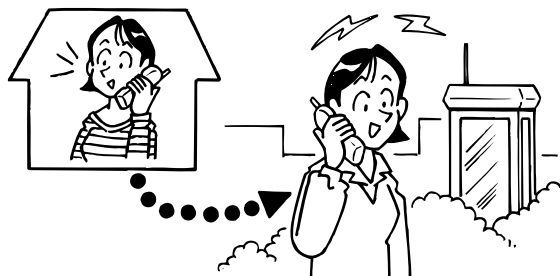
8 より便利に使う

9 ご参考に

PHS（簡易型携帯電話）サービスとは

モードを公衆モードに切り替えると、PHS（簡易型携帯電話）サービスをご利用になれます。
PHSサービスをご利用になるには、別途PHS事業者との契約が必要です。

PHSサービスの利用



PHSサービスに加入すると、コードレス電話機を屋外に持ち出して、携帯電話のように電話をかけたり受けたりすることができます。PHSサービスに加入すると、基本料金とPHSサービス利用分の通話料金がかかります。

PHSサービスは、公衆基地局が設置されたサービスエリア内でのみご利用いただけます。詳しくは、PHS事業者へお問い合わせください。

PHSサービスを利用するモード

PHSサービスを利用するときは、モードを公衆モードに切り替えます。（☛P27）



- 公衆モードに切り替えたあと屋内でお使いになるときは、屋内モードに切り替えてください。



お知らせ

自動車電話・携帯電話とは違いますので、自動車などで高速移動中には使えません。

PHSサービス利用中は...

以下の機能は、屋内モードのときと同じように利用できます。

- 相手の方に待っていただく（☛P39）
（保留メロディは流れません。相手の方には「ピッピッ...ピッピッ...」という音が流れ、こちらの声は聞こえなくなります。）
- 再ダイヤルで電話をかける（☛P35）
- 短縮ダイヤルで電話をかける（☛P42）
（PHSサービスで短縮ダイヤルを利用するときは、必ず市外局番から登録してください。）

PHSサービス利用中に利用できる機能

お客様ご自身のPHSサービスの電話番号を相手の方のPHS電話機などに通知する（電話番号通知）（☛P88）

自分の電話番号を、かけた相手の方のPHS電話機などのディスプレイに表示させる機能があります。



ワンポイント

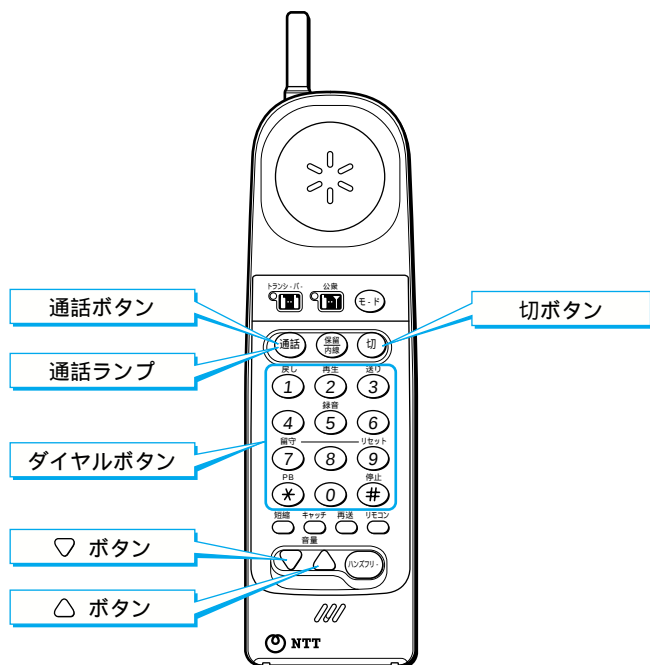
- コードレス電話機のモードとは
コードレス電話機は、使い方によって切り替える3つのモードがあります。（☛P27）
- 電話番号を通知するには
お買い上げ時は、電話番号通知が解除されています。通知するように設定することができます。（☛P88）

PHSサービスを利用して警察（110） 消防（119）にかけるときには

- 立ち止まっておかけください。
警察（110） 消防（119）へかけるときは、通話中にお話しが途切れることがないように、立ち止まってご利用ください。
- 通話終了後に圏外に移動しないでください。
警察（110） 消防（119）からの呼び出しができなくなります。
- PHSからの通話であることをお伝えください。
警察（110） 消防（119）での対応がスムーズに行えるよう、PHSからの通話であることをお伝えください。
詳細は各PHS事業者にお問い合わせください。

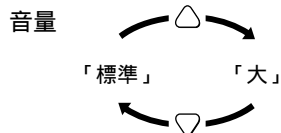


コードレス電話機のモードを確認してください。PHSサービスをご利用のときは、屋内モードをご利用のときとは料金形態が違います。PHSサービスを利用して電話をかけると、PHSサービスご契約者へ通話料金などががかかります。公衆モードでは、PHSサービスエリア内であれば、PHSサービスでご契約の電話番号にかかってきた電話だけを受けることができます。



ワンポイント

- お話しを保留にするとときは (●P39)
相手の方に待っていただくときに、保留にすることができます。保留メロディは流れません。相手の方には「ピッピッ...ピッピッ...」という音が流れ、こちらの声は聞こえなくなります。
- 相手の方の声が聞き取りにくいときは (受話音量)
お話し中に、△ ボタンを押すと音量が「大」になります。▽ ボタンを押すと、「標準」に戻ります。受話音量の設定は、電話を切っても変わりません。



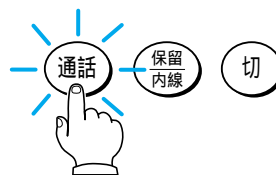
お知らせ

- PHSサービスをご利用のときは、ハンズフリー通話はできません。
- 電池残量がなくなると「ピー」という音が約4秒間鳴ります。約1分後に電話が切れますので、電話を切り充電してください。
- かける相手の方が市内であっても、電話番号は市外局番から押してください。

電話をかける (発信)

1 通話 ボタンを押します。

「ツー」という発信音を確認してください。



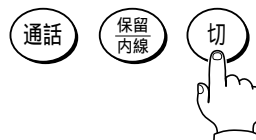
2 電話番号を市外局番からダイヤルボタンで押します。



3 相手の方が出たら、お話しください。



4 お話しが終わったら、切 ボタンを押します。



1
お使いに
前に

2
電話を
かける /
受ける

3
内線電話
として使う

4
留守番電話
を使う

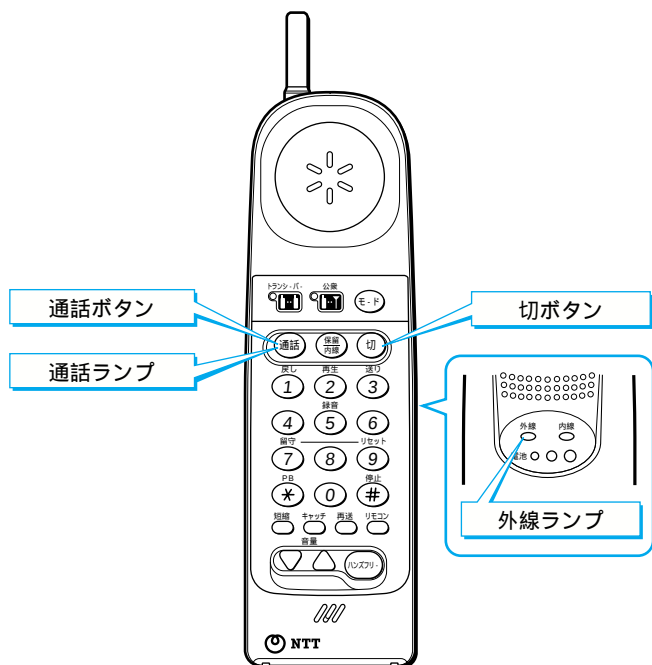
5
リモコン
操作する

6
用件を転送
する

7
PHSサービス
を利用する

8
より便利に
使う

9
ご参考に

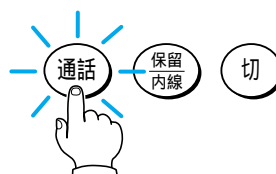


電話を受ける (着信)

1 着信音が鳴り、外線ランプと通話ランプが点滅します。



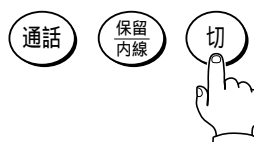
2 通話 ボタンを押します。



3 相手の方とお話してください。



4 お話が終わったら、切 ボタンを押します。



ワンポイント

- 着信音を変えるには
コードレス電話機の着信音量は「標準」「小」「切」の3段階で切り替えることができます。(●P77)

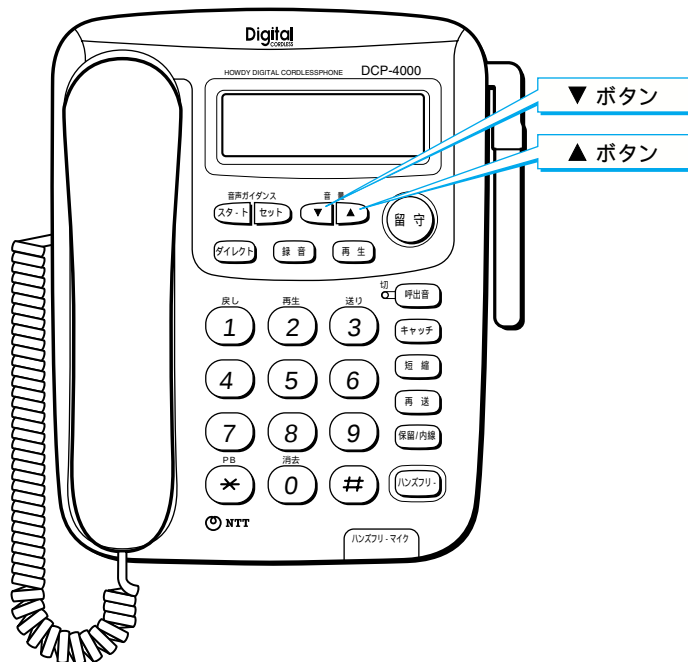


お知らせ

- コードレス電話機のモードが異なっていたり、電源を切っていると、電話がかかってきても受けられません。
- PHSサービス利用中の着信音は、メロディに設定されていても着信音(プルルル音)で鳴ります。

着信音を変えるには

着信音の音量を部屋の大きさなど、まわりの状況に合わせて変えることができます。主電話機は「大」「中」「小」の3段階で、コードレス電話機は「標準」「小」「切」の3段階で切り替えることができます。また、主電話機は「切」に設定することができるほか音色を3種類の中から選ぶことができます。



主電話機の着信音量を変える

1 ハンドセットを置いたまま、**▲** ボタンまたは**▼** ボタンを押します。

現在の着信音量で着信音が鳴ります。

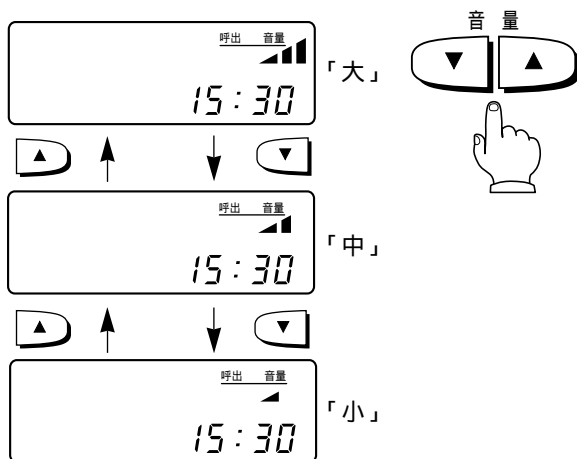


2 約4秒以内に**▲** ボタンまたは**▼** ボタンを押します。

着信音量が変わります。

▲ ...大きく

▼ ...小さく



1
お使用に
前に

2
電話をかける
受ける

3
内線電話
として使う

4
留守番電話
を使う

5
リモコン
操作する

6
用件を転送
する

7
PHSサービス
を利用する

8
より便利に
使う

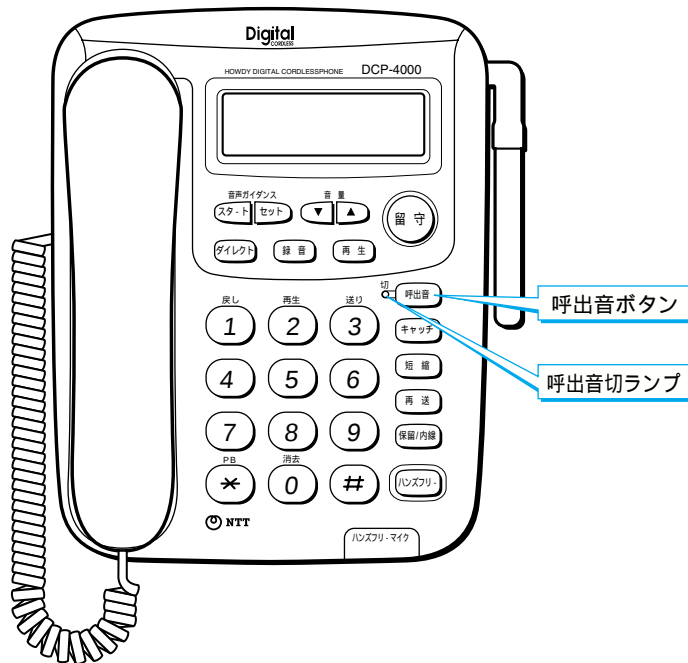
9
ご参考に



ワンポイント

- 電話がかかってきたとき着信音量を変えるには着信音が鳴っている間に**▲** ボタンまたは**▼** ボタンを押すと、着信音量が変わります。

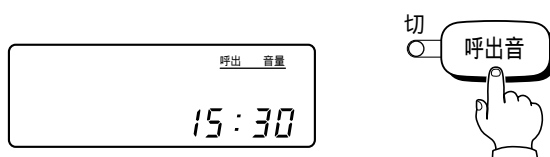
着信音を変えるには



主電話機の着信音の音色を変える

1 ハンドセットを置いたまま、呼出音 ボタンを押します。

現在の音色で着信音が鳴ります。「切」に設定しているときは、「呼出音切りです。」という音声がかかります。



2 約4秒以内に 呼出音 ボタンを押します。

音色が変わります。



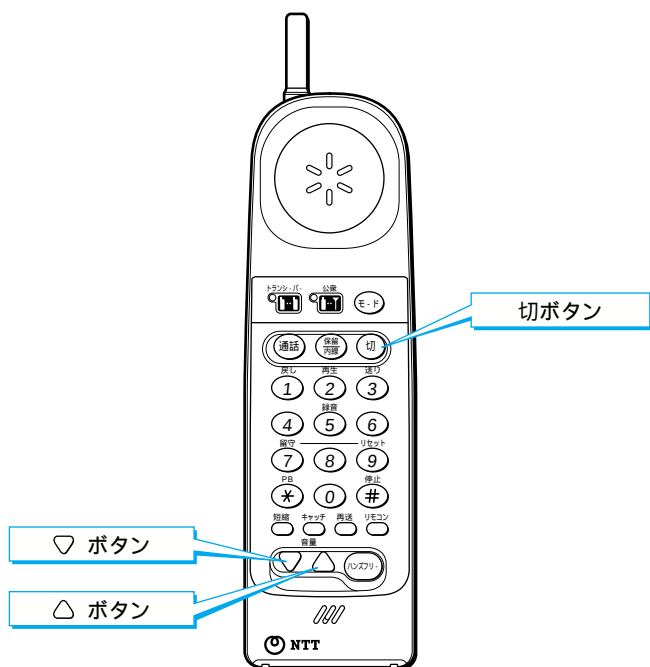
「着信音」→「切」→「メロディ1」→「メロディ2」→「着信音」→...の順で変わります。

「切」に設定すると、呼出音切ランプが点灯します。



お知らせ

- 主電話機では着信音を「切」にしても、内線、ドアホンの呼出音、ダイレクトコールでの着信音は鳴ります。
- 「切」にしたときは、電話がかかってきたことをディスプレイの表示で確認してください。
- 着信音が鳴っている間に音色を変えることはできません。



ワンポイント

- 電話がかかってきたとき着信音量を変えるには着信音が鳴っている間に △ ボタンまたは ▽ ボタンを押すと、着信音量が変わります。
- コードレス電話機の着信音の音色を変えるにはコードレス電話機の登録、設定操作で音色を変えることができます。(P88)



お知らせ

- 「切」にしたときは、電話がかかってきたことをコードレス電話機の外線ランプの点滅で確認してください。
- コードレス電話機では着信音を「切」にしても、ダイレクトコールでの着信音、内線、ドアホン、トランシーバの呼出音は「小」で鳴ります。

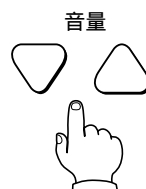
コードレス電話機の着信音量を変える

1 充電器から取りあげて、(切) ボタンを押します。

充電器から外しているときは、通話ランプが点灯していないことを確認します。

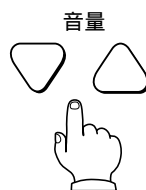
2 △ ボタンまたは ▽ ボタンを押します。

現在の着信音量で着信音が鳴ります。「切」に設定されているときは、「ピッピッ」という音が鳴ります。



3 約5秒以内に△ ボタンまたは▽ ボタンを押します。

着信音量が変わります。



「切」にするときは、「小」の状態でも ▽ ボタンを2秒以上押してください。「ピッピッ」という音が鳴ると「切」に設定されます。

1
お使用に
なる前に

2
電話を
受ける

3
内線電話
として使う

4
留守番電話
を使う

5
リモコン
操作する

6
用件を転送
する

7
PHSサービス
を利用する

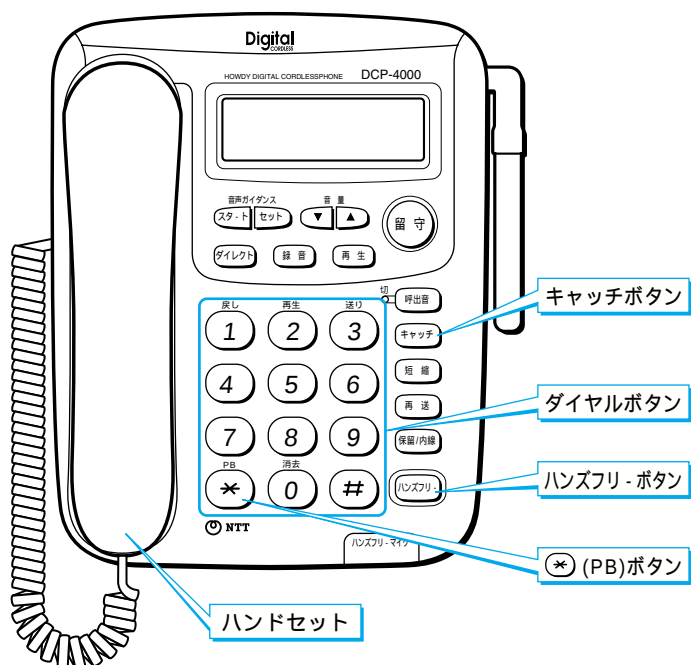
8
より便利に
使う

9
ご参考に

各種サービスを利用するには

キャッチボタンはNTTの通話中着信サービス「キャッチホン」を利用するときなどに使います。「キャッチホン」を利用するためには、NTTとの契約が必要です。ご希望の方は、NTT窓口等へお申し込みください。なお、キャッチボタンはトリオホンサービスや電話のかけ直しの場合などにもご利用になれます。

ダイヤル回線をご利用の場合でも、電話で利用できるプッシュホンサービスをご利用になれます。



ワンポイント

- キャッチホンサービスをご利用になる前に
キャッチホンサービスをNTTに申し込まれたときは、主電話機の登録、設定操作でキャッチホン対応を設定してください。(P86)
- コードレス電話機でキャッチホンサービスを利用するには
主電話機と同様に、お話しの途中でキャッチボタンを押します。
- プッシュホンサービスの種類
 - クレジット通話サービス
 - ポケットベルサービス
 - 銀行ANSERサービス
 - ホームテレホンによるテレコントロール
 - 留守番電話へのリモコン操作 など
- コードレス電話機でプッシュホンサービスを利用するには
屋内モード
ダイヤル回線をご使用の場合は、主電話機と同様に、**(*)** (PB) ボタンを押します。プッシュ回線をご使用の場合は、そのままプッシュホンサービスがご利用になれます。
公衆モード
公衆モードでは、そのままプッシュホンサービスがご利用になれます。

キャッチホンサービスを利用する

1 「キャッチホン」の信号が聞こえたら、相手の方に待っていただくように伝え、**(キャッチ)** ボタンを押します。

2 2番目にかけてきた相手の方とお話してください。

もう一度 **(キャッチ)** ボタンを押すと、前の方とお話することができます。

プッシュホンサービスを利用する (DP→PB切替)

1 ハンドセットを取りあげます。

または、**(ハンズフリー)** ボタンを押します。

2 電話をかけます。

3 ダイヤル回線をご利用の場合は、電話がつながったら、**(*)** (PB) ボタンを押します。

プッシュ回線をご利用のときは、**(*)** (PB) ボタンを押す必要はありません。

4 必要なダイヤルボタンを押します。

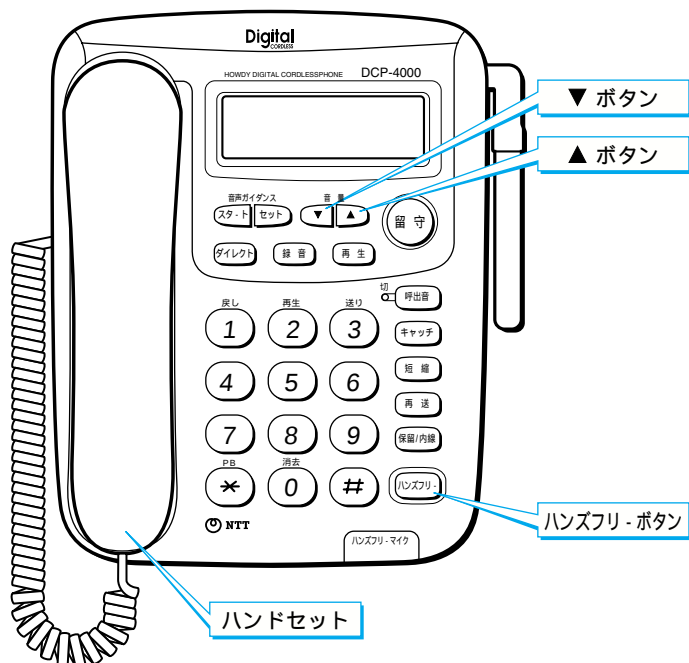


お知らせ

- キャッチホンサービスおよびトリオホンサービスをご利用になるとき以外で、お話中にキャッチボタンを押すと、電話が切れてしまいますのでご注意ください。
- 銀行ANSERサービスなどの一部のシステムでは、サービスを利用できない場合があります。
- ダイヤル回線をご使用の場合、電話を切るとダイヤル信号に戻ります。
- **#8300** 番、**#8501** 番など1桁目が ***** や **#** の番号を利用するときは、プッシュ回線の契約が必要です。



かかってきた電話に対して、自分では電話に出ずに留守番電話の応答メッセージを流し、相手の方を確認してからお話しすることができます。いたずら電話の対策などに便利です。居留守応答を利用するときには、あらかじめ留守をセットしておいてください。



1 電話がかかってくると、留守番電話が応答します。

主電話機のスピーカから応答メッセージが聞こえ、「ピー」という音のあとに相手の方の声が録音されます。



相手の方の声もスピーカから聞こえます。

2 相手の方の声を確認して、ハンズセットを取りあげます。

電話に出ると、用件の録音は自動的に止まります。



電話に出ないときは、そのままにします。
ハンズフリー通話でお話しするときは、**ハンズフリー** ボタンを押します。

3 相手の方とお話しします。



4 お話しが終わったら、ハンズセットを置きます。



ハンズフリー通話のときは、**ハンズフリー** ボタンを押します。
電話を切ったあとも、留守はセットされています。



ワンポイント

- 居留守応答中の音量を調節するには（スピーカ音量）
▲ ボタンと **▼** ボタンでスピーカの音量を調節することができます。（☛P31）
- コードレス電話機で電話に出るには
コードレス電話機では、留守番電話の応答メッセージが流れたとき「ピー」という確認音が鳴ります。
主電話機のスピーカから聞こえる相手の方の声を確認したあと、コードレス電話機でも電話に出ることができます。電話の受け方は、留守をセットしていないときと同じです。（☛P37）



お知らせ

居留守応答で電話に出るまでに録音された内容は、用件の1件として数えられます。

1 お使いになる前に

2 電話をかける／受ける

3 内線電話として使う

4 留守番電話を使う

5 リモコン操作する

6 用件を転送する

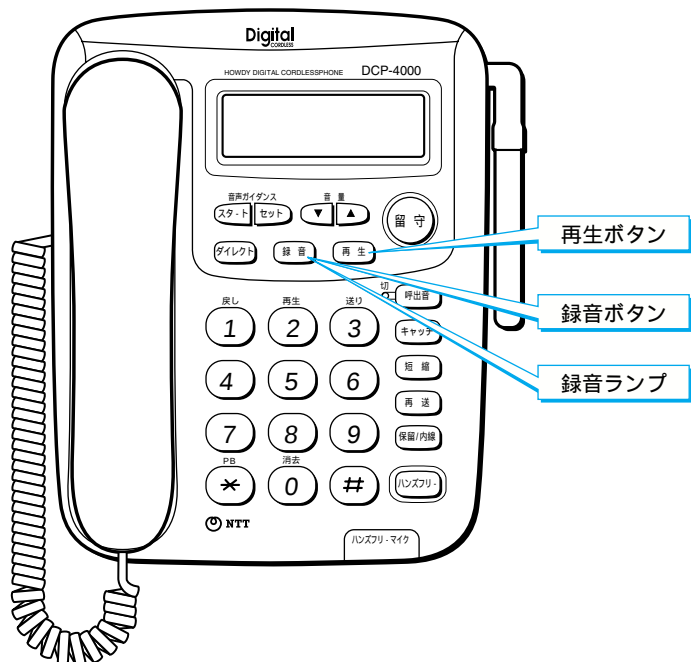
7 PHSサービスを利用する

8 より便利に使う

9 ご参考に



外の方とのお話し中の会話を録音することができます。約束の場所や時間などをあとで確認するためのメモなどに利用できます。通話録音では1件の録音時間制限はなく、録音残量がなくなるまで録音することができます。録音した内容は留守番電話の用件の1つとなり、他の用件と同じように再生することができます。



主電話機で通話録音する

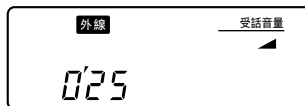
1 お話し中に、**録音** ボタンを押します。

録音が始まります（開始音は鳴りません）。



2 録音を止めるときは、もう一度 **録音** ボタンを押します。

タイムスタンプがお話しに重なって聞こえます。



録音残量がなくなると録音は自動的に終了します。



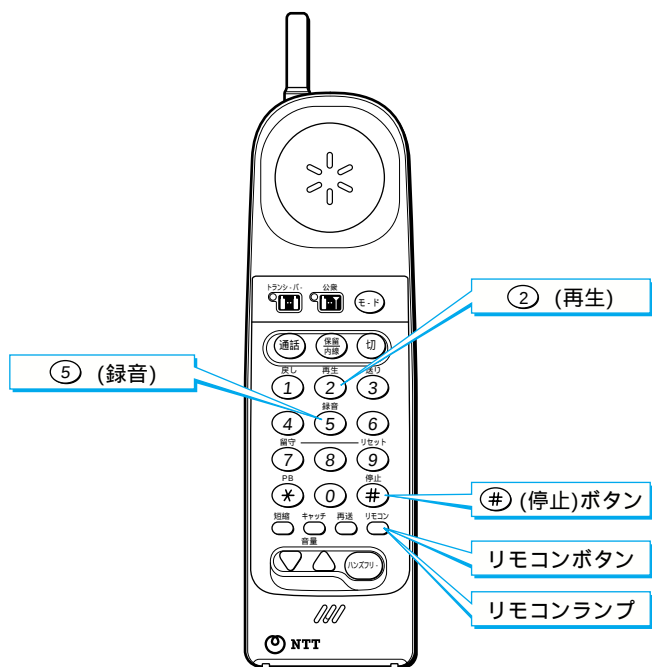
ワンポイント

- 通話録音の内容を再生するには
留守番電話の用件の1つとして再生されます。（☛P56）
また、用件は通話中も再生することができます。通話中に再生するときは、**再生** ボタンを押します。



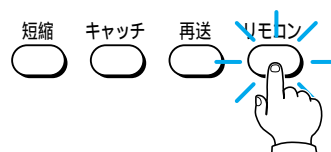
お知らせ

- ハンズフリー通話中は通話録音できません。**録音** ボタンを押しても録音されません。
- 内線通話、ドアホン通話は録音できません。
- 録音中に保留にしたり電話を切ると、録音は終了します。



コードレス電話機で通話録音する

1 お話し中に、リモコンボタンを押します。



2 ⑤ (録音) を押します。

「ピー」という開始音がお話しに重なって聞こえ、録音が始まります。



3 録音を止めるときは、③ (停止) ボタンを押します。

タイムスタンプがお話しに重なって聞こえます。



録音残量がなくなると録音は自動的に終了します。



ワンポイント

- 通話録音の内容を再生するには留守番電話の用件の1つとして再生されます。(P57) また、用件は通話中も再生することができます。通話中に再生するときは、② (再生) を押します。



お知らせ

- ハンズフリー通話中は通話録音できません。⑤ (録音) を押しても録音されません。
- 内線通話、ドアホン通話は録音できません。
- 録音中に保留にしたり電話を切ると、録音は終了します。

1 お使いになる前に

2 電話をかける／受ける

3 内線電話として使う

4 留守番電話を使う

5 リモコン操作する

6 用件を転送する

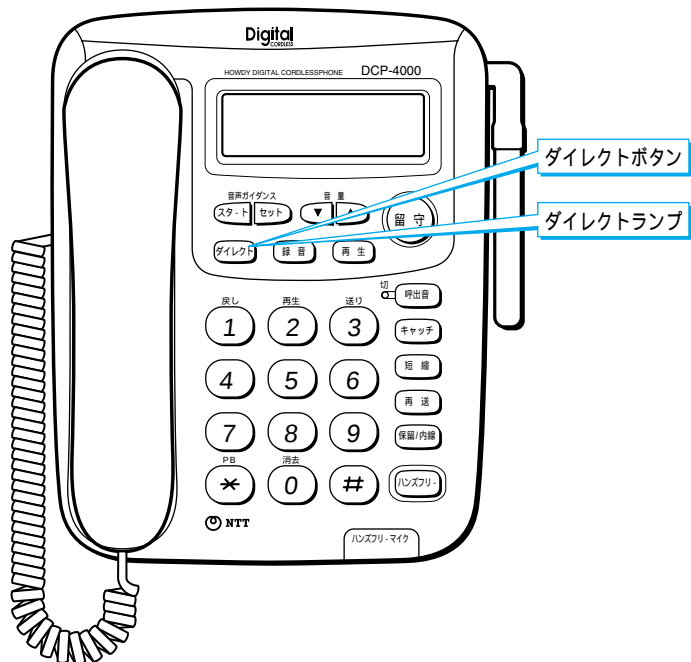
7 PHSサービスを利用する

8 より便利に使う

9 ご参考に

外からかける方が着信音の鳴る電話機を 指定するには (ダイレクトコール)

あらかじめダイレクトコールを設定しておく、外からDCP-4000に電話をかける方が着信音の鳴る主電話機またはコードレス電話機を指定することができます。ダイレクトコールで呼び出すときは、プッシュ信号の出せる電話機からDCP-4000に電話をかけてください。



主電話機での準備

1 留守にセットされていないことを確認してください。

2 ハンドセットを置いたまま、主電話機の「ダイレクト」ボタンを押します。

ダイレクトコールが設定されます。



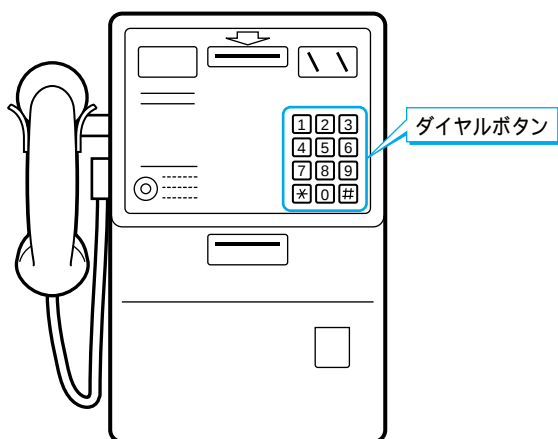
ワンポイント

- ダイレクトコールを解除するには主電話機の「ダイレクト」ボタンを、もう一度押します。ダイレクトランプが消えてダイレクトコールが解除されます。



お知らせ

- 留守がセットされているとき、「ダイレクト」ボタンを押してもダイレクトランプは点灯せず、ダイレクトコールを設定することはできません。
- ダイレクトコールを設定しているとき、留守をセットするとダイレクトコールは自動的に解除されます。
- ダイレクトコールの設定中でも、内線通話、ドアホン通話を行っている間はダイレクトコールは動作しません。



外から電話をかける操作

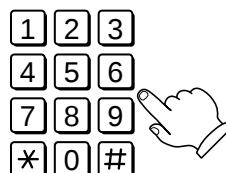
1 プッシュ回線の電話機またはプッシュ信号を出ることができる電話機から、DCP-4000に電話をかけます。

「呼び出しますので、番号を押してください。」という音声聞こえます。



2 呼び出す電話機の内線番号 (1 ~ 5) を押します。

「...を呼び出しますので、しばらくお待ちください。」という音声聞こえます。



内線番号

1...主電話機

2...コードレス電話機

3~5...増設したコードレス電話機

3 相手の方が出たら、お話しください。



約30秒間着信音が鳴っても応答がないときは、「あいにく近くにおりませんので、おそれ入りますがのちほどおかけ直してください。」という音声聞こえ自動的に電話は切れます。



お知らせ

- ダイレクトコールで指定された電話機以外の電話機で電話に出ることはできません。
- 「呼び出しますので、番号を押してください。」という音声のあと約10秒の間に内線番号を押さないと、すべての電話機で着信音が鳴ります。どの電話機でも受けられるようになります。
- 呼び出されたコードレス電話機が、主電話機から離れすぎているときや屋内モード以外のモードに設定されているときは、約10秒後「あいにく近くにおりませんので、...」という音声聞こえ、自動的に電話は切れます。
- ダイレクトコールで電話をかけたときは、「呼び出しますので...」という音声流れると同時に通話料金が掛かります。
- 外の方が内線番号を押したあとに電話を切っても、呼び出された電話機では着信音が鳴ります。また、「呼び出しますので、...」という音声聞こえたあと内線番号を押さずに電話を切ったときは、すべての電話機で着信音が鳴ります。

1
お使用に
なる前に

2
電話をかける
受ける

3
内線電話
として使う

4
留守番電話
を使う

5
リモコン
操作する

6
用件を転送
する

7
PHSサービス
を利用する

8
より便利に
使う

9
ご参考に

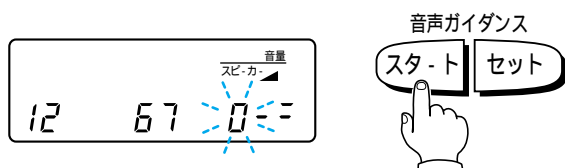
いろいろな機能を登録、設定するには

使い勝手に合わせて、DCP-4000のいろいろな機能を登録、設定します。主電話機では、操作を音声ガイダンスが案内しますので簡単に登録、設定ができます。

主電話機の登録、設定

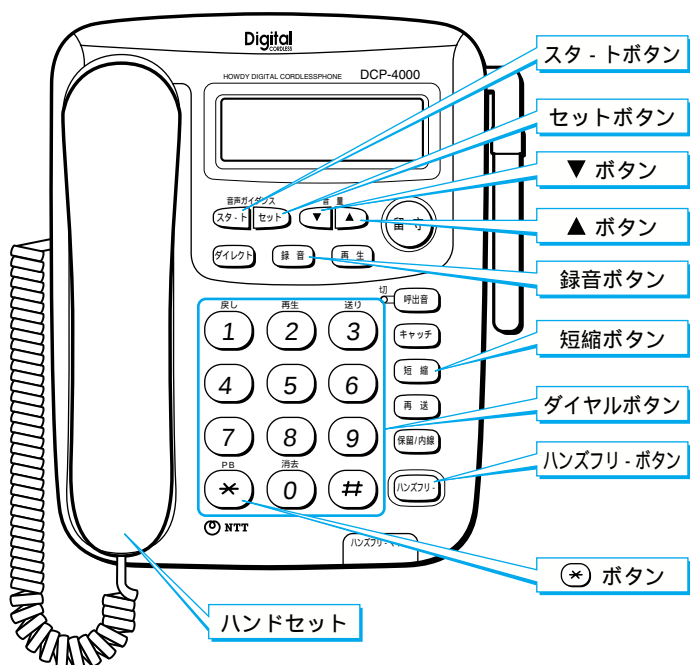
1 ハンドセットを置いたまま、**スタート** ボタンを押します。

「電話機の登録、設定操作を行います。短縮ダイヤルを登録するときは短縮、応答メッセージを録音するときは…」という音声ガイダンスが聞こえます。



2 設定番号をダイヤルボタンで押します。

設定番号は下の表をご覧ください（設定番号の主なものは音声ガイダンスが案内します）。



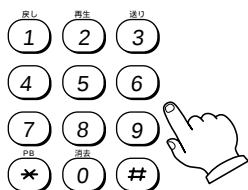
お知らせ

- 操作中に電話がかかってきたときは、設定は無効になります。電話を切ったあと、もう一度最初からやり直してください。
- 操作を間違えたときは**スタート** ボタンを押して操作を取り消し、もう一度最初からやり直してください。
- 操作の途中で約30秒間ボタンを押さないと、設定は無効になります。もう一度最初からやり直してください。

設定内容	設定番号
短縮ダイヤル (●P40)	短縮 R
応答メッセージ 録音(●P58)	録音 20
曜日・時刻 (●P29)	1 12:00
暗証番号 (●P63)	2 ----
着信音の回数 (●P54)	6 1234567890
用件録音時間 (●P54)	7 12345 0
転送セット (●P70)	0 <input "="" type="text" value="12 67 0-="/>
着信音30回で 留守セット (●P65)	(*) 1 1 34 8 0

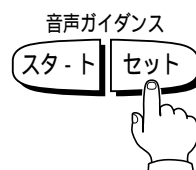
3 音声ガイダンスの案内に従って登録、設定操作を行います。

登録、設定操作は下の表をご覧ください。また、操作のたびに音声ガイダンスが案内します。



4 ボタンを押します。

設定した内容を確認する音声が入ります。



登録、設定操作

【登録】

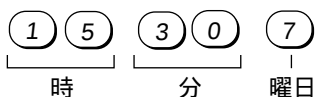
短縮番号 (0 ~ 9) → 電話番号 (20桁まで、短縮0は40桁まで)

【消去】

短縮番号 (0 ~ 9) →  ボタン

ハンドセットを取りあげ録音する

午後3時30分土曜日の例



(24時間制)

4桁の数字

0 ...エコノミー確認 (トールセイバ) (お買い上げ時)

1 ~ 9 ...着信音の回数

0 ...応答専用 (用件は録音しません)

1 ~ 5 ...録音時間 (分) (お買い上げ時 : 1分)

ディスプレイの0の点灯 (転送セット) / 点滅 (解除) を確認

「設定 (解除) します。」の音声ガイダンスを確認
(1) ...設定 (解除) 取り消し



ワンポイント

- 音声ガイダンスの音量を調節するには (スピーカ音量)
 ボタンと  ボタンでスピーカの音量を調節することができます。 (●P31)

1
お使用に
なる前に

2
電話をかける
受ける

3
内線電話
として使う

4
留守番電話
を使う

5
リモコン
操作する

6
用件を転送
する

7
PHSサービス
を利用する

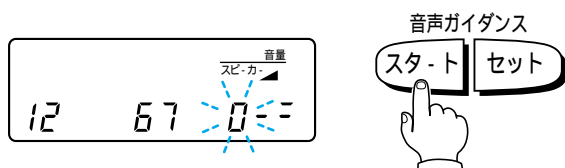
8
より便利に
使う

9
ご参考に

主電話機の登録、設定

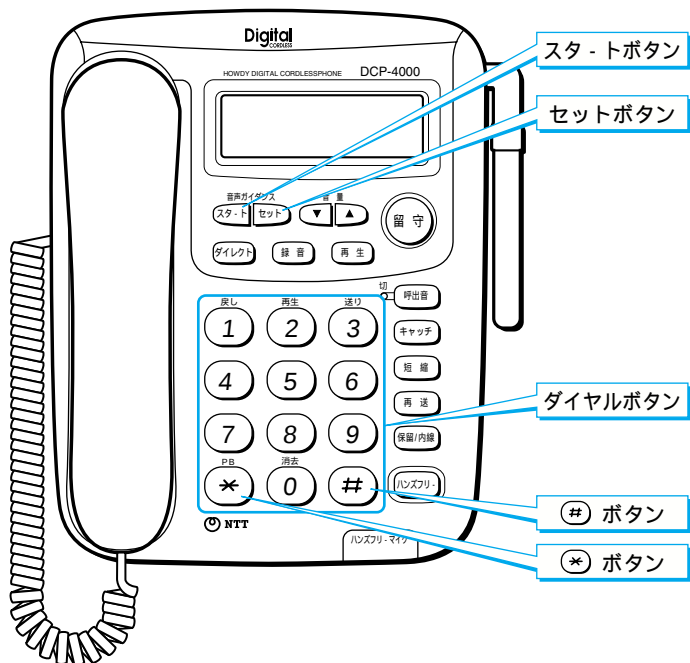
1 ハンドセットを置いたまま、**スタート** ボタンを押します。

「電話機の登録、設定操作を行います。短縮ダイヤルを登録するときは短縮、応答メッセージを録音するときは...」という音声ガイダンスが聞こえます。



2 設定番号をダイヤルボタンで押します。

設定番号は下の表をご覧ください（設定番号の主なものは音声ガイダンスが案内します）。



お知らせ

- ・ 操作中に電話がかかってきたときは、設定は無効になります。電話を切ったあと、もう一度最初からやり直してください。
- ・ 操作を間違えたときは **スタート** ボタンを押して操作を取り消し、もう一度最初からやり直してください。
- ・ 操作の途中で約30秒間ボタンを押さないと、設定は無効になります。もう一度最初からやり直してください。

設定内容	設定番号
応答メッセージ 消去(●P59)	* 3 1 34 8 0
内線呼び出し (●P45、49)	* 4 1 34 8 0
用件全消去 (●P56)	* 8 1 34 8 0
キャッチホン 対応(●P78)	* 0 1 34 8 0
外線発信規制	# 1 2
外線着信規制	# 2 2
ドアホン着信 規制	# 3 2
電話回線設定 (●P24)	# 4 1234

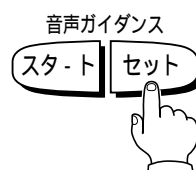
3 音声ガイダンスの案内に従って登録、設定操作を行います。

登録、設定操作は下の表をご覧ください。また、操作のたびに音声ガイダンスが案内します。



4 **セット** ボタンを押します。

設定した内容を確認する音声が入ります。



登録、設定操作

「消去します。」の音声ガイダンスを確認
(3) ...消去取り消し)

「設定（解除）します。」の音声ガイダンスを確認
(4) ...設定（解除）取り消し
設定：音声呼び出し 解除：呼出音呼び出し)

「消去します。」の音声ガイダンスを確認
(8) ...消去取り消し)

「設定（解除）します。」の音声ガイダンスを確認
(0) ...設定（解除）取り消し)

(2) ~ (5) (設定（解除）するコードレス電話機の内線番号)

(2) ~ (5) (設定（解除）するコードレス電話機の内線番号)

(2) ~ (5) (設定（解除）するコードレス電話機の内線番号)

(1) ...10PPS

(2) ...20PPS

(3) ...PB

(4) ...自動設定



ワンポイント

- 外線発信規制を設定すると
外線発信規制が設定されたコードレス電話機は、外へ電話をかけることができなくなります。
- 外線着信規制を設定すると
外線着信規制が設定されたコードレス電話機は、外から電話がかかってきても着信音が鳴らず電話に出ることができません。ただし、ダイレクトコールで呼び出されたときは着信音が鳴り、電話に出ることができます。
- ドアホン着信規制を設定すると
ドアホン着信規制が設定されたコードレス電話機は、ドアホンからの呼出音が鳴らず応答することができません。



お知らせ

外線着信規制、ドアホン着信規制の設定（解除）を行った場合、**セット** ボタンを押してから約15秒以内に発信・着信があると設定が無効になりますので、解除（設定）の操作を行ったあと、再度設定（解除）の操作をやり直してください。

1
お使用に
なる前に

2
電話を
受ける
／

3
内線電話
として使う

4
留守番電話
を使う

5
リモコン
操作する

6
用件を
転送
する

7
PHSサービス
を利用する

8
より便利に
使う

9
ご参考に

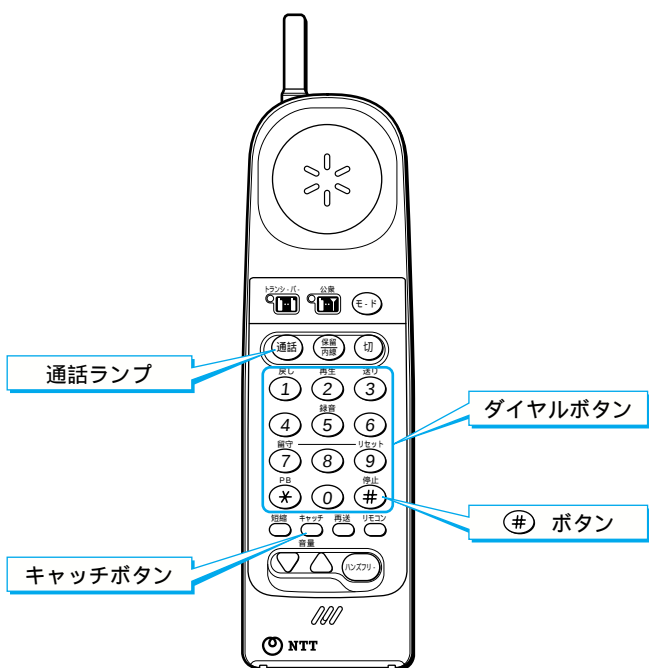
コードレス電話機の登録、設定

1 通話ランプが点灯していない状態で、キャッチボタンを押します。



2 設定番号をダイヤルボタンで押します。

設定番号は下の表をご覧ください。



設定内容	設定番号
着信音の音色	# 1
クイック通話 (P32)	# 2
電話番号通知 (P72)	# 3
トランシーバ通話の内線番号登録 (P92)	# 4
トランシーバ通話の内線番号消去 (P94)	# 5



お知らせ

- 操作中に電話がかかってきたときは、設定は無効になります。電話を切ったあと、もう一度最初からやり直してください。
- 操作を間違えたときは一度 (切) ボタンを押して操作を取り消し、もう一度最初からやり直してください。
- 操作の途中で約30秒間ボタンを押さないと、設定は無効になります。もう一度最初からやり直してください。

3 登録、設定操作を行います。

登録、設定操作は下の表
をご覧ください。



4 キャッチボタンを押します。

「ピー」という音が鳴って、設定が登録されます。



登録、設定操作

① ...着信音 (プルルル音) (お買い上げ時)

① ...「メロディ」

① ...解除

① ...設定 (お買い上げ時)

① ...解除 (お買い上げ時)

① ...設定

【送信側】

① → キャッチボタン → 暗証番号 (4桁の数字) → キャッチボタン → 内線番号 (1 ~ 7999)

【受信側】

① → キャッチボタン → 暗証番号 (4桁の数字) → キャッチボタン → 内線番号 (1 ~ 7999)

ここでの操作はなし

1
お使用に
なる前に

2
電話をかける/
受ける

3
内線電話
として使う

4
留守番電話
を使う

5
リモコン
操作する

6
用件を転送
する

7
PHSサービス
を利用する

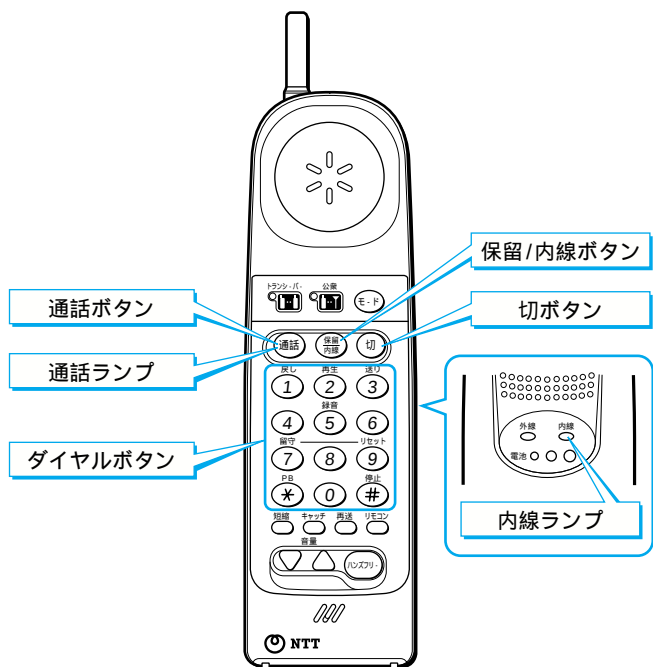
8
より便利に
使う

9
ご参考に

トランシーバ通話をするには (トランシーバ通話)



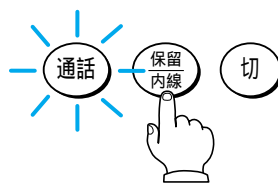
オプションのコードレス電話機を増設すると、主電話機のないところでもコードレス電話機としてトランシーバ通話ができます。トランシーバ通話をするときは、コードレス電話機のモードをトランシーバモードに切り替えます。



呼び出す方

1 保留/内線ボタンを押します。

「プー」という音を確認してください。



保留/内線ボタンを押したあと、約10秒間そのままにすると、待ち受け状態に戻ります。もう一度最初から操作をやり直してください。

2 呼び出すコードレス電話機の内線番号(②～⑤)を押します。

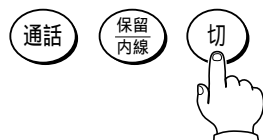
呼出音が聞こえます。



3 呼び出された方が応答したら、お話しください。



4 お話が終わったら、切ボタンを押します。



ワンポイント

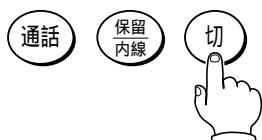
- コードレス電話機のモードとは
コードレス電話機は、使い方によって切り替える3つのモードがあります。(P27)
- 呼び出しを中止するには
切ボタンを押します。
- 内線番号を押したあと、すぐに呼び出すには
内線番号を押すと約4秒後に呼び出しが開始されますが、内線番号を押したあとに、通話ボタンを押すとすぐに呼び出しを開始させることができます。
- トランシーバ通話の内線番号は
コードレス電話機の内線番号は、2～5(増設したコードレス電話機は3～5)ですが、トランシーバ通話の内線番号登録により内線番号を変更した場合は、変更した内線番号で呼び出してください。

呼び出される方

1 呼び出されると、呼出音が鳴ります。
 (通話) ボタンを押してお話ください。



2 お話が終わったら、(切) ボタンを押してください。



お知らせ

- トランシーバ通話をするときは、呼び出す方、呼び出される方両方のコードレス電話機をトランシーバモードに切り替えてください。
- トランシーバ通話は、両方とも同じ主電話機に登録されているコードレス電話機どうしのみで利用できます。
- トランシーバでの通話では、約3分ごとに1回、約3秒間「ピッピッ...」という接続中音が聞こえます。接続中音が鳴っているときはお話しすることはできません。
- トランシーバモードでは、外の方へ電話をかけることや受けること、内線通話、ドアホン通話などではできません。
- 呼び出したい方が、電波の届かない場所にいたり、電源を切っていたり、トランシーバモードに切り替えていないときは、約10秒後に自動的に呼び出しを中止します。
- 電波の状態の悪いところでお使いの場合は、100m以内でも通話が切れることがあります。
- お話しできる範囲から外れると、「ピッピッピッ...」という音が鳴り通話が切れます。
- ピエットコードレス電話機を増設した場合は、ピエットコードレス電話機に付属の取扱説明書をご覧ください。

1
 使用前に

2
 電話をかける／受ける

3
 内線電話として使う

4
 留守番電話を使う

5
 リモコン操作する

6
 用件を転送する

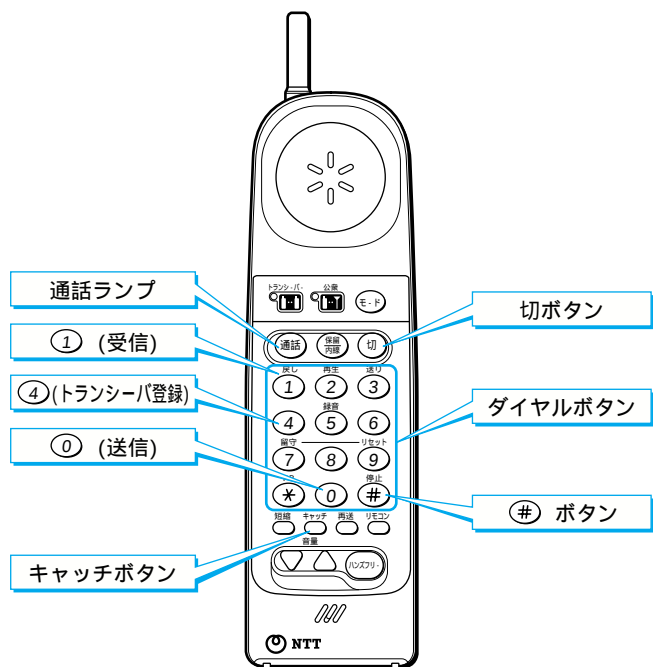
7
 PHSサービスを利用する

8
 より便利に使う

9
 ご参考に

トランシーバ通話の内線番号を登録するには

トランシーバ登録を行うと、ふだんお使いの内線番号のほかに、トランシーバ通話専用の番号を設定できます。トランシーバ登録は、トランシーバ通話をする他のコードレス電話機を近くに置いて、互いに暗証番号を入力し、送受信する必要があります。変更した内線番号をもとに戻すときは、トランシーバ登録を消去してください。



ワンポイント

- 操作を中止するには
① 切 ボタンを押します。



お知らせ

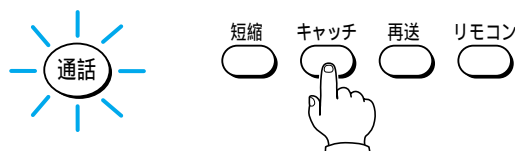
- トランシーバ通話の内線番号を登録すると、もとの内線番号でトランシーバ通話をすることはできません。
- トランシーバ通話の内線番号を登録するときに使用する暗証番号は電話機には登録されません。
- トランシーバ通話の内線番号を登録したあとに、もとの内線番号に戻すときや、再度変更するときは、登録した内線番号を消去してください。(P94)
- 受信側と送信側の内線番号は、同じ番号で登録しないでください。
- 受信側の手順9の操作のあと、約60秒以内に送信側の手順1～7を行わないと登録は無効になります。
- 受信側に内線番号が登録されなかったとき、受信側では「ピッピッピッピッ」という音が鳴りますが、送信側では「ピー」という音が鳴ってそのまま終了します。必ず受信側で「ピー」という音が鳴り正しく登録されたのを確認してください。
- 操作を間違えたときは、一度 ① 切 ボタンを押して操作を取り消し、最初からやり直してください。
- 操作の途中で約30秒間ボタンを押さないと、設定は無効になります。もう一度最初からやり直してください。

受信側のコードレス電話機の操作

1 充電器から取りあげて、① 切 ボタンを押します。

充電器から外しているときは、通話ランプが点灯していないことを確認します。

2 キャッチボタンを押します。



3 # ④ (トランシーバ登録) を押します。



4 ① (受信) ボタンを押します。



5 キャッチボタンを押します。

6 任意の暗証番号（4桁の数字）をダイヤルボタンで押します。



暗証番号を間違えたときは、最初からやり直してください。

7 キャッチボタンを押します。

8 内線番号（1～7999）をダイヤルボタンで押します。



内線番号を押し間違えたときは、最初からやり直してください。

9 キャッチボタンを押します。

受信側の手順9のあと約60秒以内に送信側の操作を行ってください。

受信が完了すると「ピー」という音が鳴ります。

受信に失敗すると、「ピッピッピッピッ」という音が鳴りますので、最初からやり直してください。

送信側のコードレス電話機の操作

1 受信側の操作の手順1～3を行います。

2 ①（送信）を押します。



3 キャッチボタンを押します。

4 受信側と同じ暗証番号（4桁の数字）をダイヤルボタンで押します。



暗証番号を間違えたときは、最初からやり直してください。

5 キャッチボタンを押します。

内線番号を変更しないときは手順7へ進みます。

6 内線番号を変更するときは、内線番号（1～7999）をダイヤルボタンで押します。



内線番号を間違えたときは、最初からやり直してください。

7 キャッチボタンを押します。

送信が完了すると「ピー」という音が鳴ります。

1 お使いになる前に

2 電話をかける／受ける

3 内線電話として使う

4 留守番電話を使う

5 リモコン操作する

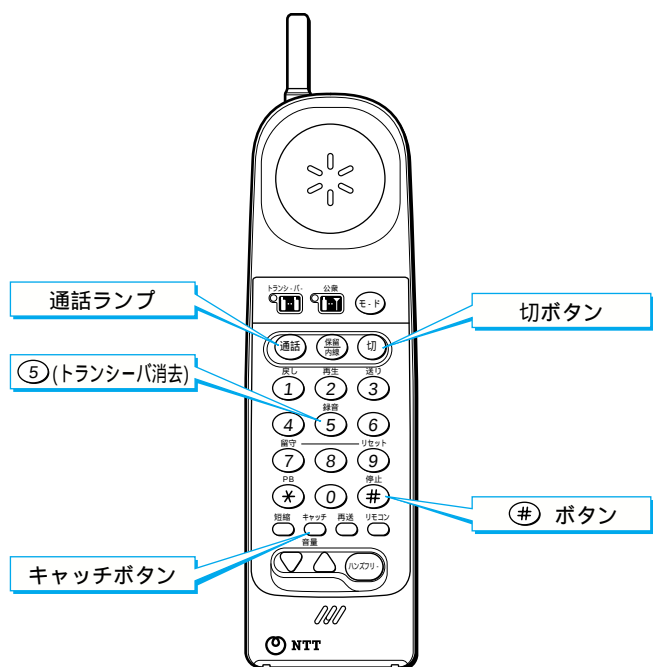
6 用件を転送する

7 PHSサービスを利用する

8 より便利に使う

9 ご参考に

トランシーバ通話の内線番号を登録するには



コードレス電話機に登録した内線番号を消去する

1 充電器から取りあげて、**切** ボタンを押します。

充電器から外しているときは、通話ランプが点灯していないことを確認します。

2 キャッチボタンを押します。



3 **#** **⑤** (トランシーバ消去) を押します。



4 キャッチボタンを押します。

「ピー」という音が鳴って、登録した内線番号が消去されます。



消去を中止するときは、**切** ボタンを押します。

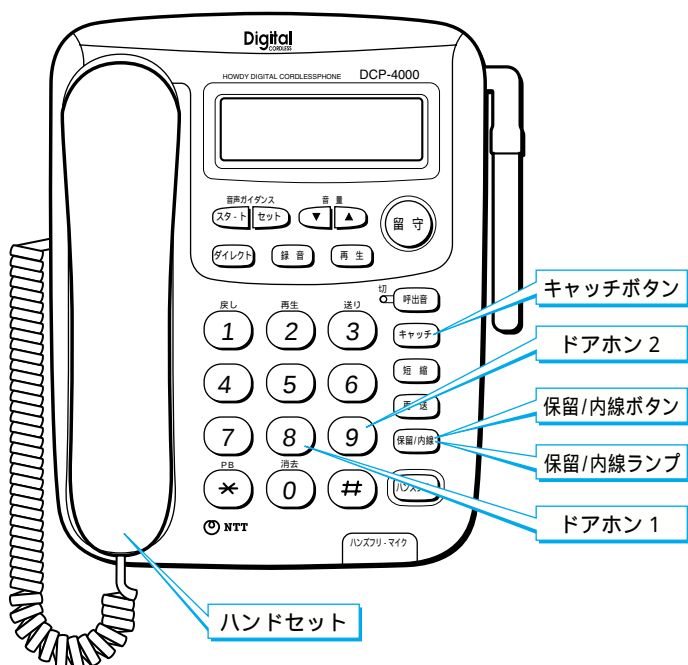


お知らせ

- 登録した内線番号を消去すると、トランシーバ通話の内線番号はトランシーバ登録をする前の内線番号になります。
- 操作中に外から電話がかかってきたときは、設定は無効になります。電話を切ったあと、最初からやり直してください。
- 操作を間違えたときは、一度 **切** ボタンを押して操作を取り消し、もう一度最初からやり直してください。
- 操作の途中で約30秒間ボタンを押さないと、設定は無効になります。もう一度最初からやり直してください。

ドアホンを接続して使うには

オプションのドアホンボックスとドアホンを利用すると、ドアホンからの呼び出しに主電話機からもコードレス電話機からも応答することができます。



ワンポイント

- 外の方とのお話し中にドアホンからの呼び出しに応答するには
外の方とのお話し中に「ピンポン」という音が重なって聞こえます。
ハンドセットでお話し中のとき
「保留/内線」ボタンを2回押してドアホンに応答する
ドアホンとのお話しが終わったら、「キャッチ」ボタンを押す
ハンズフリー通話でお話し中のとき
「保留/内線」ボタンを押す
ハンドセットを取りあげてドアホンに応答する
ドアホンとのお話しが終わったら、「キャッチ」ボタンを押す
電話中の相手の方には、保留メロディが流れます。
- 内線通話中にドアホンに応答するには
お話し中に「ピンポン」という音が重なって聞こえます。
「キャッチ」ボタンを押すと、ドアホンに応答することができます。このとき、内線通話は切れます。
- ドアホンとのお話し中に外からの電話に応答するには
お話し中に着信音が重なって聞こえます。「キャッチ」ボタンを押すと、電話の相手の方とお話することができます。このとき、ドアホンとのお話しは切れます。
- 主電話機からドアホンを呼び出すには
ハンドセットを置いたまま、「保留/内線」ボタンを押す
ドアホン番号をダイヤルボタンで押す
ドアホン1... (8)
ドアホン2... (9)
ハンドセットを取りあげて呼びかける

ドアホンを接続する

ドアホンは2台まで接続することができます。ドアホンの取り付け工事について、詳しくはNTT窓口等へお問い合わせください。

主電話機でドアホンの呼び出しに応答する

1 ドアホンから呼び出しがあると、ドアホンの呼出音が鳴り保留/内線ランプが点滅します。

ドアホンからの呼び出しであることが表示されます。



ドアホンを2台接続したとき、ドアホン1とドアホン2では呼出音が違います。
ドアホン1...「ピンポン」
ドアホン2...「ピンポン、ピンポン」

2 ハンドセットを取りあげて、お話しください。



3 お話しが終わったら、ハンドセットを置きます。

お知らせ

- 「ピンポン」という音が鳴ったあと、保留/内線ランプが約20秒間点滅しています。点滅している間に、ハンドセットを取りあげればドアホンに応答することができます。
- ドアホンからの呼び出しに応答中のときは、留守にセットされていても留守番電話は応答せず、相手の方には着信音が鳴り続けます。

1 お使いになる前に

2 電話をかける/受ける

3 内線電話として使う

4 留守番電話を使う

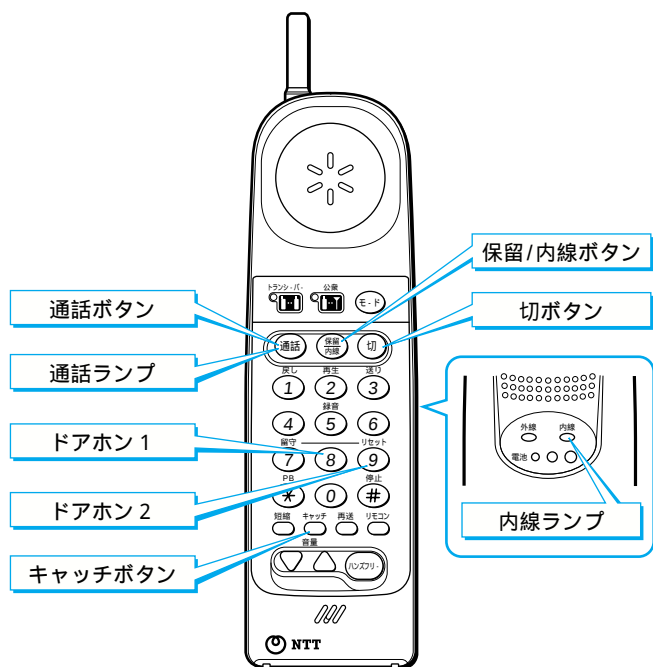
5 リモコン操作する

6 用件を転送する

7 PHSSサービスを利用する

8 より便利に使う

9 ご参考に

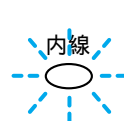


ワンポイント

- 外の方とのお話し中にドアホンからの呼び出しに应答するには
外の方とのお話し中に「ピンポーン」という音が重なって聞こえます。
保留内線 ボタンを2回押してドアホンに应答する
ドアホンとのお話しが終わったら、キャッチボタンを押す
ドアホンに应答している間、電話の相手の方には保留メロディが流れます。
- 内線通話中にドアホンに应答するには
お話し中に「ピンポーン」という音が重なって聞こえます。キャッチボタンを押すと、ドアホンに应答することができます。このとき、内線通話は切れます。
- ドアホンとのお話し中に外からの電話に应答するには
お話し中に着信音が重なって聞こえます。キャッチボタンを押すと、電話の相手の方とお話しすることができます。このとき、ドアホンとのお話しは切れます。
- コードレス電話機からドアホンを呼び出すには
通話ランプが点灯していない状態で、保留内線 ボタンを押す
ドアホン番号をダイヤルボタンで押す
ドアホン1... 8
ドアホン2... 9
呼びかける

コードレス電話機でドアホンの呼び出しに应答する

1 ドアホンから呼び出しがあると、ドアホンの呼出音が鳴り内線ランプと通話ランプが点滅します。



ドアホンを2台接続したとき、ドアホン1とドアホン2では呼出音が変わります。
ドアホン1... 「ピンポーン」
ドアホン2... 「ピンポン、ピンポーン」

2 充電器から取りあげてお話しください。



充電器から外しているときは、通話 ボタンを押してお話しください。

3 お話しが終わったら、充電器に置きます。

充電器に置かないときは、切 ボタンを押します。



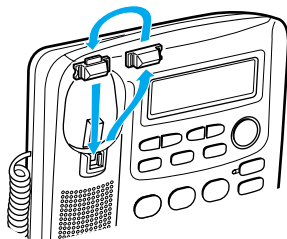
お知らせ

「ピンポーン」という音が鳴ったあと、内線ランプと通話ランプが約20秒間点滅しています。点滅している間に、充電器から取りあげれば（充電器から外しているときは通話 ボタンを押せば）ドアホンに应答することができます。

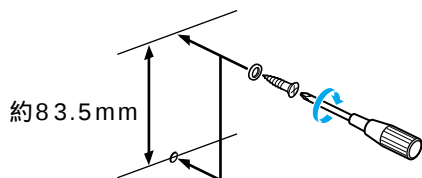
付属品をご利用になるには

■ 主電話機を壁に取り付ける

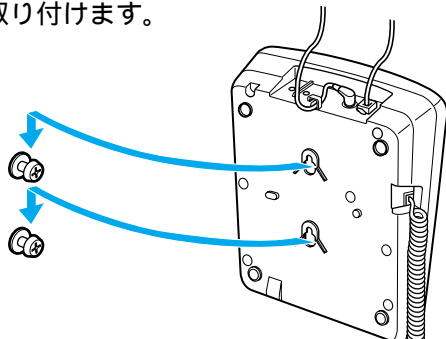
- ① ハンドセット受けを引き出し、突起部の大きな方を上にして、差し込みます。



- ② 操作早見表に付いているゲージを使って、壁掛け木ネジを壁に取り付けます。



- ③ コードをつなぎ、主電話機を壁にしっかりと取り付けます。



- ④ 壁に取り付けたらアンテナを起こしてください。



お知らせ

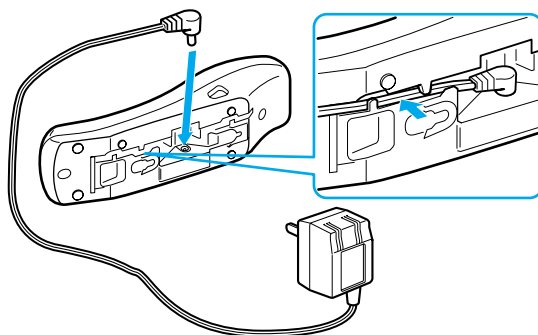
あらかじめ、取り付ける場所で発信・着信および通話ができるかどうかを確認してください。

⚠ 注意

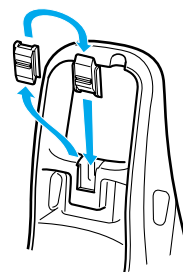
ご使用になる前に、確実に取り付けられているか確認してください。薄いベニヤ板や軟らかい壁などに取り付けると、重みでネジが抜けて主電話機、コードレス電話機、充電器が落下し、故障やけがの原因となることがあります。

■ コードレス電話機の充電器を壁に取り付ける

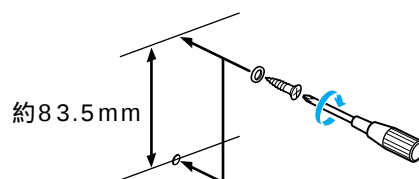
- ① 卓上アダプタを取り外し、コードを下側の溝に埋め込み直します。
卓上アダプタは失くさないよう大切に保管してください。



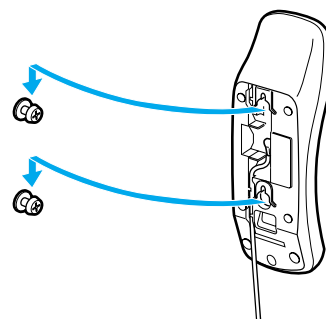
- ② 充電器の壁掛け用フックを取り外し、突起部の大きな方を上にしてもう一度はめ込みます。



- ③ 操作早見表に付いているゲージを使って壁掛け木ネジを壁に取り付けます。



- ④ 充電器を壁にしっかりと取り付けます。



1 お使いになる前に

2 電話をかける／受ける

3 内線電話として使う

4 留守番電話を使う

5 リモコン操作する

6 用件を転送する

7 PHSサービスを利用する

8 より便利に使う

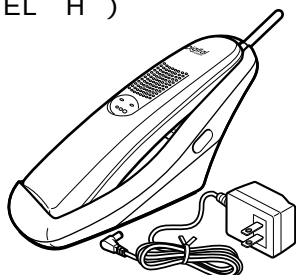
9 ご参考に

オプションをご利用になるには

より便利にお使いになるためのオプション品が用意されています。オプション品をご利用になるときは、NTT窓口等へお問い合わせください。

■ 増設用コードレス電話機

DCP-4000TEL
(DCP-401TEL H)

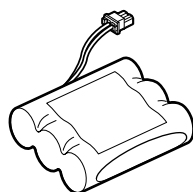


- 増設用ピエットコードレス電話機についてはNTT窓口等へお問い合わせください。

■ 電池パック

コードレス電話機の電池パックを交換するときは、オプションの電池パックをご利用ください。

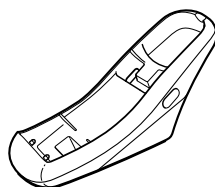
コードレスホン電池パック-035
(CT-デンチパック-035)



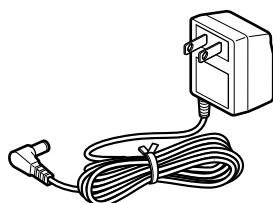
■ 充電器および電源アダプタ

付属の充電器以外の場所でコードレス電話機を充電できるように、充電器および電源アダプタがあります。

DCP-4000TEL充電器
(DCP-401ジューデンキ H)



コードレスホン充電器用電源アダプタ-051
(CT-デンゲンアダプタ R -051)

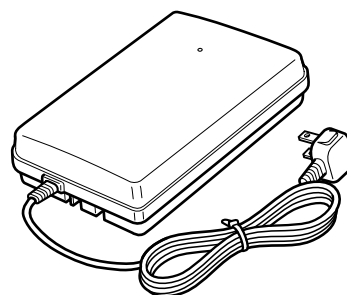


■ ドアホン (EドアホンS)

ドアホンが2台まで接続できます。玄関や勝手口などで来客との対応ができる各種ドアホンを用意しています。

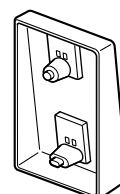
■ ドアホンボックス (DC-R2000DHBOX)

ドアホンボックスに接続することにより、ドアホンを2台接続することができます。



■ 主電話機用壁掛けアダプタ

主電話機を壁に取り付ける際にご利用になると、取り付け角度が約8度変わり、使いやすくなります。



電池パックの取り扱い

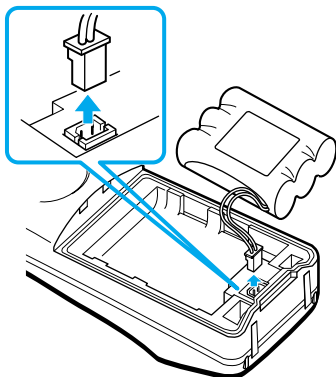
電池パックは消耗品です。コードレス電話機の使用頻度にもよりますが、約2年程度ご使用になれます。長時間充電してもすぐ電池の残量がなくなる場合は、新しい電池パック（オプション）に交換してください。ご購入についてはNTT窓口等へお問い合わせください。

■電池パックを交換する

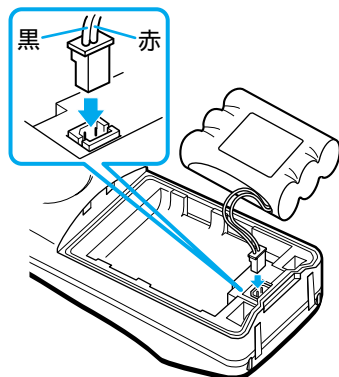
- ① 電池カバーを取り外します。
電池カバーは傷が付かないようなものを差し込み、ひねるようにして開けます。



- ② コネクタを外し、電池パックを取り出します。
コネクタは根元を持って引き抜きます。

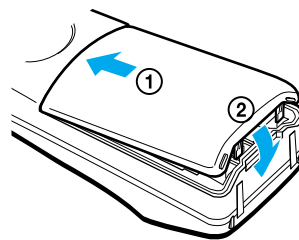


- ③ 新しい電池パックに交換し、電池パックのコネクタを差し込みます。
赤いコードが右になるようにコネクタを差し込み、電池パックを入れます。電池カバーを取り付けたとき、コードが電池カバーにあたらないように、コードをケース内へしっかり押し込んでください。



電池パックの収納のしかた（●P25）

- ④ 電池カバーを取り付けます。
コードをはさまないように注意して、「パチッ」と音がするまでしっかりと押してください。



- ⑤ 充電器に置き、5時間以上充電します。

■電池パック回収のお願い



電池パックはリサイクル可能なニカド電池です。交換の際はNTT窓口等へご持参いただくか、NTTの販売担当者にお渡しいただくなど、リサイクルの推進にご協力をお願いします。

STOP お願い

電池パックのコードを、無理にひっぱったり差し込んだりしないでください。

⚠ 危険

- 電池パックについて
電池パックの取扱いは、次の点にご注意ください。
- 必ず専用のものをお使いください。
- 取り出して充電しないでください。
- 火の中に投入したり、分解・加熱しないでください。
- 充電には、専用の充電器をお使いください。
- 端子を短絡させないでください。

1 お使用の前に

2 電話をかける／受ける

3 内線電話として使う

4 留守番電話を使う

5 リモコン操作する

6 用件を転送する

7 PHSSサービスを利用する

8 より便利に使う

9 ご参考に

電池の残量がなくなったときは

通話中に電池の残量がなくなると、警報音が鳴ります。お話しが終わったら、できるだけ充電器に置いて、充電するようにしてください。

■ 通話中に電池がなくなると

「ピー」という警報音が約4秒間鳴り、電池ランプが赤く点滅します。約1分後に電話が切れます。



屋内モードのとき

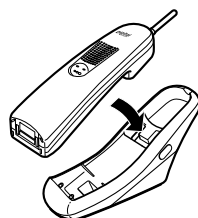
主電話機または増設した他のコードレス電話機をご使用になるか、お話しをすみやかに終わらせて、充電器に置いてください。

PHSサービスをご利用のとき

お話しをすみやかに終わらせて、充電してください。

トランシーバモードのとき

お話しをすみやかに終わらせて、充電してください。



お知らせ

- ご使用になる前に電池残量を確認してください。
(● P28)
- 電池の残量がなくなると、お話し中以外のときでも電話をかけたり登録などの操作をしようとすると、「ピー」という警報音が鳴ります。

コードレス電話機が通話できる範囲から外れたときは（圏外）

コードレス電話機は、屋内モードでご使用のときは主電話機から見通し距離で約100m以内で、公衆モードでご使用のときはPHSサービスエリア内で、お話ししながら自由に移動することができます。お話しできる範囲から外れると、圏外警報音でお知らせします。

■ 待ち受け中のとき

屋内モード

あらかじめ内線通話などにより主電話機からの電波の弱い場所を確認しておくことをおすすめします。（●P28）コードレス電話機は、なるべく電波の強い場所に置いてください。

公衆モード

PHSサービスエリアを外れると、公衆モードランプが点滅ではなく点灯になります。

PHSサービスエリア内でないと、簡易型携帯電話として利用できません。

トランシーバモード

トランシーバの相手が見通し距離約100m以内か確認してください。

■ 電話をかけようとしたとき

通話できる範囲でないと、「ツーツー…」という音が聞こえます。

屋内モード

主電話機に近づいて、なるべく電波の強い場所で行ってください。

公衆モード

PHSサービスエリアを外れると、公衆モードランプが点滅ではなく点灯になります。

PHSサービスエリア内でなるべく電波の強い場所で行ってください。

トランシーバモード

トランシーバの相手が見通し距離約100m以内か確認してください。

■ お話し中のとき

通話できる範囲から外れると、圏外警報音が鳴ります。（●P107）

屋内モード

主電話機に近づいて、警報音が鳴らなくなる電波の強い場所まで移動してください。

公衆モード

PHSサービスエリア内で、警報音が鳴らなくなる電波の強い場所まで移動してください。

トランシーバモード

警報音が鳴ると通話が切れます。トランシーバの相手に近づいてかけ直してください。

■ 電話がかかってきたとき

屋内モード

主電話機で着信音が鳴っているときに、主電話機に近づいてください。着信音が鳴り始めたら、**通話** ボタンを押してください。

PHSモード

公衆モードランプが点灯のときは、電話を受けることはできません。



お知らせ

- お話し中に圏外になったとき、警報音が鳴らなくなる場所へ移動しないと屋内モードでは約30秒間、公衆モードでは約10秒間警報音が鳴り通話が切れてしまいますので、警報音の鳴らなくなるところまで移動してください。
- トランシーバモードではお話し中に圏外になると、警報音が鳴り通話は切れます。
- コンクリートパネル板で仕切られている場所など、周囲の状況によってお話しできる範囲が狭くなることがあります。
- 警報音が鳴っているときは、お話しすることができません。

1
お
使
い
に
な
る
前
に

2
電
話
を
か
け
る
受
け
る

3
内
線
電
話
と
し
て
使
う

4
留
守
番
電
話
を
使
う

5
リ
モ
コ
ン
操
作
す
る

6
用
件
を
転
送
す
る

7
P
H
S
サ
ー
ビ
ス
を
利
用
す
る

8
よ
り
便
利
に
使
う

9
ご
参
考
に

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらときは、修理に出す前に次の点をご確認ください。

● 基本的な使い方

こんなときは	原 因	確認してください	参照ページ
動作しない	主電話機の電源アダプタが外れている	電源アダプタをしっかりと接続してください	☛P23
ディスプレイに「U:11」と表示されている	主電話機が正しく接続されていない	主電話機を正しく接続してください	☛P23
ダイヤルできない	電話回線が正しく設定されていない	電話回線の種別を正しく設定してください	☛P24,86
違った相手の方にかかる	電話回線が正しく設定されていない	電話回線の種別を正しく設定してください	☛P24,86

● 主電話機をお使いのとき

こんなときは	原 因	確認してください	参照ページ
「ツー」という発信音が聞こえない	電話機コードが外れている	電話機コードを正しく接続してください	☛P23
着信音が鳴らない	着信音が「切」に設定されている	着信音を「切」以外の音色に設定してください	☛P76
登録、設定ができない	コードレス電話機が使用中、または主電話機のハンドセットが外れている	ディスプレイの「外線」が消えてから行ってください	☛P19
時刻が点滅している	停電があった	曜日・時刻を設定し直してください	☛P29,106
	曜日・時刻が設定されていない	曜日・時刻を設定し直してください	☛P29

● コードレス電話機をお使いのとき 屋内モード

こんなときは	原 因	確認してください	参照ページ
動作しない	電池パックが正しく接続されていない	電池パックを正しく接続してください	☛P25
	電池残量がなくなっている	コードレス電話機を充電してください	☛P26
	近くに雑音を発生する家電製品などがある	家電製品などから離してください	☛P9
ダイヤルできない	「屋内モード」に設定されていない	「屋内モード」に設定してください	☛P27
	外線発信規制が設定されている	外線発信規制を解除してください	☛P86
着信音が鳴らない	電池残量がなくなっている	コードレス電話機を充電してください	☛P26
	着信規制が設定されている	着信規制を解除してください	☛P86
	着信音量が「切」に設定されている	着信音量を「標準」または「小」に設定してください	☛P77
	「屋内モード」に設定されていない	「屋内モード」に設定してください	☛P27
	近くに雑音を発生する家電製品などがある	家電製品などから離してください	☛P9
	主電話機から離れすぎている	主電話機に近づいてください	☛P28,101
	他のコードレス電話機が内線通話中、またはドアホン通話中	故障ではありません	-
お話しが途切れる	主電話機から離れすぎている	主電話機に近づいてください	☛P28,101
	主電話機とコードレス電話機の間に障害物がある	障害物のないところへ移動してください	☛P28,101

(つづく)

1
お
使
い
に
な
る
前
に

2
電
話
を
か
け
る
受
け
る

3
内
線
電
話
と
し
て
使
う

4
留
守
番
電
話
を
使
う

5
リ
モ
コン
操
作
す
る

6
用
件
を
転
送
す
る

7
PHS
サー
ビス
を
利
用
す
る

8
よ
り
便
利
に
使
う

9
ご
参
考
に

(つづき)

こんなときは	原 因	確認してください	参照ページ
充電しても低電圧警報が鳴る	充電器の電源アダプタが外れている	充電器の電源アダプタを正しく接続してください	➡P26
	電池パックが寿命です	新しい電池パックと交換してください	➡P99
充電しても使えない	充電端子が汚れている	乾いた布で清掃してください	➡P26
	充電器に正しく置かれていない	充電器に正しく置いてください	➡P26
	電池パックが正しく接続されていない	電池パックを正しく接続してください	➡P25
充電器に置いても充電ランプが点灯しない	充電器の電源アダプタが外れている	充電器の電源アダプタを正しく接続してください	➡P26
触るとあたたかい	充電されたため	故障ではありません	➡P26
相手の方の声などが聞き取りにくい、または相手の方が自分の声を聞き取りにくい	スピーカやマイクなどに内線番号シールを貼っている	内線番号シールなどはスピーカやマイク以外の場所へ貼ってください	➡P25
留守番電話の操作ができない	「屋内モード」に設定されていない	「屋内モード」に設定してください	➡P27
	主電話機が使用中のため	故障ではありません	-
	主電話機から離れすぎている	主電話機に近づいてください	➡P28,101
お話し中に低電圧警報が鳴る	電池の残量がなくなりかけている	コードレス電話機を充電してください	➡P26

●コードレス電話機をお使いのとき トランシーバモード

こんなときは	原 因	確認してください	参照ページ
他のコードレス電話機を呼び出せない	「トランシーバモード」に設定されていない	「トランシーバモード」に設定してください	➡P27
	トランシーバ通話の内線番号が違っている	登録した内線番号を消去して、もう一度内線番号を登録してください	➡P92,94
	相手の方との距離が離れすぎている	相手の方に近づいてください	➡P28,101

●コードレス電話機をお使いのとき 公衆モード

こんなときは	原 因	確認してください	参照ページ
動作しない	電池パックが寿命です	新しい電池パックと交換してください	➡P99
	PHSサービスの公衆基地局から離れすぎている	PHSサービスエリア内に移動してください	➡P28,101
電話がかけられない	PHSサービスの公衆基地局から離れすぎている	PHSサービスエリア内に移動してください	➡P28,101
	「公衆モード」に設定されていない	「公衆モード」に設定してください	➡P27

(つづく)

故障かな？と思ったら

(つづき)

こんなときは	原 因	確認してください	参照ページ
着信音が鳴らない	PHSサービスの公衆基地局から離れすぎている	PHSサービスエリア内に移動してください	☛P28,101
	「公衆モード」に設定されていない	「公衆モード」に設定してください	☛P27
	電池残量がなくなりかけている	コードレス電話機を充電してください	☛P26
	着信音量が「切」に設定されている	着信音量を「標準」または「小」に設定してください	☛P77
通話中に雑音が入ったり、お話しが途切れる	PHSサービスの公衆基地局から離れすぎている	PHSサービスエリア内に移動してください	☛P28,101
	PHSサービスエリアの電波の弱いところにいる	電波の強いところに移動してください	☛P28,101
	PHSサービスの公衆基地局との間に障害物がある	場所を変えてお話ししてみてください	☛P28,101
お話し中に「ピー」(約4秒間)という音が入る	電池の残量がなくなりかけている	コードレス電話機を充電してください	☛P26

●ハンズフリー通話

こんなときは	原 因	確認してください	参照ページ
スピーカから聞こえる音が小さい	スピーカ音量が最小になっている	スピーカ音量を聞きやすい音量に調整してください	☛P31,33
	音が大き、または電話機を壁に向けて置いたため、ハウリングを防ぐため自動的にスピーカの音が小さくなった	スピーカの音量を少し下げるか、電話機を壁から離してください	
相手の声が途切れる	双方で同時に話した	故障ではありません	☛P31,33
	室内がざわついている	周囲を静かにしてご利用ください	
「キーン」というハウリング音が入る	マイクに手などを近づけている	マイクから手などを遠ざけてください	☛P31,33

●留守番電話

こんなときは	原 因	確認してください	参照ページ
用件の録音された時刻が合っていない	停電があった	曜日・時刻を設定し直してください	☛P29,101
	曜日・時刻が設定されていない	曜日・時刻を設定し直してください	☛P29
留守番電話が応答しない	主電話機の電源アダプタが外れている	主電話機の電源アダプタを正しく接続してください	☛P23
	停電のため	故障ではありません	☛P106
	留守をセットしていない	留守をセットしてください	☛P54,55
留守をセットすると応答専用メッセージが聞こえる	応答専用に設定している	故障ではありません	☛P54
	録音残量がないのにアキュムレート録音で留守をセットした	用件を消去してください	☛P54,56
留守がセットできない	主電話機のハンドセットがきちんと置かれていない	ハンドセットをきちんと置いてください	-

(つづく)

(つづき)

こんなときは	原 因	確認してください	参照ページ
用件が録音されない	録音時間の残量がない	用件を消去してください	➡P54,56
	相手の方の声が小さすぎる	相手の方の声が小さかったり、何も話さないと、約10秒後に電話は自動的に切れます。故障ではありません	➡P56
	応答専用に設定している	故障ではありません	➡P54
用件の途中で切れてしまう	相手の方の声が小さすぎる	相手の方の声が小さかったり、何も話さないと、約10秒後に電話は自動的に切れます。故障ではありません	➡P56
	停電のため	故障ではありません	➡P106
留守をセットしていないのに留守番電話が応答する	着信音が30回以上鳴った	暗証番号が登録されているときに着信音が30回以上鳴ると留守番電話が応答します。故障ではありません	➡P65

●転送

こんなときは	原 因	確認してください	参照ページ
転送されない	転送先の電話番号が登録されていない	短縮ダイヤルの0番に転送先の電話番号を登録してください	➡P69
	暗証番号が登録されていない	暗証番号を登録してください	➡P63
	転送先がお話中	転送先がお話中のときは、3回までかけ直します	➡P71
	転送をセットしていない(ディスプレイに「留守転送」が表示されていない)	転送をセットしてください	➡P70
	録音時間の残量がない(応答専用メッセージになっている)	用件を消去してください	➡P54,56
	留守をセットしていない	留守をセットしてください	➡P54,55
転送されてきた用件を聞けない	転送先の電話機からブッシュ信号を送ることができない	ブッシュ信号を送ることができる電話機を転送先にしてください	➡P62

●リモコン操作

こんなときは	原 因	確認してください	参照ページ
応答メッセージが聞こえない	留守がセットされていない	リモコン操作で留守をセットしてください	➡P65
暗証番号を受け付けない	ブッシュ信号を送ることができない	ブッシュ信号を送ることができる電話機からリモコン操作してください	➡P62
	暗証番号が登録されていない	暗証番号を登録してください	➡P63
	応答メッセージが聞こえる前に【#】ボタンを押した	応答メッセージが聞こえてから【#】ボタンを押してください	➡P64
用件再セットができない	用件をすべて再生していない	用件をすべて再生してから用件再セットを行ってください	➡P66,67

1
お
使
い
に
な
る
前
に

2
電
話
を
か
け
る
受
け
る

3
内
線
電
話
と
し
て
使
う

4
留
守
番
電
話
を
使
う

5
リ
モ
コ
ン
操
作
す
る

6
用
件
を
転
送
す
る

7
P
H
S
サ
ー
ビ
ス
を
利
用
す
る

8
よ
り
便
利
に
使
う

9
ご
参
考
に

停電になったときは

停電中は、主電話機のランプとディスプレイの表示は消えます。

主電話機では、電話をかけたり、受けたりすることはできますが、ダイヤルボタン、**(*)** スター（PB）ボタン、**(#)** シャープボタン、**(再送)** ボタン、**(短縮)** ボタン以外のボタンを押しても利用することはできません。また、コードレス電話機は、屋内モードではご使用になれません。

● 停電時には以下のことにご注意ください

停電になったとき	主電話機	外の方とお話し中	そのままお話しができます
		保留中	保留メロディが止まります（保留はそのまま続きます）
		ハンズフリー通話中	保留になります（保留メロディは流れません）
	コードレス電話機	外の方とお話し中	保留になります（保留メロディは流れません） 主電話機で保留を解除してください
		保留中	保留メロディが止まります（保留はそのまま続きます） 主電話機で保留を解除してください
停電中	主電話機	電話をかけるには	ハンドセットを取りあげてかけてください （再ダイヤル、短縮ダイヤルで電話をかけることができます）
		電話がかかってきたときは	ハンドセットを取りあげて、お話しください
		保留を解除するには	ハンドセットを取りあげて、お話しください
	コードレス電話機	電話をかけるには	屋内モードでは、電話はかけられません PHSサービスを利用して電話をかけられます
		電話がかかってきたときは	着信音が鳴らず、電話は受けられません



お知らせ

- 保留中に停電が復旧すると、保留メロディが流れ、主電話機でもコードレス電話機でも出られるようになります。
- 停電中に電話がかかってきたときは、着信音としてメロディが設定されていても着信音（ブルル音）で鳴ります。
- 主電話機では、停電になっても次の内容は保持されます。
保持される内容
 - 短縮ダイヤル
 - 曜日、時刻
 - 応答メッセージ
 - 録音された用件
- コードレス電話機の登録、設定内容は停電になっても消えません。
- 外出先のリモコン操作中に停電になると、電話は切れます。
- 留守番電話、転送の動作中に停電になると電話は切れます。
- 保留中は、約5分たつと自動的に電話が切れます。
このとき保留警報音は鳴りません。

●こんな音がしたら

	音	主電話機	コードレス電話機	音の意味
電話をかける／受ける	ツー（発信音）	ハンドセットを取りあげたとき ハンズフリー ボタンを押したとき	充電器から取りあげたとき 通話 ボタン、または ハンズフリー ボタンを押したとき	電話をかけられます
	ツーツー...（話中音）	電話をかけた相手の方がお話し中のとき、または他の電話機が使用中のとき		お話し中です
		—	主電話機から離れすぎているとき	主電話機に近づけてください
	ブルルル...（着信音）	外の相手の方から電話がかかってきたとき		電話がかかってきています
	ブルブル...ブルブル... （内線呼出音）	内線で呼び出しているとき		他の電話機を呼び出しています
	ブルブル...ブルブル... （内線呼出音）	内線で呼び出されたとき	内線またはトランシーバで呼び出されたとき	内線またはトランシーバで呼び出されています
	ピーピーピーピー... （保留警報音）	保留の状態が続いたとき		保留状態が続いています
	ピッピッピッ... （圏外警報音）	—	お話し中に通話できる範囲から外れたとき	主電話機に近づいてください
登録・設定	ピー（約4秒間） （低電圧警報音）	—	電池残量がなくなりかけているとき	充電器に置いて充電してください
	ピー（確認音）	設定の操作が終わったとき		設定の操作が正しく行われました
	ピピピピピピピ （エラー音）	登録または設定の操作を間違えたとき	—	登録、設定の操作が間違っています
その他	ピッピッピッピッ （エラー音）	—	登録または設定の操作を間違えたとき	
	ピッ（キータッチ音）	ボタンを押したとき		ボタンが押されました
	ピンポーン （ドアホン1） ピンボンピンポーン （ドアホン2） （ドアホン音）	ドアホンから呼び出されたとき		ドアホンから呼び出されています

1
お使用に
なる前に2
電話を
受ける3
内線電話
として使
う4
留守番
電話を使
う5
リモコン
操作する6
用件を
転送する7
PHSサー
ビスを利
用する8
より便利
に使う9
ご参考に

アルファベット

DP→PB切替	78
PB	23,78,84
PHS	
PHSサービスエリア	14
PHSサービスを利用する	72
PHSサービスとは	72
PHSサービス利用中に利用できる機能	72

五十音

【ア行】

アキュムレート録音	54
暗証番号	
暗証番号を登録する	63
アンテナ	16,20
一斉呼び出し	44,46,48,50
居留守応答	79
液晶ディスプレイの見方	19
エコノミー確認(トールセイバ)	54
応答メッセージ	
応答専用メッセージ	52,54,84
応答メッセージを消去する	59
応答メッセージを録音する	58
置き場所	8
屋内モード	27
音	
こんな音がしたら	107
お話し中の内容を録音、再生する	
コードレス電話機で録音、再生する	81
主電話機で録音、再生する	80
オプション	98
音声ガイド	84
音量	
コードレス電話機の受話音量を	
変える	32,37,73
コードレス電話機のスピーカ音量を	
変える	33
コードレス電話機の着信音量を変える	77
主電話機の受話音量を変える	30,36
主電話機のスピーカ音量を変える	31
主電話機の着信音量を変える	75
音量ボタン	16,20

【カ行】

外出先から	
応答メッセージを録音する	67
伝言を録音する	67
用件を聞く	64
留守を再セットする	67
留守をセットする	65
外出するときは	
コードレス電話機で留守をセットする	55
主電話機で留守をセットする	54
回線	
電話回線の設定をする	24,86
回線種別	24
外線着信規制	86
外線発信規制	86
外線ランプ	22
各部の名前	
コードレス電話機	20
主電話機	16
壁に掛けて使う	97
簡易型携帯電話	72
簡易生活防水	10
帰宅したとき	
コードレス電話機で留守を解除する	57
主電話機で留守を解除する	56
キャッチボタン	16,20
キャッチホンサービス	
キャッチホンサービスを利用する	78
キャッチホン対応	78,86
切ボタン	20
クイック通話	
クイック通話を設定または解除する	88
クイック通話で電話をかける	32
圏外	101
圏外警報音	107
公衆モード	27,72
公衆モードに切り替える	27,72
公衆モードランプ	22
コードレス電話機	
コードレス電話機を充電する	26
コードレス電話機でトランシーバ	
通話する	90
コードレス電話機の準備をする	25
コードレス電話機増設スイッチ	17
故障かな?と思ったら	
基本的な使い方	102

コードレス電話機をお使いのとき	
屋内モード	102
コードレス電話機をお使いのとき	
公衆モード	103
コードレス電話機をお使いのとき	
トランシーバモード	103
主電話機をお使いのとき	102
転送	105
ハンズフリー通話	104
リモコン操作	105
留守番電話	104

【サ行】

再生ボタン	16
再生ランプ	18
再送ボタン	16,20
再ダイヤル	
コードレス電話機で再ダイヤルする	35
主電話機で再ダイヤルする	34
時刻	
曜日・時刻を合わせる	29
シャープボタン	16,20
充電	
コードレス電話機を充電する	26
充電器	21
充電器用電源アダプタ	26
充電端子	21
主電話機	
主電話機を接続する	23
受話音量	
コードレス電話機の受話音量を	
変える	32,37,73
主電話機の受話音量を変え	30,36
受話口	16,20
仕様	113
使用可能時間	
待ち受け時	28
連続通話	28
スタートボタン	16
スター(PB)ボタン	16,20
スピーカ	16,21
コードレス電話機のスピーカの音量を	
調節する	33
主電話機のスピーカの音量を調節する	31
接続	
ドアホンを接続する	95

セットボタン	16
増設用コードレス電話機	98
送話口	16,20

【タ行】

ダイヤル速度	24,86
ダイヤルボタン	16,20
ダイレクトコール	
ダイレクトコールを設定または解除する	82
ダイレクトコールで電話をかける	83
ダイレクトボタン	16
ダイレクトランプ	18
対話式リモコン操作	66
短縮ダイヤル	
コードレス電話機の短縮ダイヤルを	
登録する	42
コードレス電話機の短縮ダイヤルで	
かける	43
主電話機の短縮ダイヤルを登録する	40
主電話機の短縮ダイヤルでかける	41
短縮ボタン	16,20
着信	36,37,74
着信音	
コードレス電話機の着信音の音量を	
変える	77
コードレス電話機の着信音の音色を	
変える	88
主電話機の着信音の音量を変え	75
主電話機の着信音の音色を変え	76
着信音の回数を変え	84
通話できる範囲から外れたときは	101
通話ボタン	20
通話ランプ	22
通話録音	80,81
停電	
停電になったときは	106
低電圧警報	107
電源アダプタコード差込口	17,21,23,26
伝言	
コードレス電話機で伝言を録音する	61
主電話機で伝言を録音する	60
リモコン操作で伝言を録音する	67
転送	
外出先の電話機に転送する	68
ディスプレイポケットベルに転送する	69
転送をセットまたは解除する	70

1
お
使
い
に
な
る
前
に

2
電
話
を
か
け
る
受
け
る

3
内
線
電
話
と
し
て
使
う

4
留
守
番
電
話
を
使
う

5
リ
モ
コ
ン
操
作
す
る

6
用
件
を
転
送
す
る

7
P
H
S
サ
ー
ビ
ス
を
利
用
す
る

8
よ
り
便
利
に
使
う

9
ご
参
考
に

- 転送先で用件を受ける 71
 - 電池カバー 21, 25
 - 電池残量 28
 - 電池残量がなくなったときは 100
 - 電池パック 25, 99
 - 電池パックを交換する 99
 - 電池パックの使用可能時間 28
 - 電池パックの取り扱い 99
 - 電池ランプ 22
 - 電話をかける
 - PHSサービスを利用して電話をかける 73
 - 相手の方に待っていただく 38, 39
 - 相手の方の声が聞き取り
 - にくいとき 30, 32, 73
 - 同じ相手にかけ直す 34, 35
 - クイック通話でかける 32
 - スピーカ音量を調節する 31, 33
 - 短縮ダイヤルでかける 41, 43
 - ハンズフリー通話でかける 31, 33
 - 電話を取りつぐ
 - コードレス電話機から取りつぐ 50
 - 主電話機から取りつぐ 48
 - 電話回線
 - 電話回線の種別 24, 86
 - 電話回線の設定をする 24, 86
 - 電話がかかってきたとき
 - 相手の方に待っていただく 38, 39
 - 相手の方の声が聞き取りにくいとき 36, 37
 - 着信音の音量を変える 75, 77
 - 着信音の音色を変える 76, 88
 - 電話機
 - 各部の名前 16, 20
 - コードレス電話機 20
 - 主電話機 16
 - 電話機コード差込口 17, 23
 - 電話番号を登録する
 - コードレス電話機の短縮ダイヤルを
 - 登録する 42
 - 主電話機の短縮ダイヤルを登録する 40
 - 電話番号通知 72
 - 電話番号通知を設定または解除する 88
 - ドアホン
 - ドアホンを接続する 95
 - ドアホンと呼び出す 95, 96
 - ドアホンの呼び出しに応答する 95, 96
 - ドアホン着信規制 86
 - ドアホンボックス 98
 - 登録
 - 暗証番号を登録する 63
 - コードレス電話機の短縮ダイヤルを
 - 登録する 42
 - 主電話機の短縮ダイヤルを登録する 40
 - トランシーバ通話の内線番号を登録する 92
 - トールセイバ 54
 - トランシーバ
 - 使用可能時間 28
 - トランシーバ通話をする 90
 - トランシーバ通話の内線番号を消去する 94
 - トランシーバ通話の内線番号を登録する 92
 - トランシーバモード 27
 - トランシーバモードに切り替える 27
 - トランシーバモードランプ 22
 - 取扱説明書 11, 15
 - トリオホンサービス 78
- 【ナ行】**
- 内線通話 44, 46
 - 内線で呼び出す
 - コードレス電話機から呼び出す 46
 - 主電話機から呼び出す 44
 - すべての電話機を一斉に呼び出す 44, 46
 - 内線ランプ 22
 - 内線リモコン 20
- 【ハ行】**
- 発信 30, 32, 73
 - ハンズフリー通話 31, 33
 - ハンズフリーボタン 16, 20
 - ハンズフリーランプ 18, 22
 - ハンドセット 16
 - ハンドセット受け 16
 - ハンドセットコード 16
 - ハンドセットコード差込口 17, 23
 - 付属品
 - 付属品を利用する 97
 - プッシュホンサービス
 - プッシュホンサービスを利用する 78
 - プッシュホンサービスの種類 78
 - ポーズ（待ち時間） 40, 42, 69
 - 保守サービス 113
 - 保証書 15
 - 保留 38, 39
 - 保留解除 38, 39
 - 保留警報音 38

保留転送	48,50
保留 / 内線ボタン	16,20
保留 / 内線ランプ	18
保留メロディ	38

【マ行】

マイク	16,20
待ち受け時間	28
待ち時間 (ポーズ)	40,69
モード	
屋内モード	27
公衆モード	27
トランシーバモード	27
モードを設定する	27
モードの種類	27
モードボタン	20
モジュラジャック	23

【ヤ行】

用件	
コードレス電話機で用件を再生する	57
主電話機で用件を再生する	56
用件をすべて消去する	56
用件録音時間	54,84
リモコン操作で用件を再生する	64
曜日	
曜日・時刻を合わせる	29
呼出音切ランプ	18
呼出音ボタン	16

【ラ行】

ランプ表示	18,22
外線ランプ	22
公衆モードランプ	22
再生ランプ	18
ダイレクトランプ	18
通話ランプ	22
電池ランプ	22
トランシーバモードランプ	22
内線ランプ	22
ハンズフリーランプ	18,22
保留 / 内線ランプ	18
呼出音切ランプ	18
リモコンランプ	22
留守ランプ	18
録音ランプ	18

リセットスイッチ	17
リモコン操作	62
外出先から用件を聞く	64
外出先から留守をセットする	65
リモコン操作できる電話機	62
リモコン操作でできること	66
リモコンボタン	20
リモコンランプ	22
留守番電話	52
留守ボタン	16
留守ランプ	18
連続通話時間	28
録音	
応答メッセージを録音する	58
コードレス電話機で通話録音する	81
コードレス電話機で伝言を録音する	61
主電話機で通話録音する	80
主電話機で伝言を録音する	60
録音時間	54
用件の録音時間を変える	84
録音ボタン	16
録音ランプ	18

1
お使用に
なる前に

2
電話を
かける／
受ける

3
内線電話
として使
う

4
留守番電
話を使
う

5
リモコン
操作す
る

6
用件を
転送
する

7
PHSサー
ビスを
利用す
る

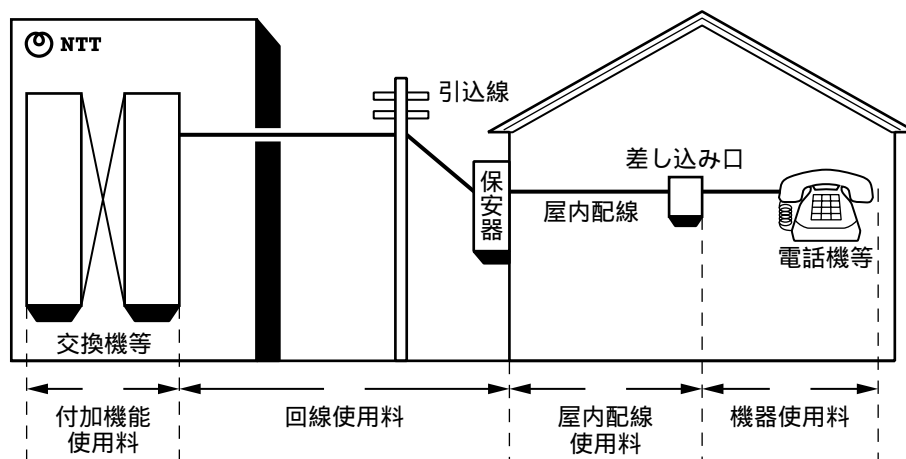
8
より便
利に
使う

9
ご参考
に

ご使用にあたってのお願い

DCP-4000をご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって「機器使用料」は不要となります。詳しくは局番なしの116番（無料）へお問い合わせください。

● NTTの基本料金などの仕組み



● 電話料金の内訳

回線使用料	ご契約者名簿等により住宅用と事務用に区別され、回線使用料が異なります。
屋内配線使用料	保安器から屋内の電話機の差し込み口までの屋内配線をNTTからレンタルでご利用いただいている場合の料金です。
機器使用料	NTTの電話機などをレンタルでご利用いただいている場合の料金です。
付加機能使用料	プッシュ回線、キャッチホン、クレジット通話などをご利用いただいている場合の付加機能の使用料金です。

仕様 / 保守サービスのご案内

■ 仕 様

収容電話回線	1 回線 PB回線 / DP回線 (10PPS・20PPS) 主電話機 1 台、コードレス電話機 1 台、充電器 1 台 * 主電話機に対してコードレス電話機最大 4 台
寸法・質量	主電話機：幅約 176mm × 奥行約 223mm × 高さ約 84mm (アンテナ含まず) ・約 970g コードレス電話機：幅約 56mm × 奥行約 42mm × 高さ約 192mm ・約 240g (アンテナおよび突起部含まず) コードレス電話機用充電器：幅約 67mm × 奥行約 211mm × 高さ約 117mm ・約 150g
使用電源	主電話機：AC100V・50 / 60Hz、DC11V コードレス電話機：専用ニカド電池 DC3.6V 充電器：AC100V・50 / 60Hz
消費電力	主電話機：動作時最大約 8W コードレス電話機：動作時最大約 0.4W 充電器：最大約 4W
録音時間	用件録音 (約 13 分) (通話録音を含む) 無音圧縮を行ったとき 無音圧縮無しで約 9 分
直流抵抗	270Ω (主電話機・スピーカ受話中)
時計精度	主電話機：約 ± 1 分 / 月 (20)

■ 保守サービスのご案内

● 保証について

保証期間 (1 年間) 中の故障につきましては無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。
(詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。)

● 保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

N T T では、安心して電話機をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	● 毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には N T T が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	● 修理に要した費用をいただきます。 (修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。) (故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。) ● N T T 窓口等まで電話機をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。

● 故障の場合は

113 番 (無料) へご連絡ください。

● その他

定額保守サービス料金については、N T T 窓口等へお問い合わせください。

● 補修用部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品 (商品の性能を維持するために必要な部品) を、製造打ち切り後、最低 7 年間保有しています。
保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、N T T 窓口等にお問い合わせください。

1
お
使
い
に
な
る
前
に2
電
話
機
を
か
け
る
受
け
る3
内
線
電
話
と
し
て
使
う4
留
守
番
電
話
を
使
う5
リ
モ
コ
ン
操
作
す
る6
用
件
を
転
送
す
る7
P
H
S
サ
ー
ビ
ス
を
利
用
す
る8
よ
り
便
利
に
使
う9
ご
参
考
に

注 意

本製品は、外国為替および外国貿易管理法が定める戦略物資に該当いたします。本製品は、国内でのご利用を前提としたものでありますので、日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可等必要な手続きをお取りください。

NOTICE

This product, which is intended for use in Japan, is a strategic product regulated under the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Control Law. When you plan to export or take this product out of Japan, please obtain a permission, as required by the Law and related regulations from the Japanese Government.



この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しております。

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT窓口等へお気軽にご相談ください。